



下水道モニター 平成 28 年度第 3 回アンケート結果

目次

| | |
|--|---|
| 1. 調査の概要 | 1 |
| 1.1. 調査の目的 | 1 |
| 1.2. 調査の対象 | 1 |
| 1.3. 調査の方法 | 1 |
| 1.4. 回答回収率 | 1 |
| 1.5. 調査の内容 | 1 |
| 1.6. 調査期間 | 1 |
| 1.7. 集計上・表記上への注意事項 | 1 |
| 2. 結果概要 | 2 |
| 2.1. 『東京都下水道事業 経営計画 2016』について | 2 |
| 2.1.1. 経営計画 2016 についての理解度 | 2 |
| 2.1.2. 理解できなかった理由（自由回答） | 2 |
| 2.2. 『東京都下水道事業 経営計画 2016』についての取組み | 3 |
| 2.2.1. 東京都下水道局各施策の取組みについての重要度 | 3 |
| 2.2.2. 各施策について重要でなかった理由（自由回答） | 3 |
| 2.2.3. 東京都下水道局各施策の取組みについての期待度 | 4 |
| 2.2.4. 期待している施策と理由（自由回答） | 4 |
| 2.3. 『東京都下水道事業 経営計画 2016』に対する感想・意見 | 4 |
| 3. 回答者属性 | 5 |
| 3.1. 回答者 性・年代 | 5 |
| 3.2. 回答者 居住地域 | 5 |
| 3.3. 回答者 職業 | 5 |
| 4. 集計結果 | 6 |
| 4.1. 『東京都下水道事業 経営計画 2016』について | 6 |
| 4.1.1. 経営計画 2016 についての理解度（全体） | 6 |
| 4.1.2. 取組みについての理解度（1. 経営方針） | 7 |
| 4.1.3. 取組みについての理解度（2. 取組みの概要） | 8 |
| 4.1.4. 取組みについての理解度（3. 主な事業指標と目標） | 9 |

| | | |
|---------|-------------------------------------|----|
| 4.1.5. | 取組みについての理解度（４．五輪の成功に向けた下水道事業） | 10 |
| 4.1.6. | 取組みについて理解できなかった理由（自由回答） | 11 |
| 4.2. | 『東京都下水道事業 経営計画２０１６』についての取組の概要 | 14 |
| 4.2.1. | 東京都下水道局各施策の取組みについての重要度（全体） | 14 |
| 4.2.2. | 各施策の重要度（１．再構築） | 15 |
| 4.2.3. | 各施策の重要度（２．浸水対策） | 16 |
| 4.2.4. | 各施策の重要度（３．震災対策） | 17 |
| 4.2.5. | 各施策の重要度（４．維持管理の充実） | 18 |
| 4.2.6. | 各施策の重要度（５．合流式下水道の改善） | 19 |
| 4.2.7. | 各施策の重要度（６．高度処理） | 20 |
| 4.2.8. | 各施策の重要度（７．エネルギー・地球温暖化対策） | 21 |
| 4.2.9. | 各施策の重要度（８．危機管理対応の強化） | 22 |
| 4.2.10. | 各施策の重要度（９．下水道の持つポテンシャルの活用） | 23 |
| 4.2.11. | 各施策の重要度（１０．ビルピット臭気対策の推進） | 24 |
| 4.2.12. | 各施策の重要度（１１．技術開発の推進） | 25 |
| 4.2.13. | 各施策の重要度（１２．東京下水道の国際展開） | 26 |
| 4.2.14. | 各施策の重要度（１３．東京下水道の「応援団」の獲得） | 27 |
| 4.2.15. | 各施策の重要度（１４．事業運営体制） | 28 |
| 4.2.16. | 各施策の重要度（１５．人材育成と技術継承） | 29 |
| 4.2.17. | 各施策の重要度（１６．企業努力） | 30 |
| 4.2.18. | 各施策の重要度（１７．財政収支） | 31 |
| 4.2.19. | 各施策について重要でなかった理由（自由回答） | 32 |
| 4.2.20. | 重要でないと考えている施策について | 33 |
| 4.2.21. | 東京都下水道局各施策の取組みについての期待度（全体） | 43 |
| 4.2.22. | 各施策の期待度（１．再構築） | 44 |
| 4.2.23. | 各施策の期待度（２．浸水対策） | 45 |
| 4.2.24. | 各施策の期待度（３．震災対策） | 46 |
| 4.2.25. | 各施策の期待度（４．維持管理の充実） | 47 |
| 4.2.26. | 各施策の期待度（５．合流式下水道の改善） | 48 |
| 4.2.27. | 各施策の期待度（６．高度処理） | 49 |
| 4.2.28. | 各施策の期待度（７．エネルギー・地球温暖化対策） | 50 |
| 4.2.29. | 各施策の期待度（８．危機管理対応の強化） | 51 |
| 4.2.30. | 各施策の期待度（９．下水道の持つポテンシャルの活用） | 52 |
| 4.2.31. | 各施策の期待度（１０．ビルピット臭気対策の推進） | 53 |
| 4.2.32. | 各施策の期待度（１１．技術開発の推進） | 54 |
| 4.2.33. | 各施策の期待度（１２．東京下水道の国際展開） | 55 |

| | | |
|---------|------------------------------------|----|
| 4.2.34. | 各施策の期待度（１３．東京下水道の「応援団」の獲得） | 56 |
| 4.2.35. | 各施策の期待度（１４．事業運営体制） | 57 |
| 4.2.36. | 各施策の期待度（１５．人材育成と技術継承） | 58 |
| 4.2.37. | 各施策の期待度（１６．企業努力） | 59 |
| 4.2.38. | 各施策の期待度（１７．財政収支） | 60 |
| 4.2.39. | 期待している施策と理由（自由回答） | 61 |
| 4.3. | 『東京都下水道事業 経営計画２０１６』に対する感想・意見 | 67 |

1. 調査の概要

1.1. 調査の目的

第3回アンケートでは、東京都下水道局の「東京都下水道事業 経営計画2016」について把握するために実施した。

1.2. 調査の対象

- (1) 調査対象：東京都下水道局「平成28年度下水道モニター」
※東京都在住20歳以上の男女個人
- (2) 調査対象の数：792人
- (3) 調査対象の抽出：インターネット上から「平成28年度下水道モニター」を募集

1.3. 調査の方法

インターネットによる自記式アンケート

1.4. 回答回収率

| | |
|--------|---------|
| モニター件数 | ： 792 件 |
| 回答者数 | ： 534 件 |
| 回答率 | ： 67.4% |

1.5. 調査の内容

- (1) 『東京都下水道事業 経営計画2016』について
- (2) 『東京都下水道事業 経営計画2016』の取組みについて
- (3) 『東京都下水道事業 経営計画2016』に対する感想

1.6. 調査期間

平成28年11月10日（木）～同年11月27日（日）

1.7. 集計上・表記上への注意事項

- (1) 集計表中の割合（％）は原則として小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- (2) 図表中の「n」は、質問に対する回答数で、集計母数を表す。

2. 結果概要

2.1. 『東京都下水道事業 経営計画2016』について

2.1.1. 経営計画2016についての理解度

(1) 全体

「理解できた（良く理解できた、まあ理解できた）」と回答したモニターは「1. 経営方針」が85.4%で最も多く、次に「2. 取組みの概要」で84.2%であった。

また、7割以上のモニターが東京都下水道局の取組みについて、理解できたと回答した。

(2) 性別

「理解できた」と回答した項目が最も多かったのは男女性ともに「1. 経営方針」で、男性が87.9%、女性が82.5%であった。

また、全項目において「理解できた」割合が女性より男性の方が高くなった。

(3) 年代別

「理解できた」と回答した項目の中で20歳代、60歳代、70歳以上では「2. 取組みの概要」が、30歳代、40歳代、50歳代では「1. 経営方針」が最も多かった。

そのうち「2. 取組みの概要」では20歳代の全てが「理解できた」と回答した。

また、「1. 経営方針」では50歳代が89.4%で最も多くなった。

(4) 地域別

「理解できた」と回答とした項目の中で最も多かったのは23区が「1. 経営方針」と「2. 取組みの概要」で86.2%、多摩地区が「1. 経営方針」で84.1%であった。

また、全項目において「理解できた」割合が多摩地区より23区の方が高くなった。

2.1.2. 理解できなかった理由（自由回答）

理解できなかった理由については、「内容が難しい」が23.1%で最も多く、次に「目的、必要性」が17.9%、「読みづらい、わかりづらい」が15.4%であった。

また、「その他」を除くと、最も少なかったのは「情報過多」で10.3%であった。

2.2. 『東京都下水道事業 経営計画2016』についての取組み

2.2.1. 東京都下水道局各施策の取組みについての重要度

(1) 全体

「重要である（非常に重要である、やや重要である）」と回答したモニターは「3. 震災対策」が93.5%で最も多く、次に「2. 浸水対策」が92.3%、「4. 維持管理の充実」が90.7%、「8. 危機管理対応の強化」が90.7%で、これらの項目は9割以上のモニターが重要であると回答した。また、重要度が低かったのは「13. 東京下水道の「応援団」の獲得」で57.5%であった。

(2) 性別

「重要である」と回答した割合が最も多かったのは男性が「3. 震災対策」で92.4%、女性が「2. 浸水対策」で95.6%であった。

また、「重要である」と回答した項目の中で、「9. 下水道の持つポテンシャルの活用」は女性より男性の割合が高く、他の項目は女性の割合が高くなった。

(3) 年代別

「重要である」と回答した項目の中で最も多かったのは、20歳代で「1. 再構築」、「2. 浸水対策」、「3. 震災対策」、「8. 危機管理対応の強化」、「10. ビルピット臭気対策の推進」が100%、30歳代で「2. 浸水対策」が93.5%、40歳代で「3. 震災対策」が93.6%、50歳代で「2. 浸水対策」が93.9%、60歳代で「3. 震災対策」が96.2%、70歳以上で「3. 震災対策」、「5. 合流式下水道の改善」、「11. 技術開発の推進」が88.9%であった。

また、全ての年代で「2. 浸水対策」と「3. 震災対策」は「重要である」と考えている。

(4) 地域別

「重要である」と回答した項目が最も多かったのは23区・多摩地区ともに「3. 震災対策」で、23区が93.4%、多摩地区が93.5%であった。

また、23区では「2. 浸水対策」、「3. 震災対策」、「4. 維持管理の充実」、「8. 危機管理対応の強化」が9割を超え、重要度が高かった。

2.2.2. 各施策について重要でなかった理由（自由回答）

「取組みの概要」に示した主な施策について、「あまり重要ではない」「全く重要ではない」と思われた理由については、「必要と思わない」が27.3%で最も多く、次に「優先度の問題」が18.2%であった。

また、最も少なかったのは「内容がわからない」で9.1%であった。

2.2.3. 東京都下水道局各施策の取組みについての期待度

(1) 全体

「期待できる（とても期待できる、まあまあ期待できる」と回答したモニターは「2. 浸水対策」が 86.7%で最も多く、次に「3. 震災対策」が 83.7%、「5. 合流式下水道の改善」が 81.8%であった。また、期待度が低かったのは「13. 東京下水道の「応援団」の獲得」で 59.0%であった。

(2) 性別

「期待できる」と回答した項目が最も多かったのは男女性ともに「2. 浸水対策」で、男性が 84.7%、女性が 89.1%であった。

また、全項目において「期待できる」割合が男性より女性が高くなった。

(3) 年代別

全年代で「2. 浸水対策」が「期待できる」と最も多く回答し、そのうち20歳代が 100%と最も多く、次に70歳以上が 91.2%、50歳代が 89.3%であった。

また、全ての年代で「13. 東京下水道の「応援団」の獲得」については期待度が低かった。

(4) 地域別

「期待できる」と回答した項目が最も多かったのは23区・多摩地区ともにで「2. 浸水対策」で、23区が 87.1%、多摩地区が 86.1%であった。

また、23区では「1. 再構築」、「2. 浸水対策」、「3. 震災対策」、「4. 維持管理の充実」、「6. 高度処理」、「8. 危機管理対応の強化」が8割を超え、期待度が高かった。

2.2.4. 期待している施策と理由（自由回答）

各施策の取組みについて期待している施策は、「3. 震災対策」が 19.2%で最も多く、次に「2. 浸水対策」が 17.2%、「1. 再構築」が 12.5%であった。

また、最も少なかったのは「14. 事業運営体制」で0.3%であった。

2.3. 『東京都下水道事業 経営計画2016』に対する感想・意見

感想・意見については、「その他」を除くと、「計画に期待、計画を達成してほしい・頑張してほしい・取り組んでほしい・進めてほしい・お願いしたい」が 22.1%で最も多く、次に「わかりやすかった、理解できた、確認できた、知ることができた、安心した」が 17.8%、「文字が多い、わかりづらい、読むのが大変」が 12.8%であった。

また、最も少なかったのは「オリンピックについて」で2.3%であった。

3. 回答者属性

3.1. 回答者 性・年代

| 性別 | 年齢 | 回答者数(人) | モニター数(人) | 回答率 |
|----|-------|---------|----------|-------|
| 男性 | 20歳代 | 10 | 15 | 66.7% |
| | 30歳代 | 31 | 60 | 51.7% |
| | 40歳代 | 62 | 99 | 62.6% |
| | 50歳代 | 75 | 94 | 79.8% |
| | 60歳代 | 76 | 91 | 83.5% |
| | 70歳以上 | 34 | 44 | 77.3% |
| | 小計 | 288 | 403 | 71.5% |
| 女性 | 20歳代 | 8 | 36 | 22.2% |
| | 30歳代 | 61 | 109 | 56.0% |
| | 40歳代 | 80 | 120 | 66.7% |
| | 50歳代 | 57 | 72 | 79.2% |
| | 60歳代 | 29 | 35 | 82.9% |
| | 70歳以上 | 11 | 17 | 64.7% |
| | 小計 | 246 | 389 | 63.2% |
| 合計 | | 534 | 792 | 67.4% |

3.2. 回答者 居住地域

| 地域 | 回答者数(人) | モニター数(人) | 回答率 |
|------|---------|----------|-------|
| 23区 | 333 | 477 | 69.8% |
| 多摩地区 | 201 | 315 | 63.8% |
| 合計 | 534 | 792 | 67.4% |

3.3. 回答者 職業

| 職業 | 回答者数(人) | モニター数(人) | 回答率 |
|------------|---------|----------|-------|
| 会社員 | 233 | 353 | 66.0% |
| 自営業 | 38 | 53 | 71.7% |
| 学生 | 4 | 7 | 57.1% |
| 私立学校教員・塾講師 | 4 | 8 | 50.0% |
| パート | 44 | 70 | 62.9% |
| アルバイト | 13 | 18 | 72.2% |
| 専業主婦 | 102 | 155 | 65.8% |
| 無職 | 75 | 102 | 73.5% |
| その他 | 21 | 26 | 80.8% |
| 合計 | 534 | 792 | 67.4% |

4. 集計結果

4.1. 『東京都下水道事業 経営計画2016』について

4.1.1. 経営計画2016についての理解度（全体）

問1 『東京都下水道事業 経営計画2016』をお読みになり、以下に示す東京都下水道局の取組み等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）

理解できた（良く理解できた、まあ理解できた）項目は、「1. 経営方針」が85.4%で最も多く、次に「2. 取組みの概要」で84.2%、「3. 主な事業指標と目標」で82.8%であった。

また、「4. 五輪の成功に向けた下水道事業」は78.1%と最も少なかった。

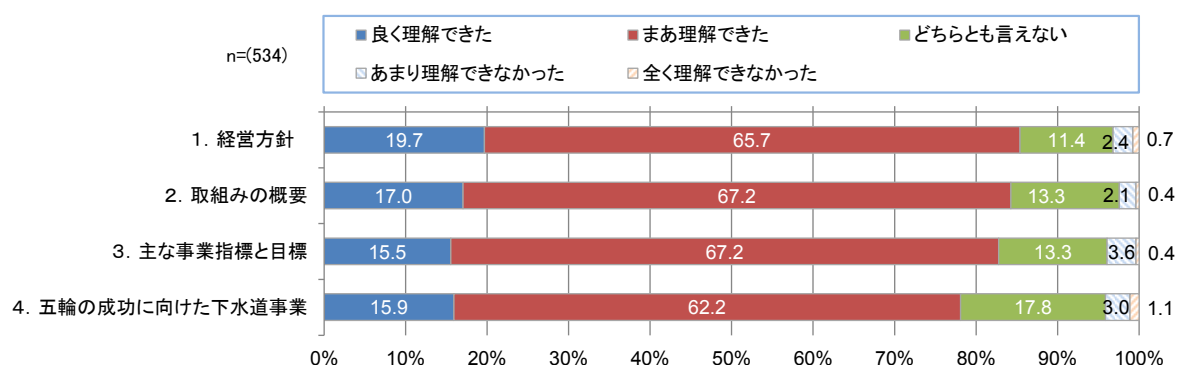


図 4.1.1 取組みについての理解度（全体）

4.1.2. 取組みについての理解度（１．経営方針）

- 「理解できた」との回答が85.4%で、「理解できなかった」との回答が3.1%であった。
- 性別でみると、「理解できた」との回答は、男性が87.9%、女性が82.5%となり、男性の方が5.4ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「理解できた」との回答は、20歳代が94.5%で最も多く、次に50歳代が89.4%で、最も少なかったのは70歳以上で82.2%であった。
- 地域別にみると、「理解できた」との回答は、23区が86.2%、多摩地区で84.1%となり、23区の方が2.1ポイント高くなった。

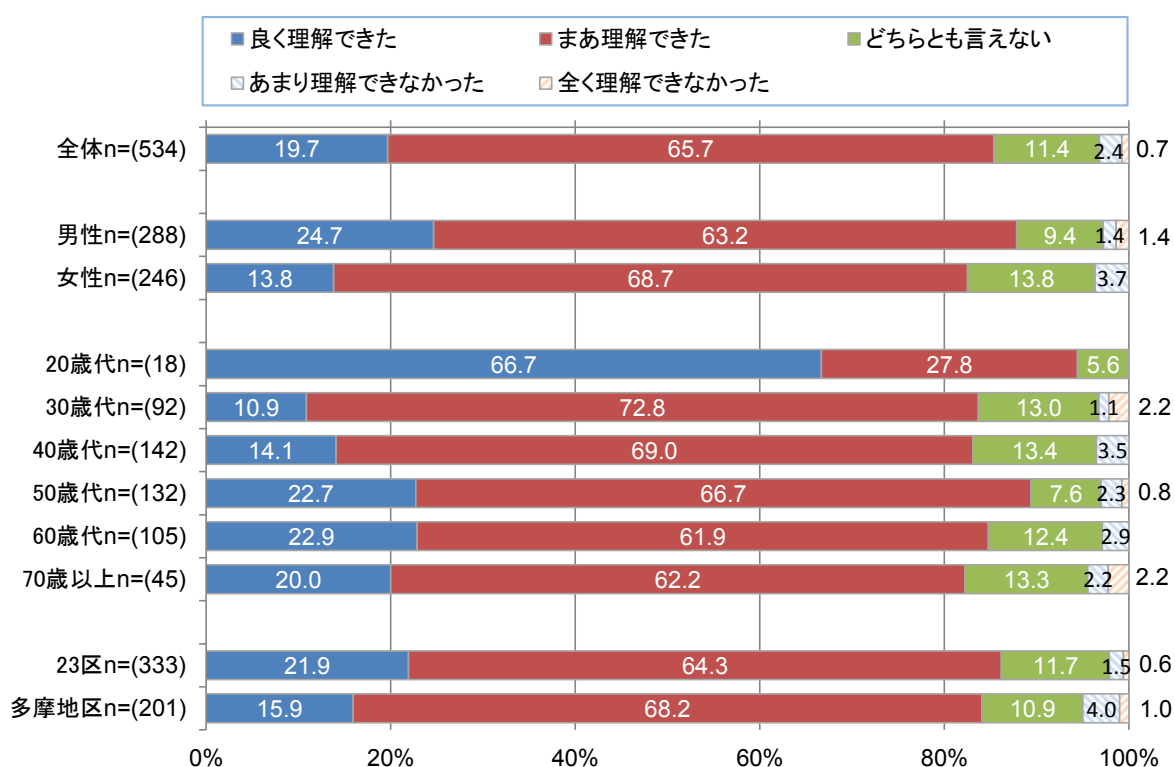


図 4. 1. 2 取組みについての理解度（経営方針）

4.1.3. 取組みについての理解度（２．取組みの概要）

- 「理解できた」との回答が84.2%で、「理解できなかった」との回答が2.5%であった。
- 性別でみると、「理解できた」との回答は、男性が86.1%、女性が82.1%となり、男性の方が4.0ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「理解できた」との回答は、60歳代が86.7%で最も多く、次に50歳代が85.6%で、最も少なかったのは30歳代で79.3%であった。
- 地域別にみると、「理解できた」との回答は、23区が86.2%、多摩地区で81.1%となり、23区の方が5.1ポイント高くなった。

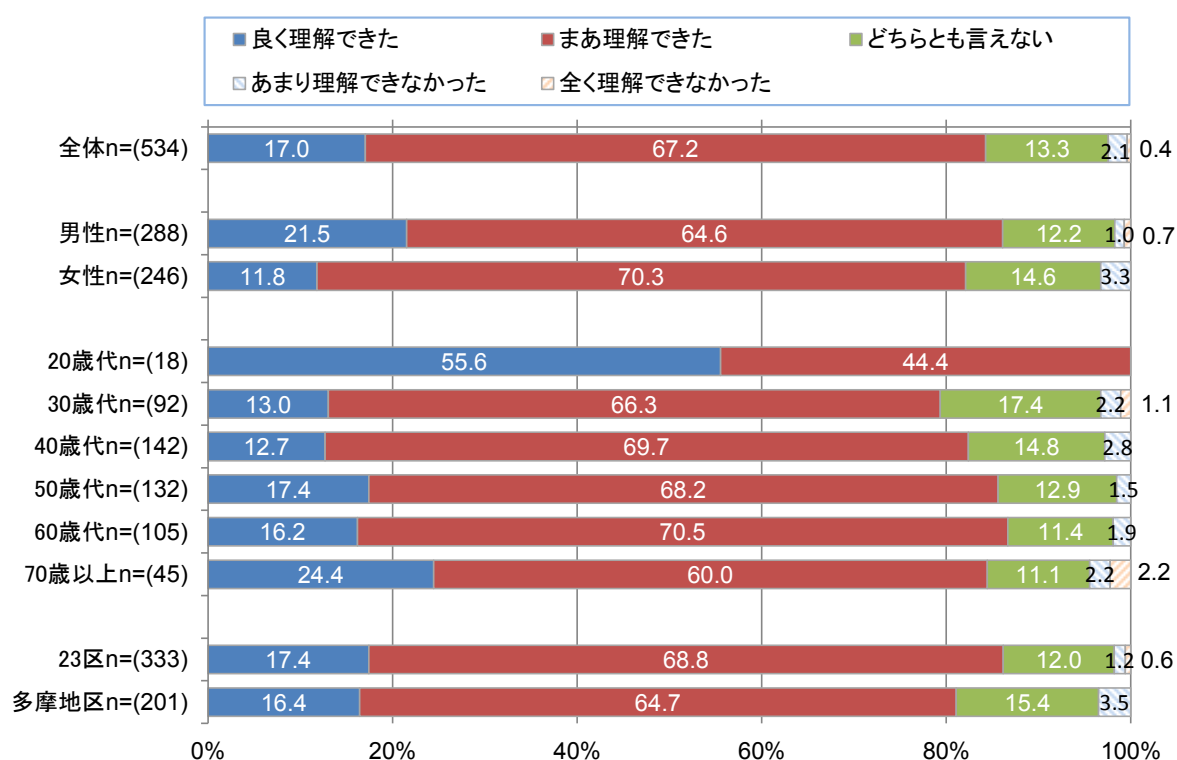


図 4.1.3 取組みについての理解度（取組みの概要）

4.1.4. 取組みについての理解度（３．主な事業指標と目標）

- 「理解できた」との回答が82.7%で、「理解できなかった」との回答が4.0%であった。
- 性別でみると、「理解できた」との回答は、男性が84.7%、女性が80.5%となり、男性の方が4.2ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「理解できた」との回答は、50歳代が85.6%で最も多く、次に60歳代が83.8%で、最も少なかったのは30歳代で79.3%であった。
- 地域別にみると、「理解できた」との回答は、23区が82.9%、多摩地区で82.6%となり、23区の方が0.3ポイント高くなった。

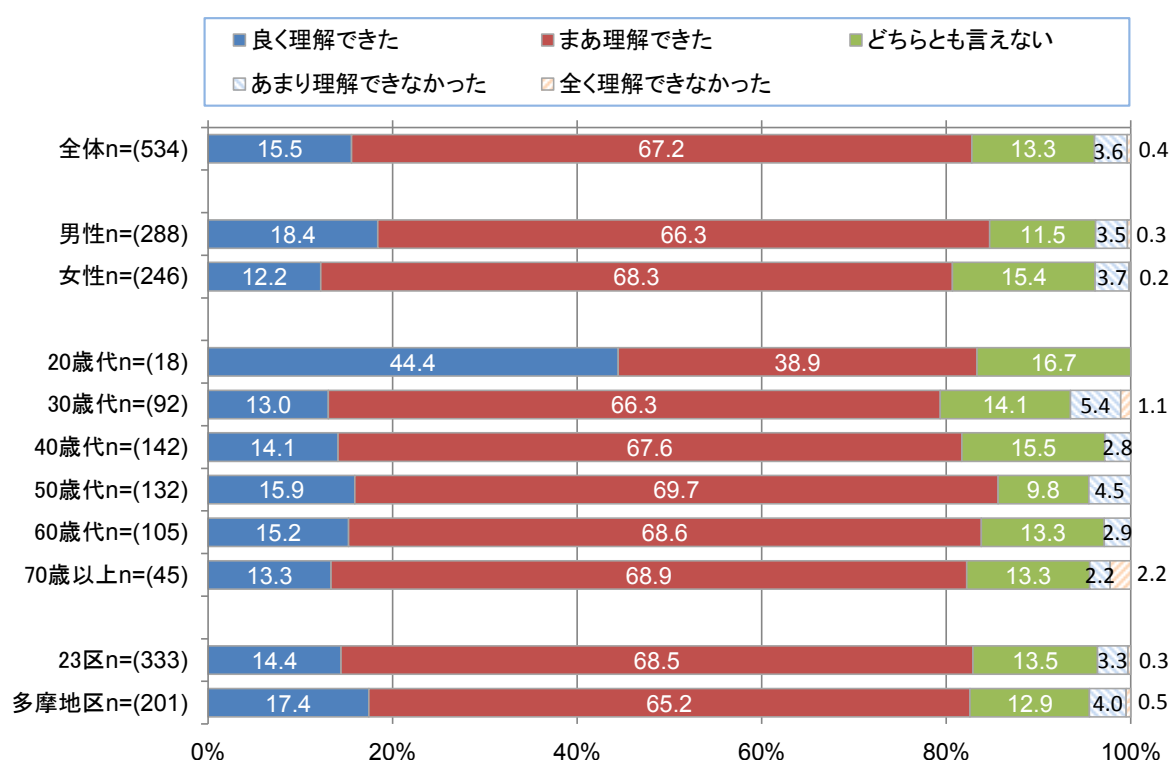


図 4. 1. 4 取組みについての理解度（主な事業指標と目標）

4.1.5. 取組みについての理解度（４．五輪の成功に向けた下水道事業）

- 「理解できた」との回答が78.1%で、「理解できなかった」との回答が4.1%であった。
- 性別でみると、「理解できた」との回答は、男性が78.8%、女性が77.2%となり、男性の方が1.6ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「理解できた」との回答は、50歳代が81.0%で最も多く、次に60歳代が80.0%で、最も少なかったのは20歳代で72.2%であった。
- 地域別にみると、「理解できた」との回答は、23区が78.4%、多摩地区で77.6%となり、23区の方が0.8ポイント高くなった。

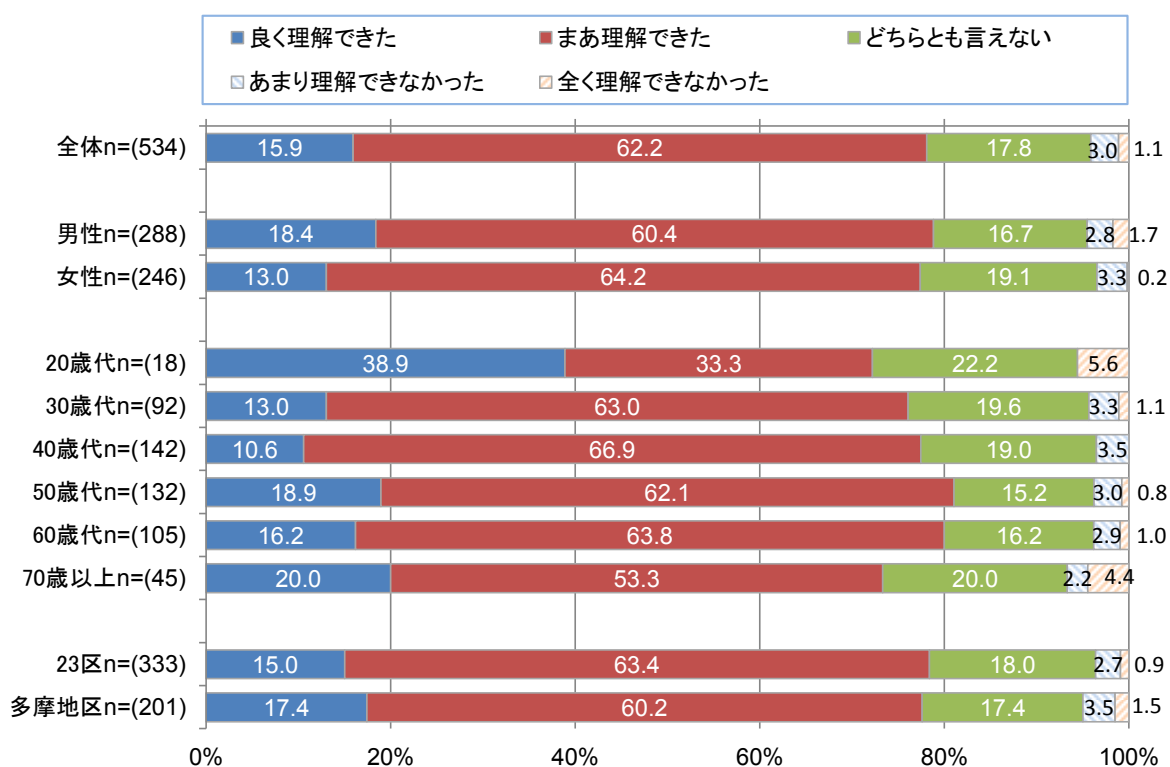


図 4.1.5 取組みについての理解度（五輪の成功に向けた下水道事業）

4.1.6. 取組みについて理解できなかった理由（自由回答）

問2 問1の中で、「あまり理解できなかった」「全く理解できなかった」と思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

理解できなかった理由については、「内容が難しい」が23.1%で最も多く、次に「目的、必要性」が17.9%、「読みづらい、わかりづらい」が15.4%であった。

また、「その他」を除くと、最も少なかったのは「情報過多」で10.3%であった。

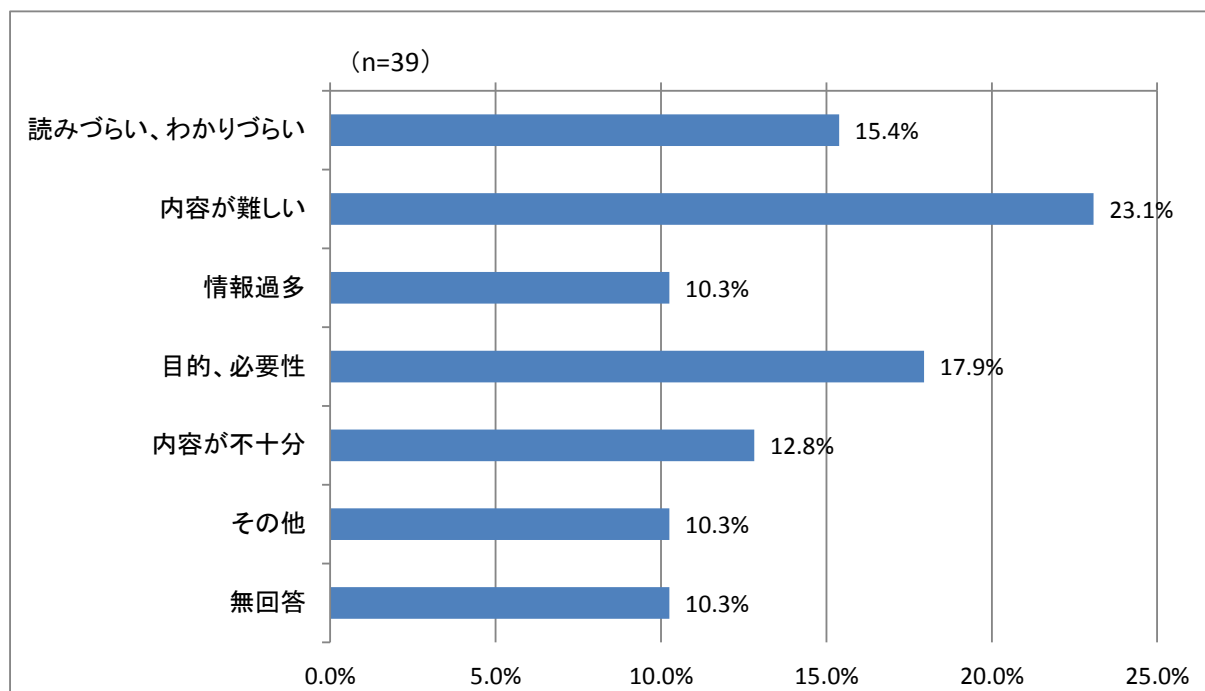


図 4.1.6 取組みについて理解できなかった理由（自由回答）

1. 「読みづらい、わかりづらい」

- ◆ 文字が多くて、読むのが大変。(多摩地区女性、40歳代)
- ◆ 役所用語が並び、結果的に伝わってこなかった。(多摩地区男性、60歳代)
- ◆ わからない言葉が多いです。たとえば～手法とか、経済的耐用年数とか、再構築とか。なんとなくこういうことかなという程度で理解しました。(多摩地区女性、40歳代)
- ◆ もう少しわかりやすく、例えば図化(グラフ等)での補足(現状との対比)説明が欲しかった。(23区女性、60歳代)
- ◆ 書かれている内容と東京都の地図とを頭の中で関連づけることができなかったから。オリンピックの競技会場確定や豊洲市場の移転問題等の影響が説明されていないから。(23区女性、50歳代)

2. 「内容が難しい」

- ◆ 難しい内容だったから。(多摩地区女性、40歳代)
- ◆ 1経営方針で、いきなり「合流式下水道」の改善、「高度処理」「エネルギー、地球温暖化対策」など、内容が理解できない言葉がでてきたため。後のページを読むことで、ようやくこれらの言葉の内容が理解できた。(23区男性、60歳代)
- ◆ 文字数が多く 硬い言葉で書かれていて 読むだけでも難しい。3の数字で表すことより色分けやパーセントで表すほうが分かりやすい。(23区女性、60歳代)
- ◆ 専門用語が多いので深く意味が理解できなかったが、2以降を読み、少しわかるようになった。(23区女性、50歳代)
- ◆ 文字数、専門用語が多くなり画像が少なかったので少しイメージが難しかったです。(23区女性、30歳代)

3. 「情報過多」

- ◆ 計画が甘い。(23区男性、70歳以上)
- ◆ 進捗率が示されていない。(多摩地区男性、30歳代)
- ◆ 言葉が多く、役所言葉?はっきり端的に要約するべき。(23区男性、50歳代)
- ◆ 専門用語が多いこと。盛り込んでいる内容が多いこと。これは抜粋版だと思うが、それでもボリュームというか、幅が広すぎるので、もっと専門外の一般人向けに絞り込んだものがあるとよい。(多摩地区男性、50歳代)

4. 「目的、必要性」

- ◆ 内容が多かった。また身近な感じがしなかった。(多摩地区女性、50歳代)
- ◆ たかが1か月にも満たないスポーツイベントに向けてというのが理解不能。永続的に恒常的に使う都民に向けての経営であり取り組みであるべき。(多摩地区女性、50歳代)
- ◆ 「集中と選択」的な経営思想を取り入れることを検討するとより良いのではないかと思います。(23区男性、30歳代)

- ◆ ①最小の経費とあるが、下水道と個別浄化槽の適用条件と経済性の比較を提示したうえで判断できるようにする説明が今後必要と考える。②現在での目標最終到達点の数値が表記されていないので、どのくらい進んでいるのかわからない。(多摩地区男性、50歳代)
- ◆ 資料全般に文言が多すぎる。例えば数値に関して言うと、目標値、実績値(又は%表示)を表記すれば理解しやすくなると思います。他にも、「対象全***完了、対象***完了」は分かりにくい。(多摩地区男性、60歳代)

5. 「内容が不十分」

- ◆ ①地震対策で「想定される最大級の地震動に対し…耐震対策を平成31年度までに完了する」とありますが、想定される最大級とは、震度またはマグニチュードいくつを想定しているのかわかりません。②維持管理の充実の中にある「経済的耐用年数」の意味がわかりません。(23区男性、60歳代)
- ◆ 来場者に対して安定的な下水道処理をすると記載されていましたが、具体的な取り組みをもう少し記載したほうが良いと思いました。(23区男性、40歳代)
- ◆ 具体性に欠けていてイメージしにくいと思ったから。(23区男性、40歳代)
- ◆ オリンピックの開催と下水道整備事業の推進を結びつける説明が足りない。瞬間的に増大する来日者をどれくらい想定した時に、どのような影響が懸念されるので…という試算を元に計画されているのでしょうかから、その辺を公表して頂いた方がよいと思います。また、オリンピックの開催が行わなければ実施しなかった、もしくは計画年度が先送りだったものなども知りたいです。(23区男性、50歳代)
- ◆ オリンピックに絡めて下水道をアピールする必要があるか？昨今オリンピックの予定経費増大が問題となっているのにマンホールにロゴを入れれば、この費用はどこから出ているのか？これが必要か？と必ず指摘される。(23区男性、50歳代)

6. 「その他」

- ◆ 経営方針は、大変良いのですが、事業の予算的にどれくらい進むのかなと感じたからです。五輪に関しての何か不透明感が今はあります。(多摩地区男性、60歳代)
- ◆ 再構築、対策等、の「やるべきことの順序を変えただけ」とも受け取れる。更に、競技施設付近のマンホール蓋のデザインを変える等、無駄な出費である。(多摩地区男性、60歳代)
- ◆ 4.5ヶ年計画であり、五輪の成功は補足的な結果でありタイトルには不要と思われる。23区男性、70歳以上)
- ◆ 今東京オリンピックの会場などまだまだ決まっていない事が多くあります。ですので会場の変更で具体的な内容が変更になるのではないかと案じています。(多摩地区女性、60歳代)

4.2. 『東京都下水道事業 経営計画2016』についての取組の概要

4.2.1. 東京都下水道局各施策の取組みについての重要度（全体）

問3 『東京都下水道事業 経営計画2016』をお読みになり、「取組みの概要」に示した主な施策について、あなたはどのくらい重要であると思われますか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい。（単一回答）

「重要である（非常に重要である、やや重要である）」と回答したモニターは「3. 震災対策」が93.5%で最も多く、次に「2. 浸水対策」が92.3%、「4. 維持管理の充実」が90.7%、「8. 危機管理対応の強化」が90.6%で、これらの項目は9割以上のモニターが重要であると回答した。また、重要度が低かったのは「13. 東京下水道の「応援団」の獲得」で57.5%であった

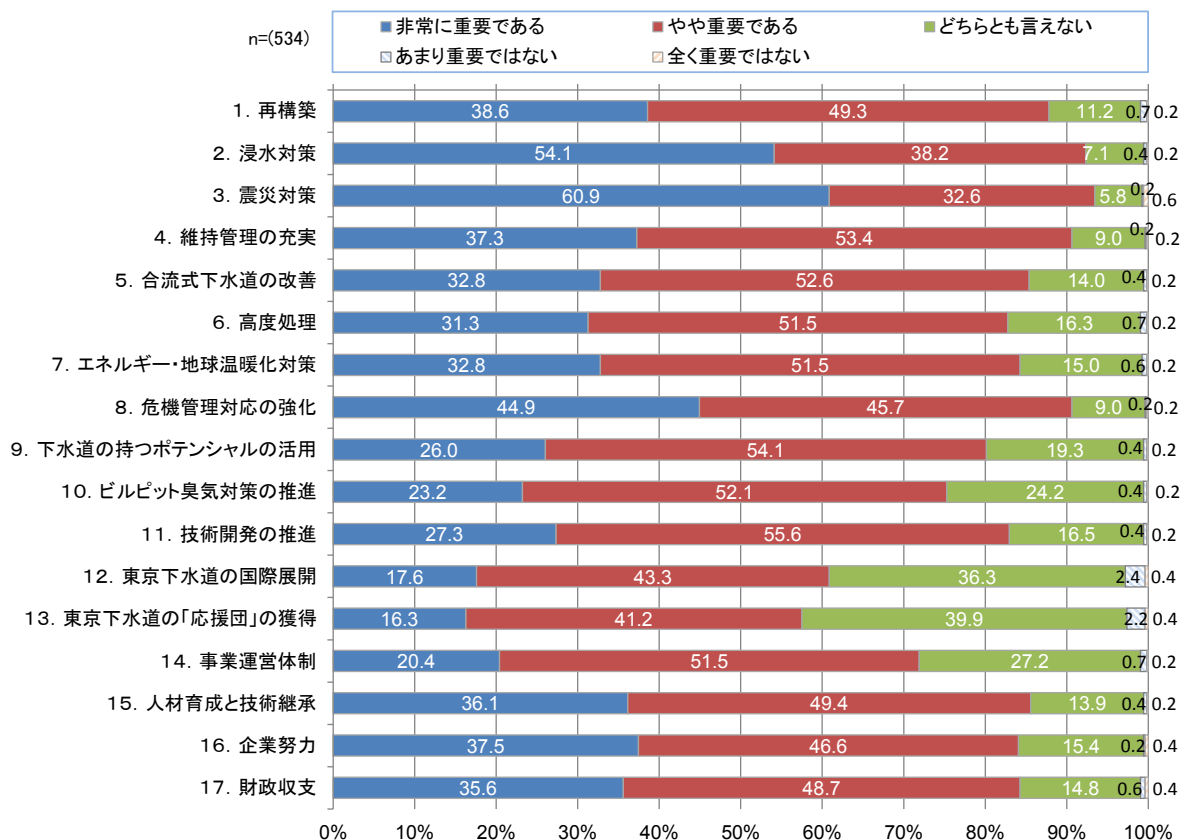


図 4.2.1 各施策の取組みについての重要度（全体）

4.2.2. 各施策の重要度（１．再構築）

- 「重要である」との回答が87.9%で、「重要でない」との回答が0.9%であった。
- 性別でみると、「重要である」との回答は、男性が86.8%、女性が89.0%となり、女性の方が2.2ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「重要である」との回答は、20歳代では全て回答し、次に50歳代が90.9%で、最も少なかったのは40歳代で85.2%であった。
- 地域別にみると、「重要である」との回答は、23区が89.5%、多摩地区で85.1%となり、23区の方が4.4ポイント高くなった。

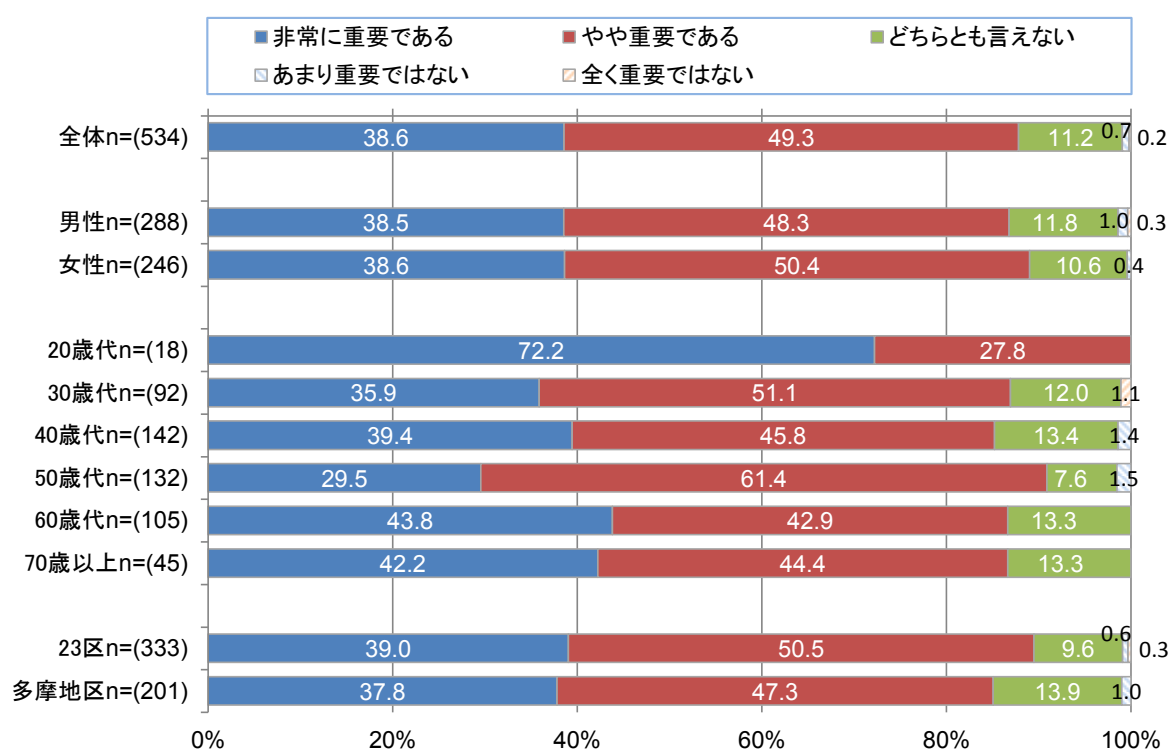


図 4.2.2 各施策の重要度（再構築）

4.2.3. 各施策の重要度（２．浸水対策）

- 「重要である」との回答が92.3%で、「重要でない」との回答が0.6%であった。
- 性別でみると、「重要である」との回答は、男性が89.6%、女性が95.6%となり、女性の方が6.0ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「重要である」との回答は、20歳代の全てが「重要である」と回答し、次に50歳代が93.9%で、最も少なかったのは70歳以上で84.4%であった。
また、70歳以上の15.6%は「どちらとも言えない」と回答していた。
- 地域別にみると、「重要である」との回答は、23区が93.1%、多摩地区で91.0%となり、23区の方が2.1ポイント高くなった。

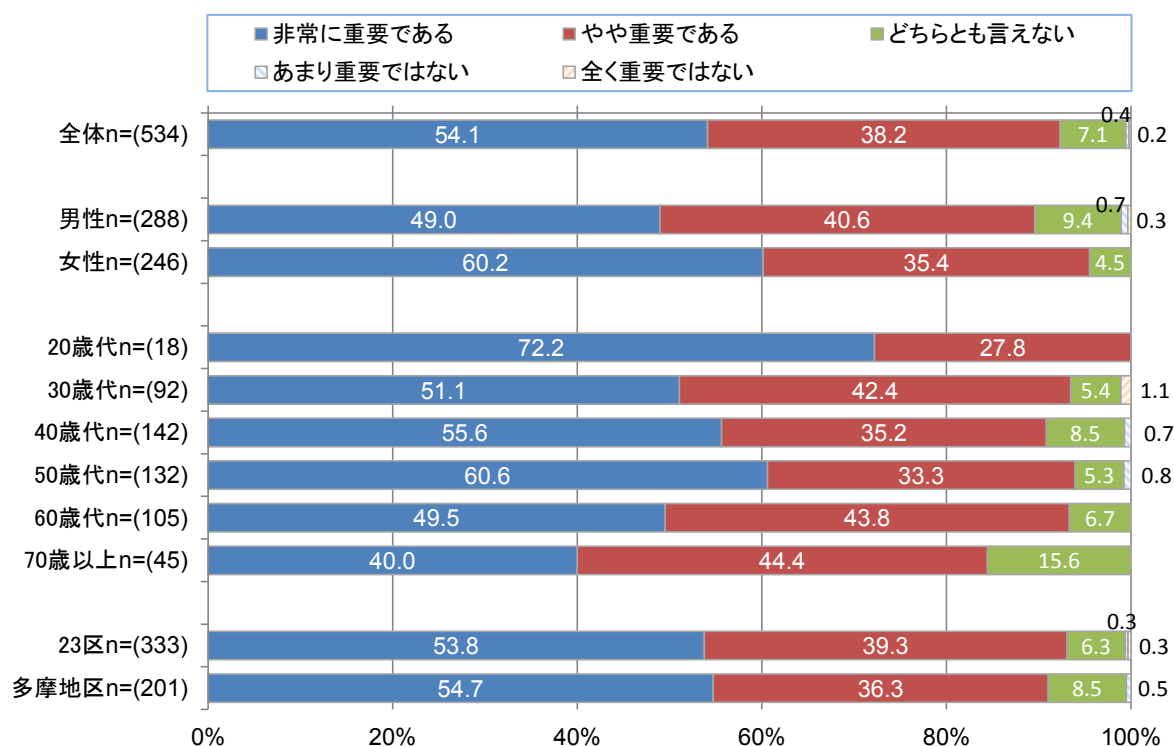


図 4.2.3 各施策の重要度（浸水対策）

4.2.4. 各施策の重要度（３．震災対策）

- 「重要である」との回答が93.5%で、「重要でない」との回答が0.8%であった。
- 性別でみると、「重要である」との回答は、男性が92.4%、女性が94.7%となり、女性の方が2.3ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「重要である」との回答は、20歳代の全てが「重要である」と回答し、次に60歳代が96.2%で、最も少なかったのは70歳以上で88.9%であった。
また、70歳以上の11.1%は「どちらとも言えない」と回答していた。
- 地域別にみると、「重要である」との回答は、23区が93.4%、多摩地区で93.5%となり、多摩地区の方が0.1ポイント高くなった。

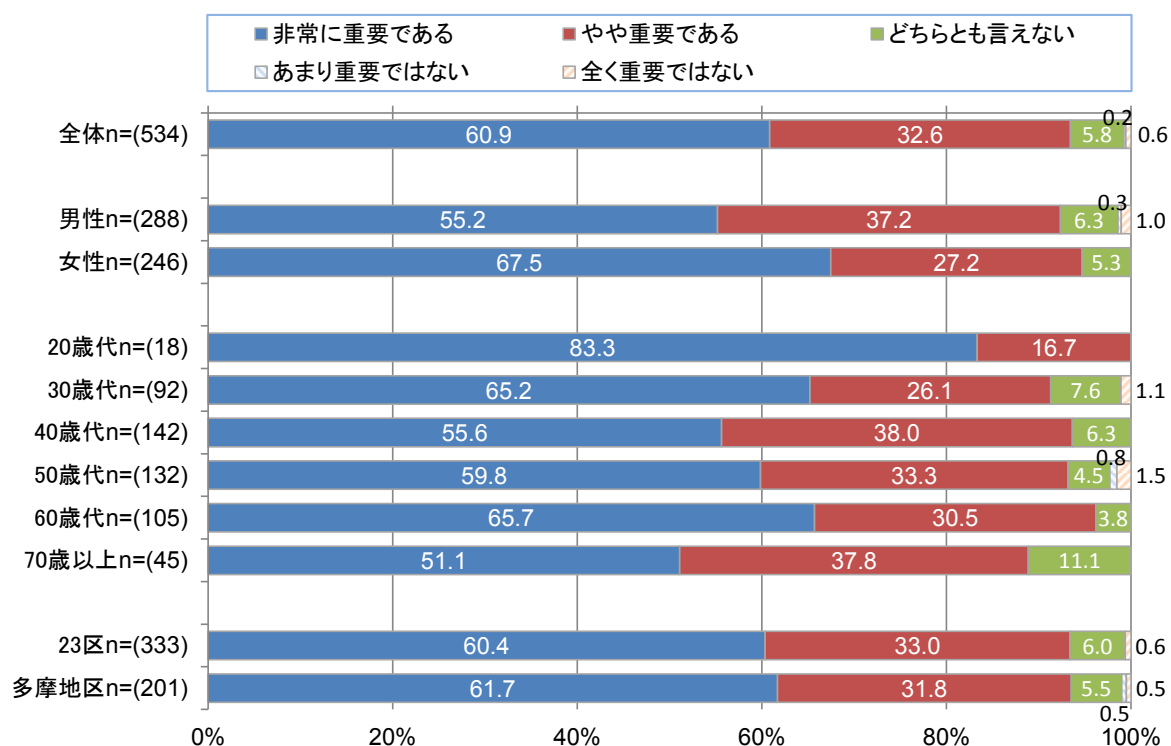


図4.2.4 各施策の重要度（震災対策）

4.2.5. 各施策の重要度（４．維持管理の充実）

- 「重要である」との回答が90.7%で、「重要でない」との回答が0.4%であった。
- 性別でみると、「重要である」との回答は、男性が89.5%、女性が91.9%となり、女性の方が2.4ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「重要である」との回答は、20歳代が94.4%で最も多く、次に30歳代と60歳代が92.4%で、最も少なかったのは70歳以上で84.4%であった。
また、70歳以上の15.6%は「どちらとも言えない」と回答していた。
- 地域別にみると、「重要である」との回答は、23区が91.3%、多摩地区で89.6%となり、23区の方が1.7ポイント高くなった。

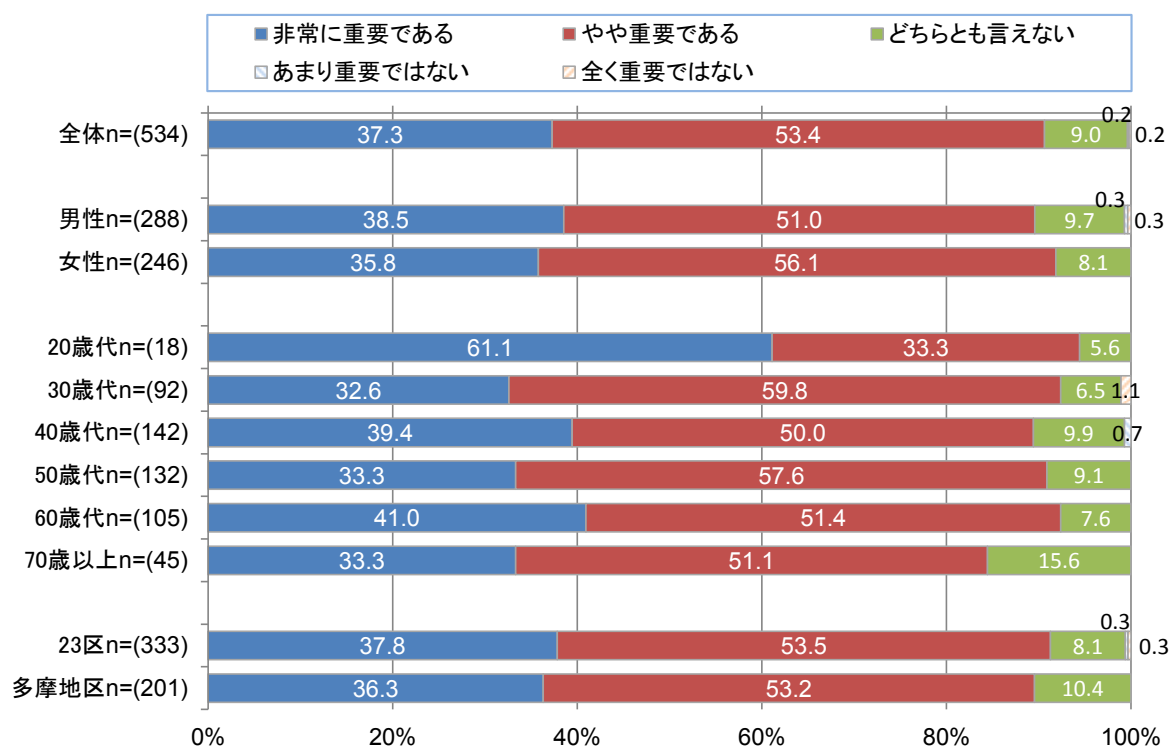


図4.2.5 各施策の重要度（維持管理の充実）

4.2.6. 各施策の重要度（５．合流式下水道の改善）

- 「重要である」との回答が85.4%で、「重要でない」との回答が0.6%であった。
- 性別でみると、「重要である」との回答は、男性が84.4%、女性が86.6%となり、女性の方が2.2ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「重要である」との回答は、20歳代と70歳以上が88.9%で最も多く、次に40歳代が86.6%で、最も少なかったのは50歳代で83.3%であった。
- 地域別にみると、「重要である」との回答は、23区が84.1%、多摩地区で87.5%となり、多摩地区の方が3.4ポイント高くなった。

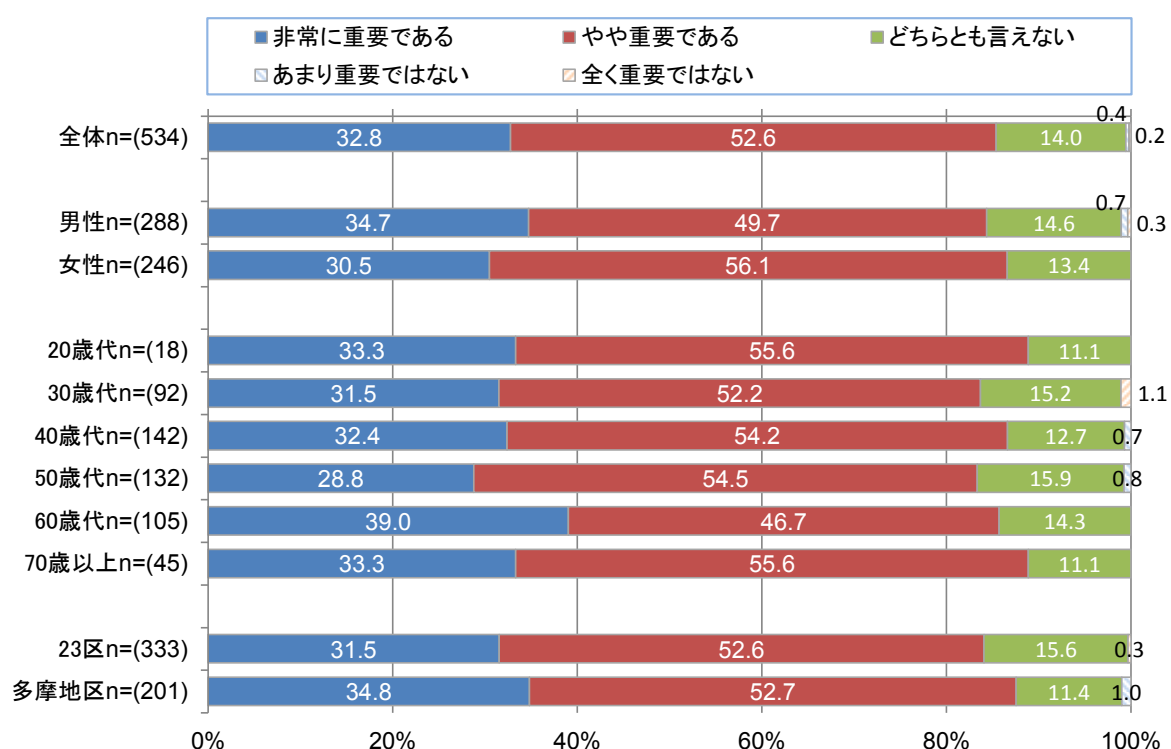


図4.2.6 各施策の重要度（合流式下水道の改善）

4.2.7. 各施策の重要度（6. 高度処理）

- 「重要である」との回答が82.8%で、「重要でない」との回答が0.9%であった。
- 性別でみると、「重要である」との回答は、男性が81.0%、女性が85.0%となり、女性の方が4.0ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「重要である」との回答は、20歳代が94.4%で最も多く、次に70歳以上が86.7%で、最も少なかったのは30歳代で79.4%であった。
- 地域別にみると、「重要である」との回答は、23区が83.5%、多摩地区で81.5%となり、23区の方が1.5ポイント高くなった。

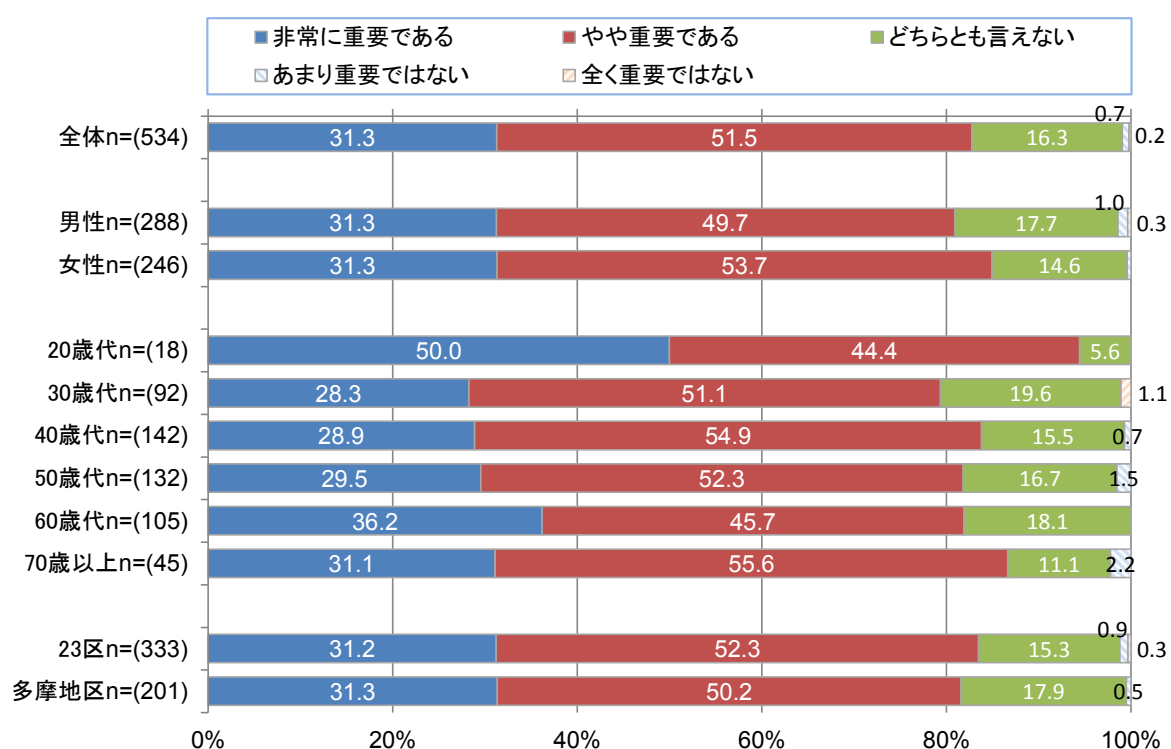


図4.2.7 各施策の重要度（高度処理）

4.2.8. 各施策の重要度（７．エネルギー・地球温暖化対策）

- 「重要である」との回答が84.3%で、「重要でない」との回答が0.7%であった。
- 性別でみると、「重要である」との回答は、男性が79.8%、女性が89.4%となり、女性の方が9.5ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「重要である」との回答は、60歳代が88.5%で最も多く、次に30歳代が85.9%で、最も少なかったのは40歳代で81.7%であった。
- 地域別にみると、「重要である」との回答は、23区が83.5%、多摩地区で85.6%となり、多摩地区の方が2.1ポイント高くなった。

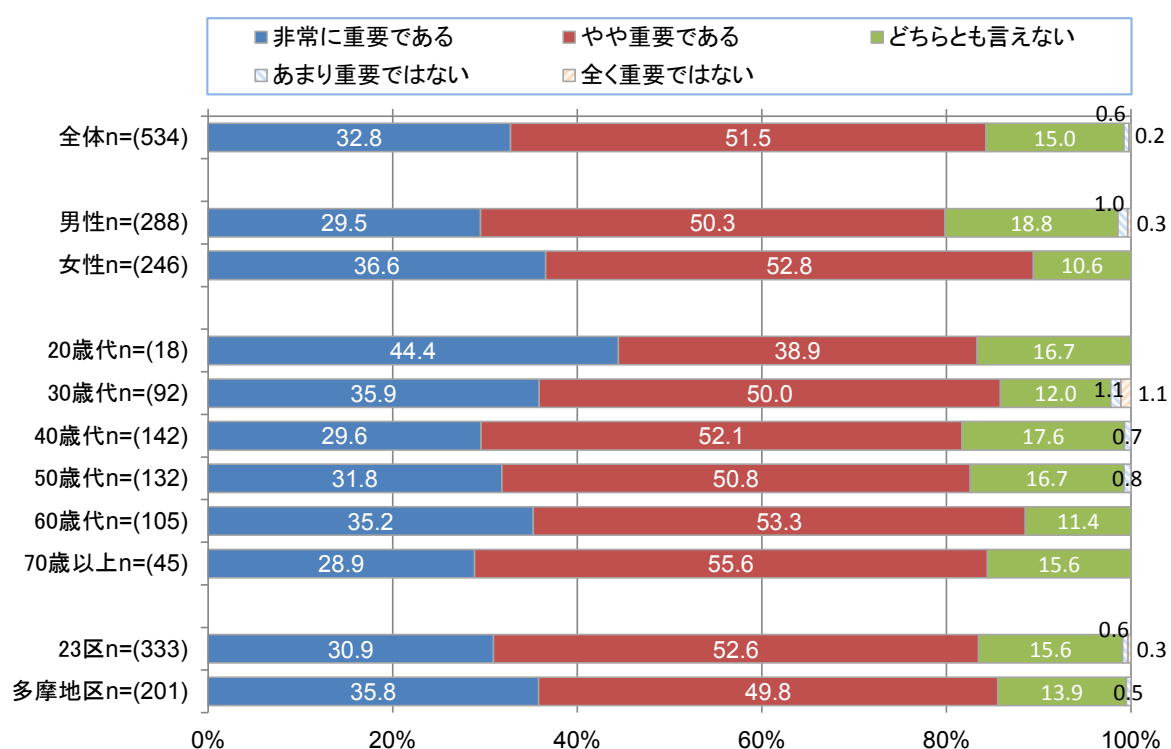


図4.2.8 各施策の重要度（エネルギー・地球温暖化対策）

4.2.9. 各施策の重要度（８．危機管理対応の強化）

- 「重要である」との回答が90.6%で、「重要でない」との回答が0.4%であった。
- 性別でみると、「重要である」との回答は、男性が90.0%、女性が91.5%となり、女性の方が1.5ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「重要である」との回答は、20歳代の全てが「重要である」と回答し、次に50歳代が91.6%で、最も少なかったのは40歳代で89.4%であった。
- 地域別にみると、「重要である」との回答は、23区が90.9%、多摩地区で90.1%となり、23区の方が0.8ポイント高くなった。

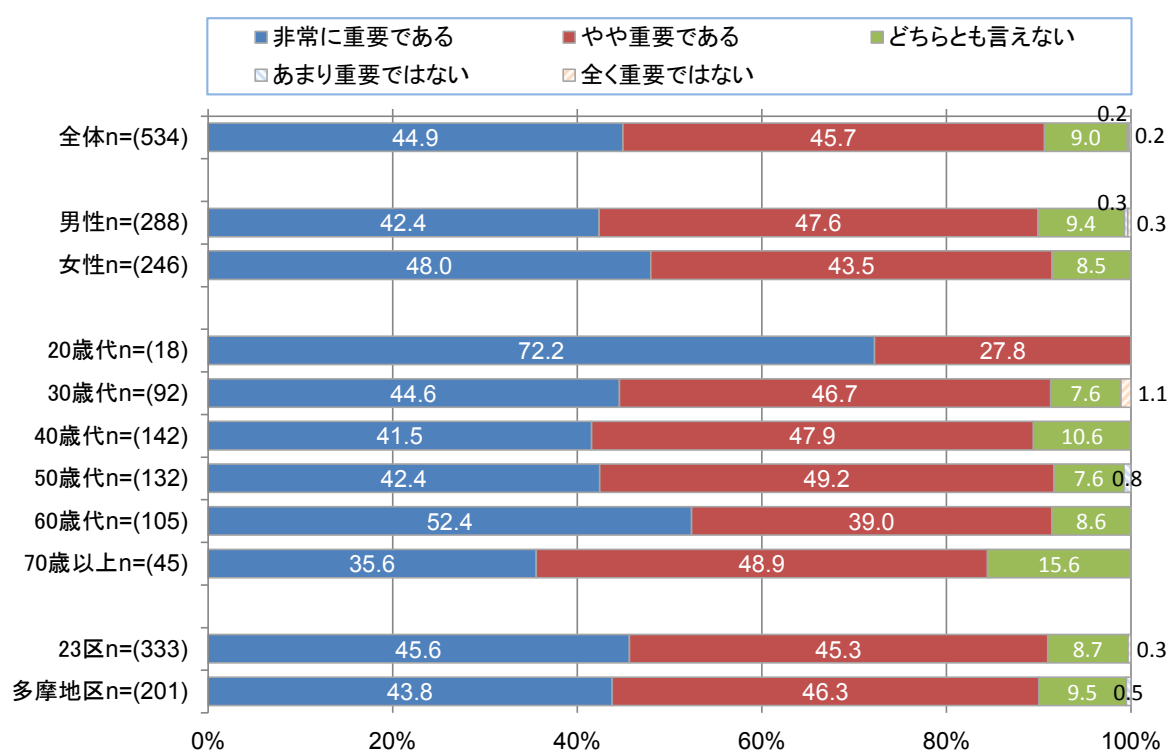


図4.2.9 各施策の重要度（危機管理対応の強化）

4.2.10. 各施策の重要度（9. 下水道の持つポテンシャルの活用）

- 「重要である」との回答が80.1%で、「重要でない」との回答が0.6%であった。
- 性別でみると、「重要である」との回答は、男性が80.9%、女性が79.2%となり、男性の方が1.7ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「重要である」との回答は、20歳代が88.9%で最も多く、次に70歳以上が86.7%で、最も少なかったのは60歳代で76.2%であった。
- 地域別にみると、「重要である」との回答は、23区が79.0%、多摩地区で82.1%となり、多摩地区の方が3.1ポイント高くなった。

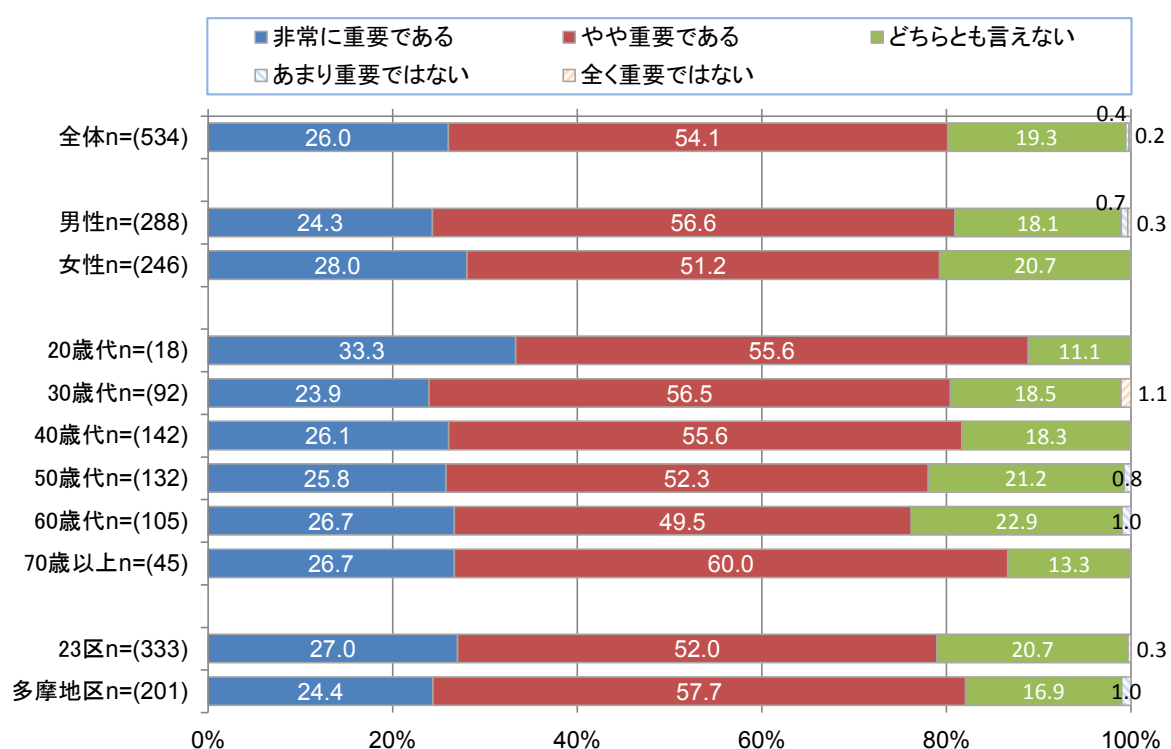


図4.2.10 各施策の重要度（下水道の持つポテンシャルの活用）

4.2.11. 各施策の重要度（１０．ビルピット臭気対策の推進）

- 「重要である」との回答が75.3%で、「重要でない」との回答が0.6%であった。
- 性別でみると、「重要である」との回答は、男性が72.6%、女性が78.5%となり、女性の方が5.9ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「重要である」との回答は、20歳代の全てが「重要である」と回答し、次に50歳代が75.8%で、最も少なかったのは60歳代と70歳以上で73.3%であった。
- 地域別にみると、「重要である」との回答は、23区が75.4%、多摩地区で75.1%となり、23区の方が0.3ポイント高くなった。

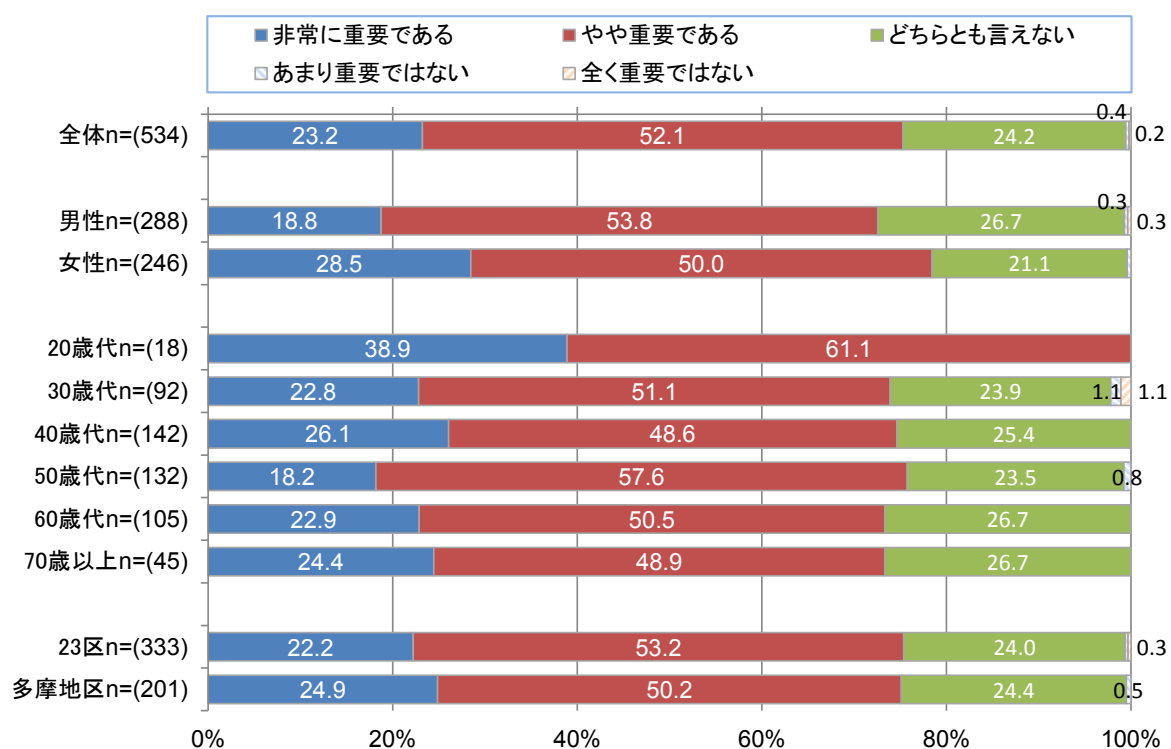


図4.2.11 各施策の重要度（ビルピット臭気対策の推進）

4.2.12. 各施策の重要度（１１．技術開発の推進）

- 「重要である」との回答が82.9%で、「重要でない」との回答が0.6%であった。
- 性別でみると、「重要である」との回答は、男性が82.3%、女性が83.8%となり、女性の方が1.5ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「重要である」との回答は、20歳代が94.4%で最も多く、次に70歳以上が88.9%で、最も少なかったのは50歳代で81.1%であった。
- 地域別にみると、「重要である」との回答は、23区が82.3%、多摩地区で84.1%となり、多摩地区の方が1.8ポイント高くなった。

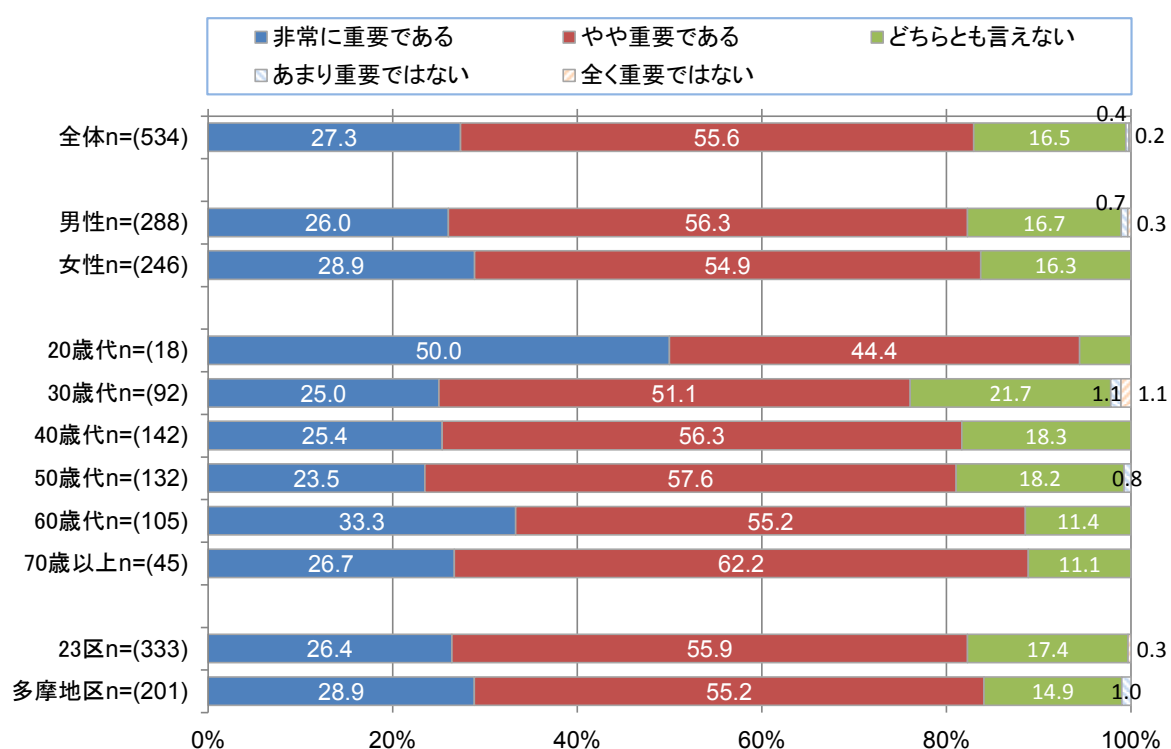


図4.2.12 各施策の重要度（技術開発の推進）

4.2.13. 各施策の重要度（１２．東京下水道の国際展開）

- 「重要である」との回答が60.9%で、「重要でない」との回答が2.8%であった。
- 性別でみると、「重要である」との回答は、男性が59.1%、女性が63.0%となり、女性の方が3.9ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「重要である」との回答は、20歳代が66.7%で最も多く、次に30歳代が66.3%で、最も少なかったのは50歳代で56.8%であった。
- 地域別にみると、「重要である」との回答は、23区が59.4%、多摩地区で63.2%となり、多摩地区の方が3.8ポイント高くなった。

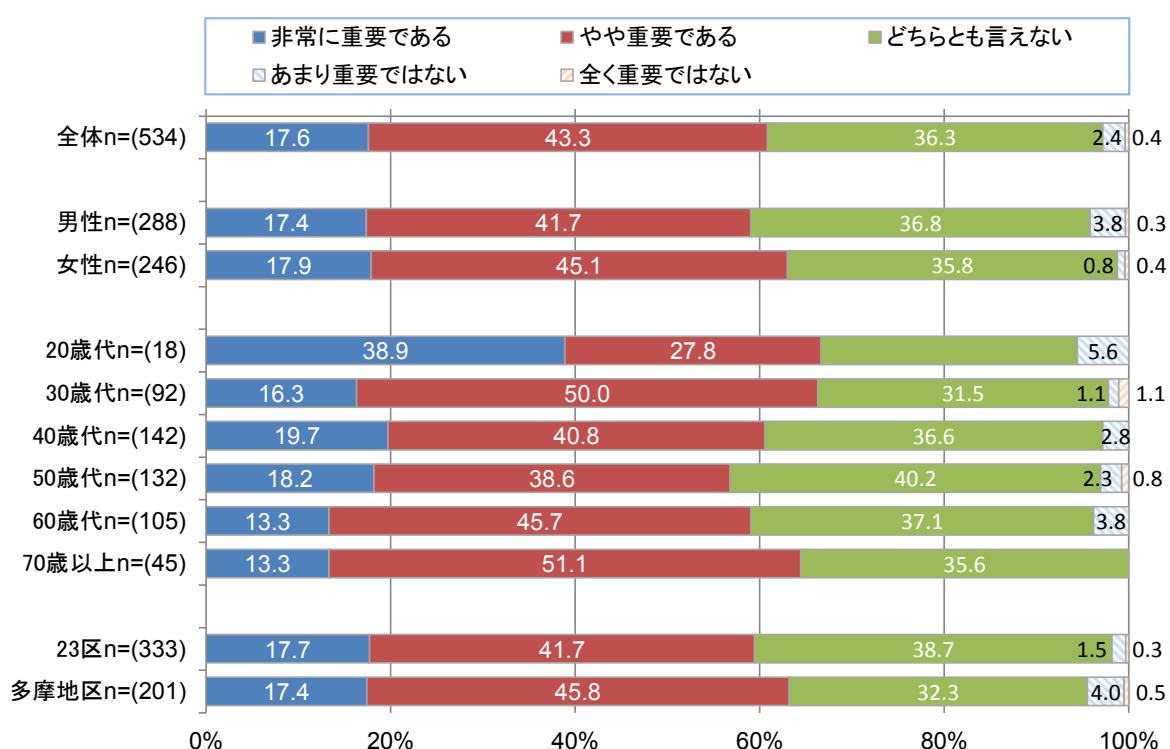


図4. 2. 13 各施策の重要度（東京下水道の国際展開）

4.2.14. 各施策の重要度（13. 東京下水道の「応援団」の獲得）

- 「重要である」との回答が57.5%で、「重要でない」との回答が2.6%であった。
- 性別でみると、「重要である」との回答は、男性が55.9%、女性が59.4%となり、女性の方が3.5ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「重要である」との回答は、60歳代が61.9%で最も多く、次に30歳代が58.7%で、最も少なかったのは50歳代で53.1%であった。
- 地域別にみると、「重要である」との回答は、23区が57.9%、多摩地区で56.7%となり、23区の方が1.2ポイント高くなった。

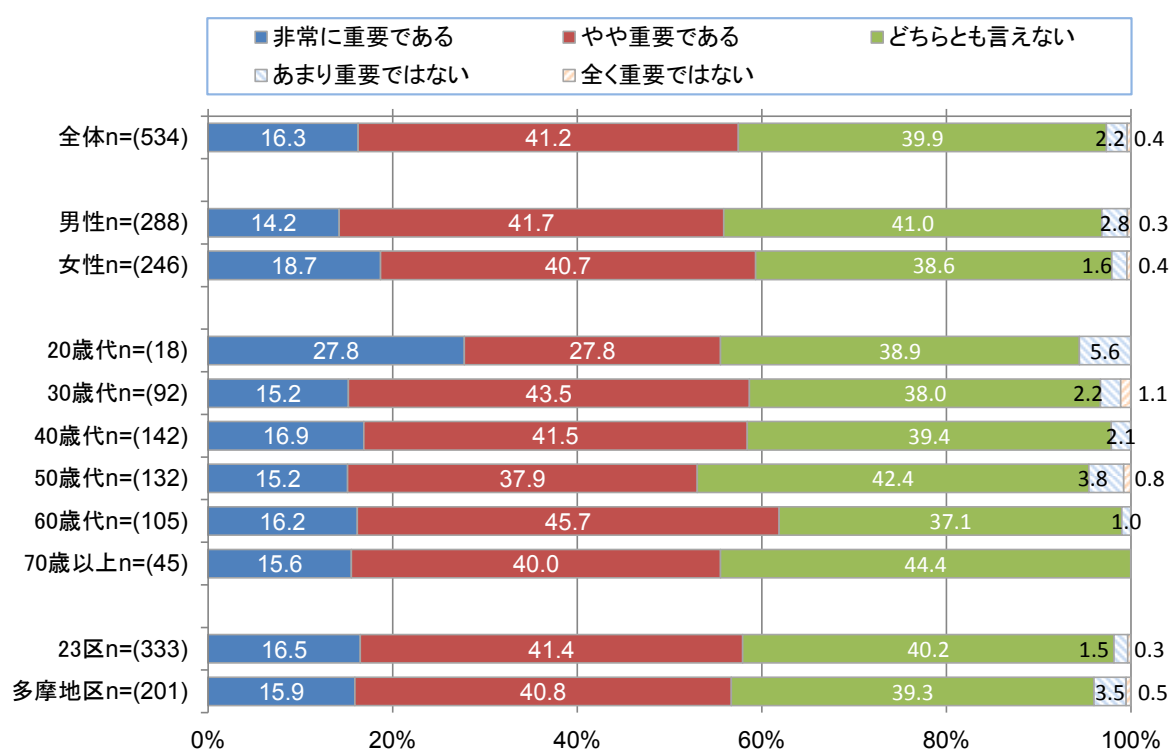


図4.2.14 各施策の重要度（東京下水道の「応援団」の獲得）

4.2.15. 各施策の重要度（14. 事業運営体制）

- 「重要である」との回答が71.9%で、「重要でない」との回答が0.9%であった。
- 性別でみると、「重要である」との回答は、男性が70.8%、女性が73.2%となり、女性の方が2.4ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「重要である」との回答は、20歳代と70歳以上が77.8%で最も多く、次に60歳代が74.2%で、最も少なかったのは40歳代で67.6%であった。
- 地域別にみると、「重要である」との回答は、23区が71.8%、多摩地区で72.1%となり、多摩地区の方が0.3ポイント高くなった。

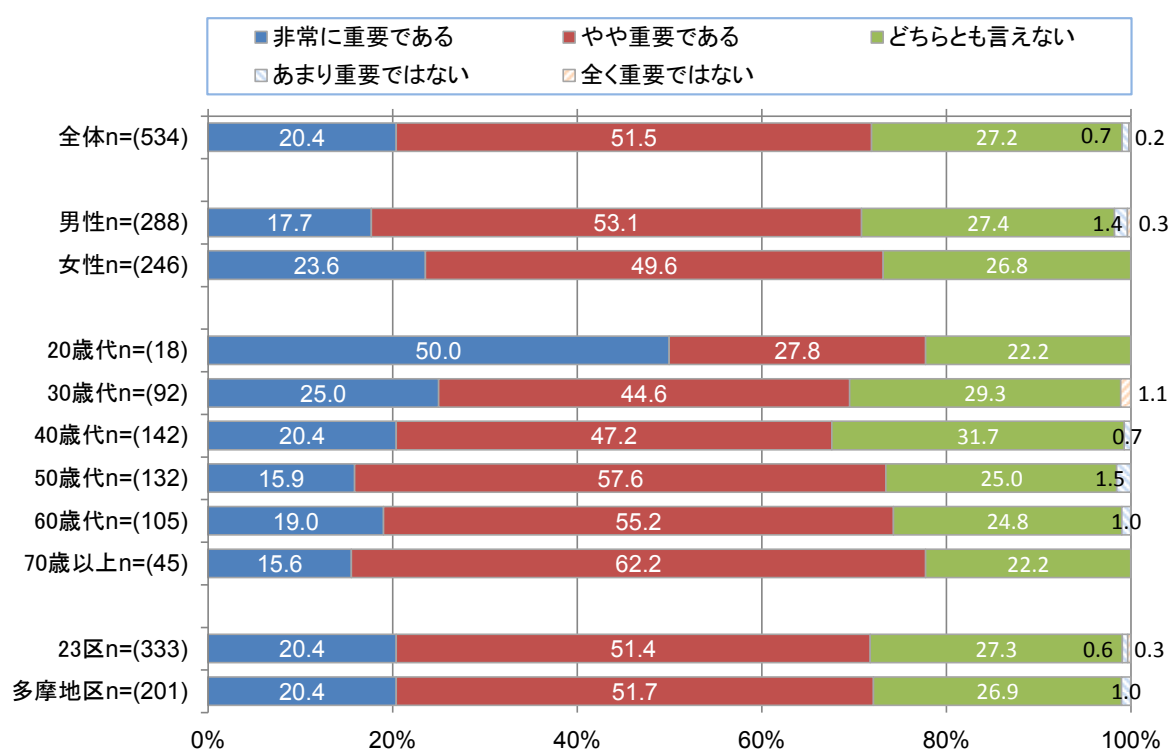


図4. 2. 15 各施策の重要度（事業運営体制）

4.2.16. 各施策の重要度（１５．人材育成と技術継承）

- 「重要である」との回答が85.5%で、「重要でない」との回答が0.6%であった。
- 性別でみると、「重要である」との回答は、男性が83.0%、女性が88.6%となり、女性の方が5.6ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「重要である」との回答は、60歳代が91.4%で最も多く、次に70歳以上が86.7%で、最も少なかったのは30歳代で82.6%であった。
- 地域別にみると、「重要である」との回答は、23区が84.0%、多摩地区で88.0%となり、多摩地区の方が4.0ポイント高くなった。

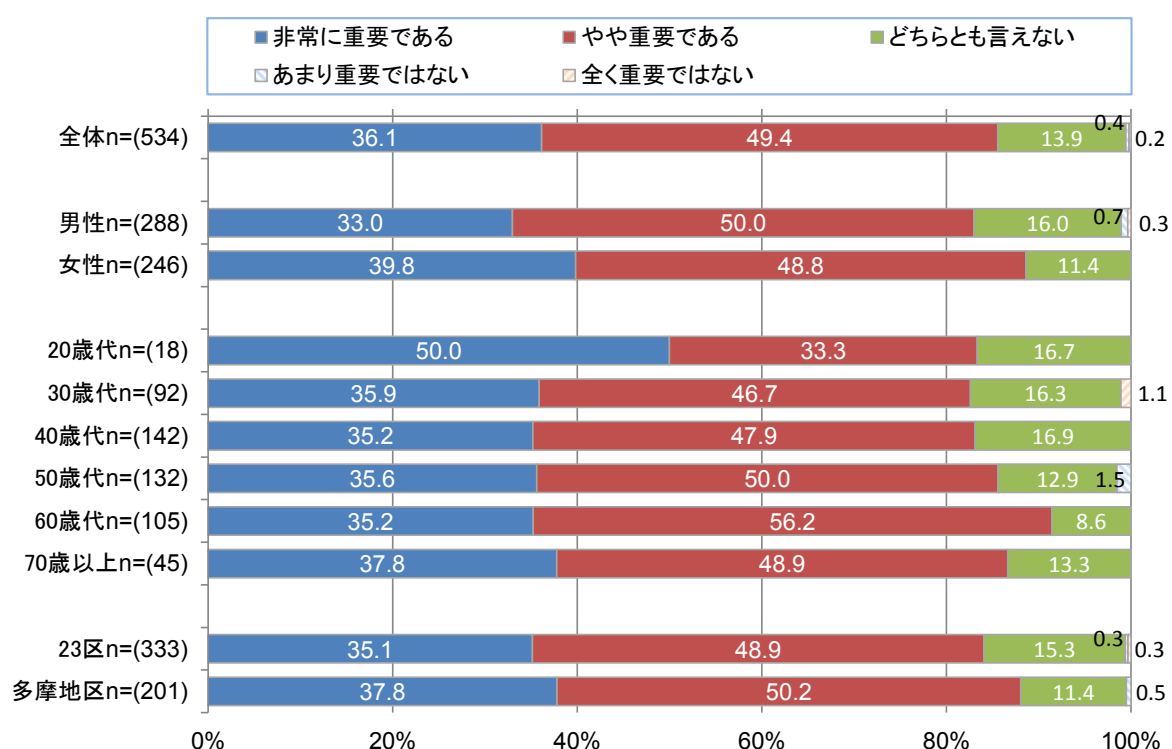


図4.2.16 各施策の重要度（人材育成と技術継承）

4.2.17. 各施策の重要度（１６． 企業努力）

- 「重要である」との回答が84.1%で、「重要でない」との回答が0.6%であった。
- 性別でみると、「重要である」との回答は、男性が83.0%、女性が85.3%となり、女性の方が2.3ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「重要である」との回答は、60歳代が89.5%で最も多く、次に30歳代が83.7%で、最も少なかったのは70歳以上で80.0%であった。
- 地域別にみると、「重要である」との回答は、23区が81.9%、多摩地区で87.6%となり、多摩地区の方が5.7ポイント高くなった。

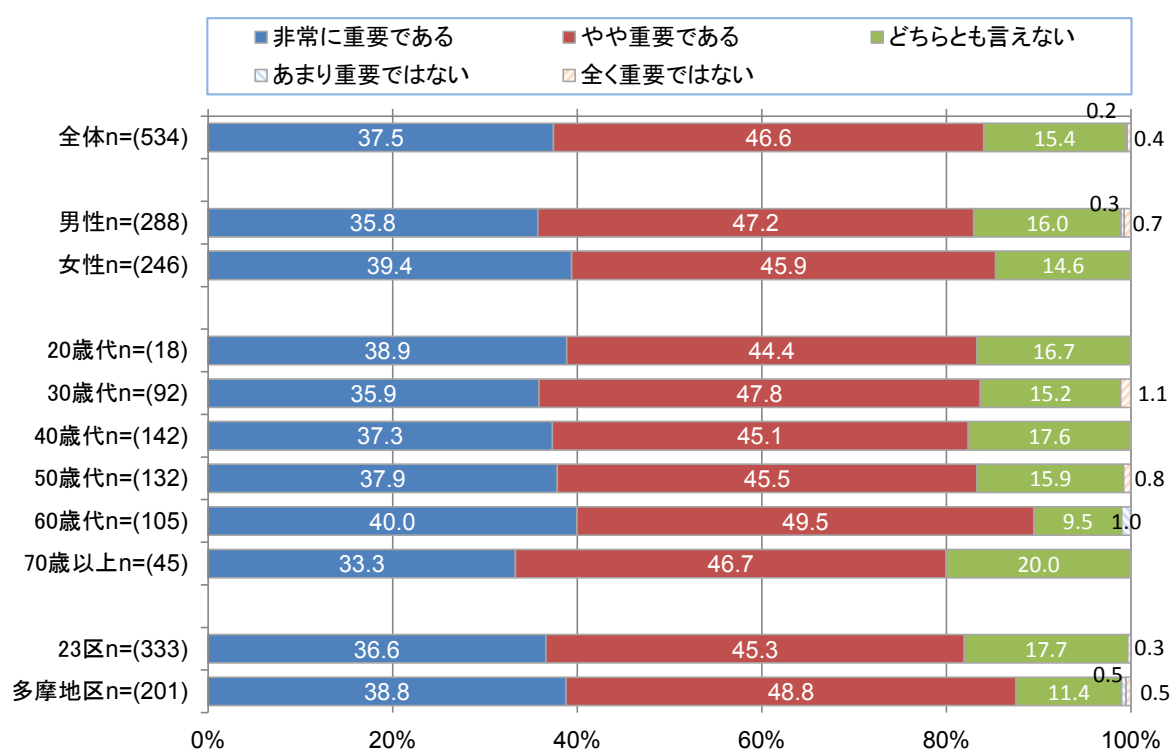


図4. 2. 17 各施策の重要度（企業努力）

4.2.18. 各施策の重要度（１７．財政収支）

- 「重要である」との回答が84.3%で、「重要でない」との回答が1.0%であった。
- 性別でみると、「重要である」との回答は、男性が82.6%、女性が86.2%となり、女性の方が3.6ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「重要である」との回答は、20歳代が94.4%で最も多く、次に60歳代が87.6%で、最も少なかったのは40歳代で81.7%であった。
- 地域別にみると、「重要である」との回答は、23区が82.2%、多摩地区で87.6%となり、多摩地区の方が5.4ポイント高くなった。

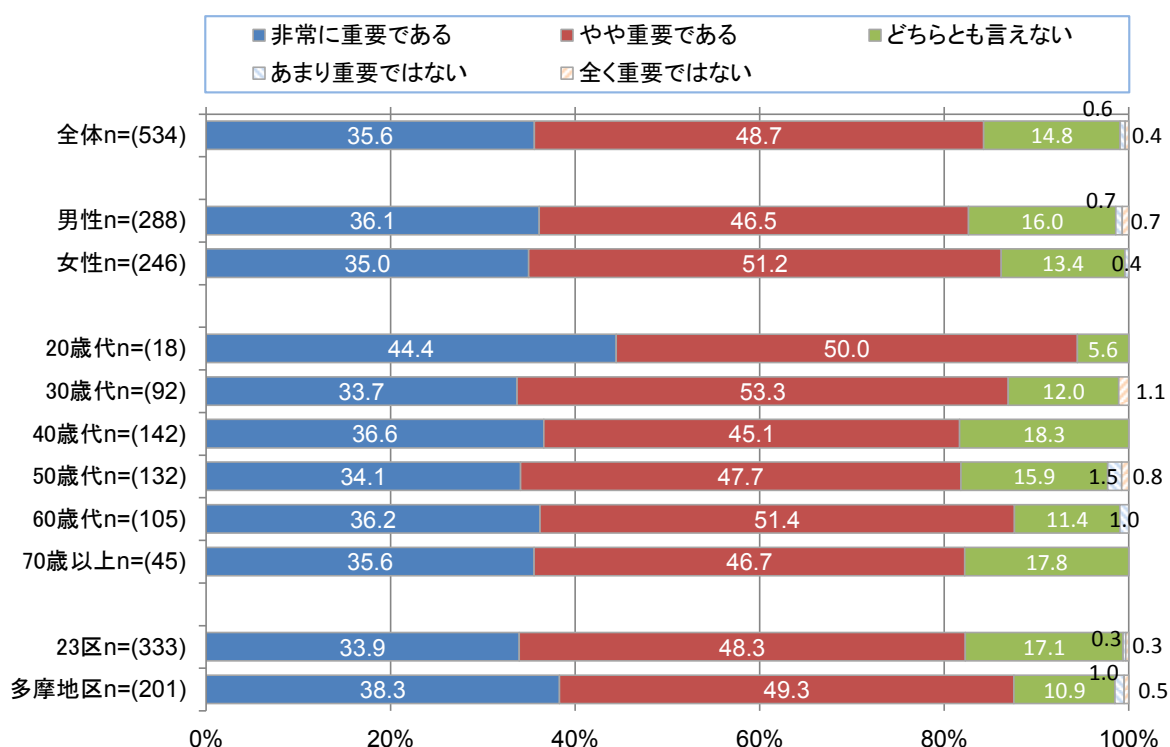


図 4.2.18 各施策の重要度（財政収支）

4.2.19. 各施策について重要でなかった理由（自由回答）

問4 問3の中で、「あまり重要ではない」「全く重要ではない」と思われるのはなぜですか？
その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

「取組みの概要」に示した主な施策について、「あまり重要ではない」「全く重要ではない」と思われた理由については、「必要と思わない」が 27.3%で最も多く、次に「優先度の問題」が 18.2%であった。

また、最も少なかったのは「内容がわからない」で9.1%であった。

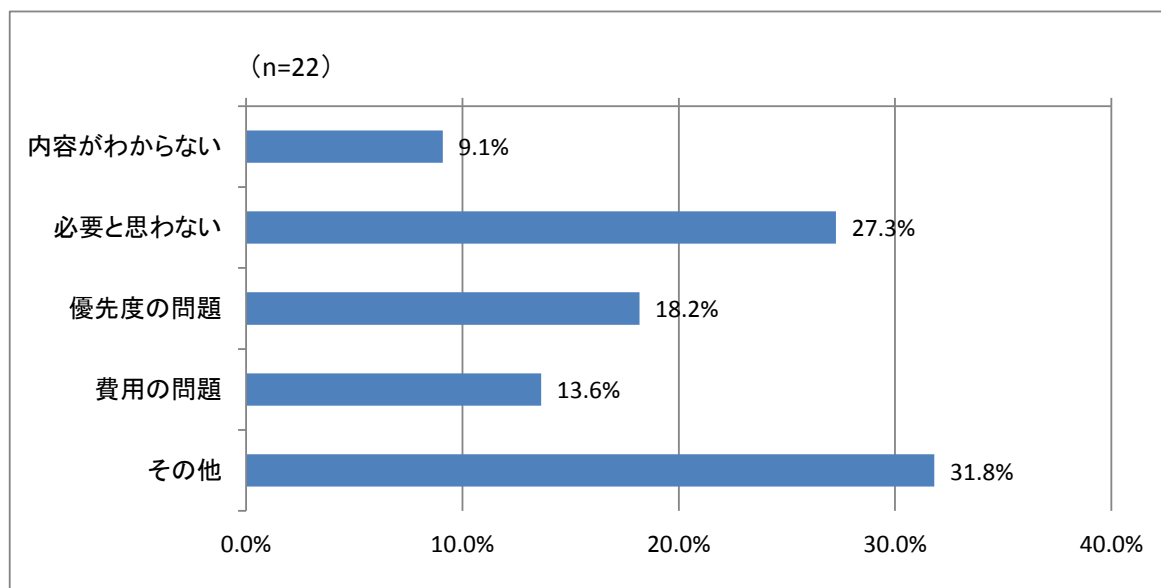


図 4. 2. 19 各施策について重要でなかった理由（自由回答）

4.2.20. 重要でないと考えている施策について

重要でない（「あまり重要ではない」、「全く重要ではない」）と回答した施策で、最も多かったのは「12. 東京下水道の国際展開」で15人、次に「13. 東京下水道の「応援団」の獲得」で14人、最も少なかったのは「4. 維持管理の充実」、「8. 危機管理対応の強化」が2人であった。

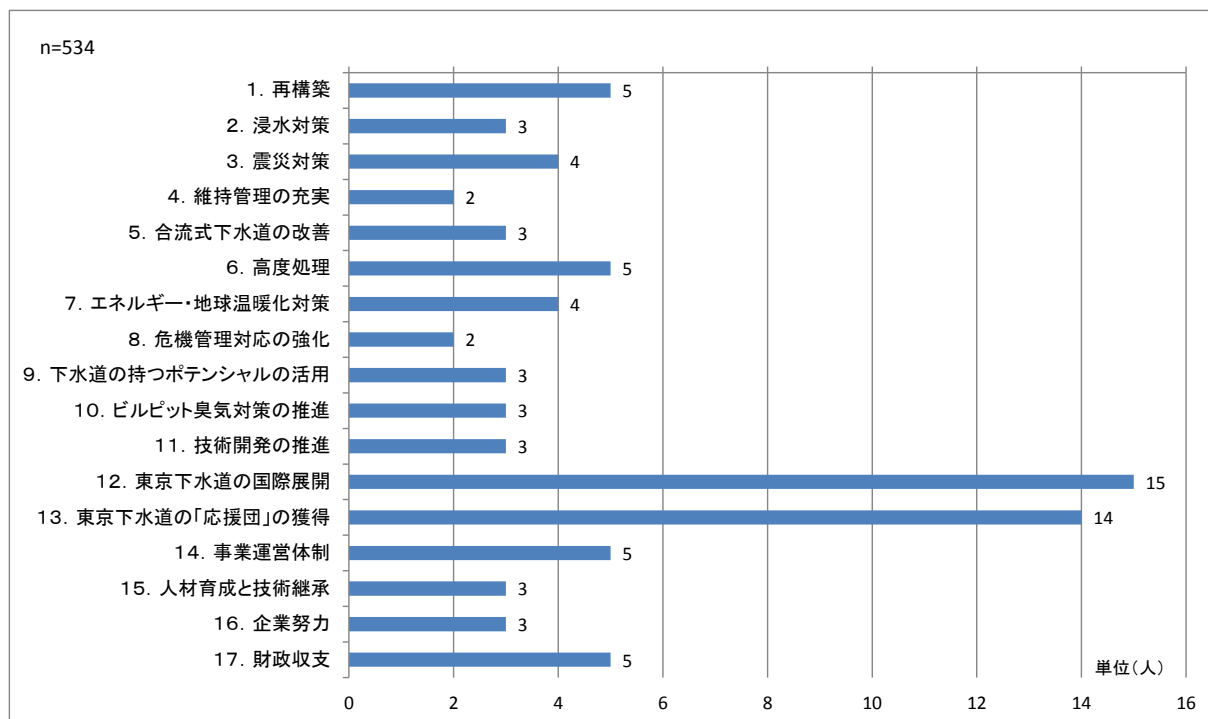


図 4. 2. 20 重要でないと考えている施策について

(1) 再構築

再構築が「重要でない」と回答したモニターのうち、重要でない理由は「必要としない」が1人、「費用の問題」が1人であった。

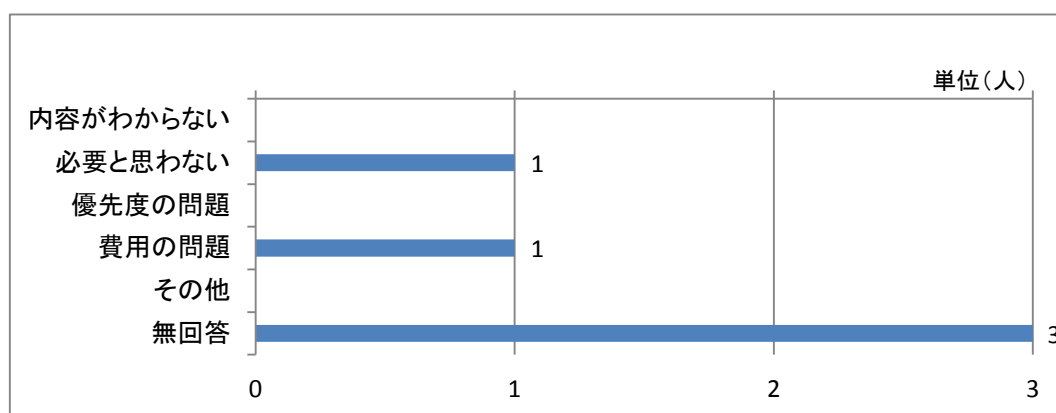


図 4. 2. 20(1) 再構築

(2) 浸水対策

浸水対策が「重要でない」と回答したモニターのうち、重要でない理由は「優先度の問題」が1人、「費用の問題」が1人であった。

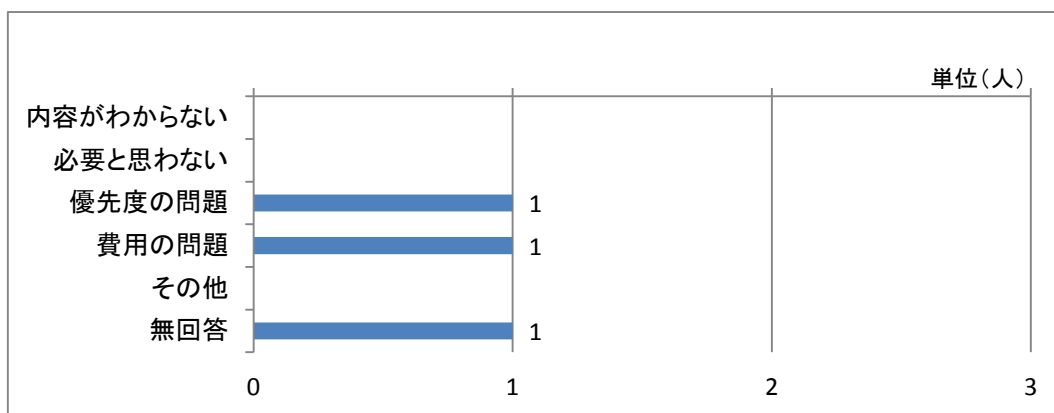


図 4. 2. 20(2) 浸水対策

『主な理由』

◆「優先度の問題」

- ・ 浸水対策はそもそも歴史的に浸水しやすい地域に開発した民間が問題であって、予算の公平公正な利用を求められる公共性の高い事業体ではそれよりも優先すべき課題があると思うから。(23区男性、40歳代)

(3) 震災対策

震災対策が「重要でない」と回答したモニターのうち、重要でない理由は「優先度の問題」が2人、「その他」が1人であった。

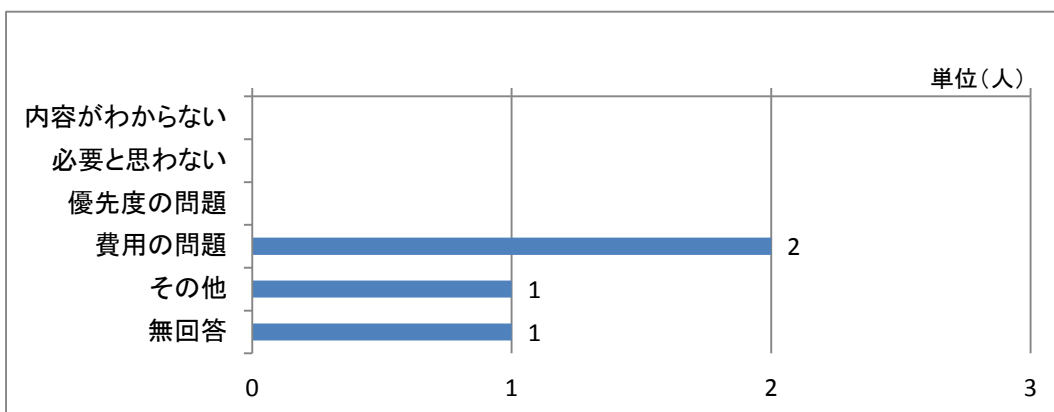


図 4. 2. 20(3) 震災対策

『主な理由』

◆「費用の問題」

- ・ 3 震災対策 費用対効果というのが正しいとは思いませんが どのレベルまで例えば 1000 年に 1 度云々 それは莫大な費用であるならばライフラインは破損するもんだとの前提に立って取り組むのが良いかと (23区男性、50歳代)

◆「その他」

- ・地下構造物は巨大地震に対して無力と思われるから。(多摩地区男性、50歳代)

(4) 維持管理の充実

維持管理の充実が「重要でない」と回答したモニターのうち、重要でない理由を回答したモニターは存在しなかった。

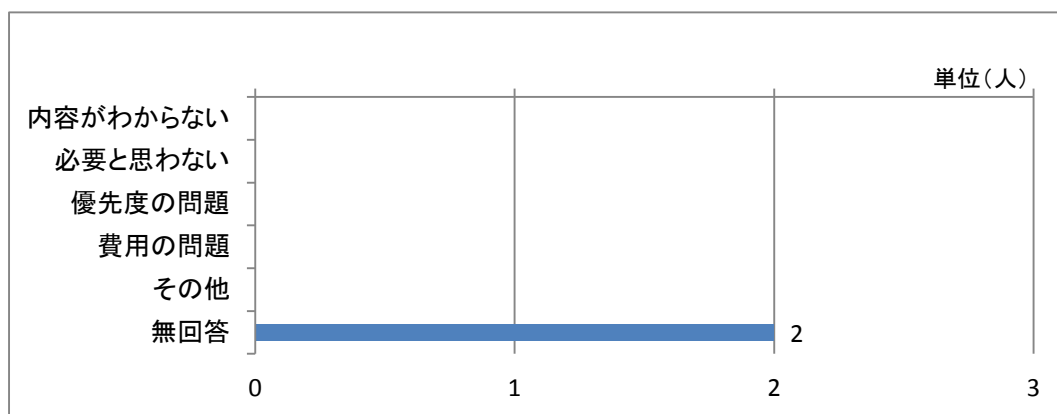


図 4. 2. 20(4) 維持管理の充実

(5) 合流式下水道の改善

合流式下水道の改善が「重要でない」と回答したモニターのうち、重要でない理由は「費用の問題」が1人であった。

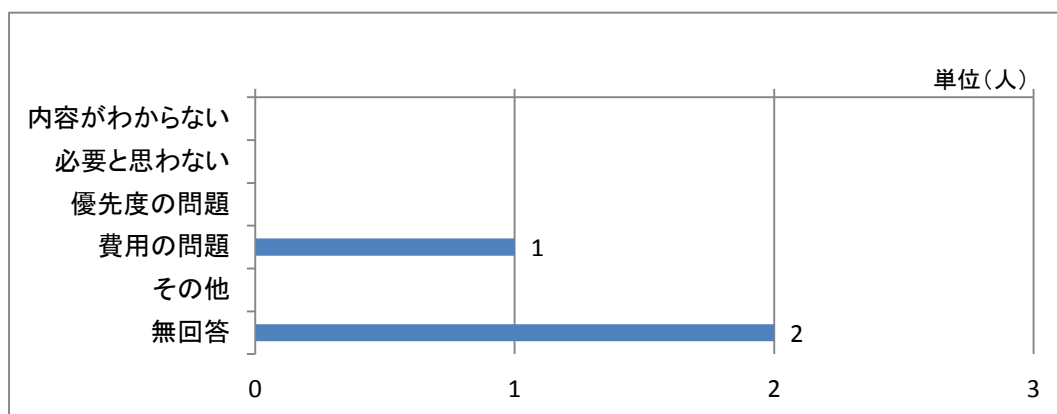


図 4. 2. 20(5) 合流式下水道の改善

(6) 高度処理

高度処理が「重要でない」と回答したモニターのうち、重要でない理由は「必要と思わない」が2人、「費用の問題」が1人であった。

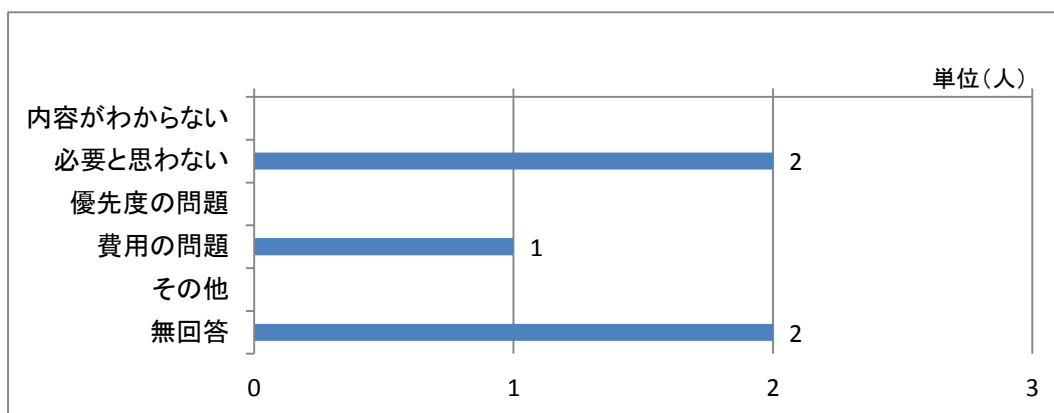


図 4. 2. 20(6) 高度処理

『主な理由』

◆「必要と思わない」

- ・もうすでに十分な対策がとられている。(23区女性、70歳以上)

(7) エネルギー・地球温暖化対策

エネルギー・地球温暖化対策が「重要でない」と回答したモニターのうち、重要でない理由は「費用の問題」が1人、「その他」が1人であった。

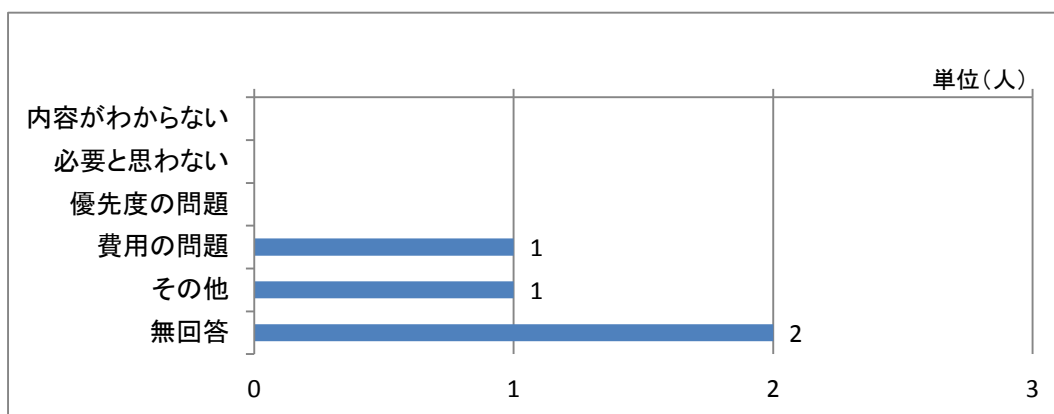


図 4. 2. 20(7) エネルギー・地球温暖化対策

『主な理由』

◆「その他」

- ・下水道だけでどうにかできる問題ではないから(23区男性、30歳代)

(8) 危機管理対応の強化

危機管理対応の強化が「重要でない」と回答したモニターのうち、重要でない理由は「必要と思わない」が2人、「費用の問題」が1人であった。

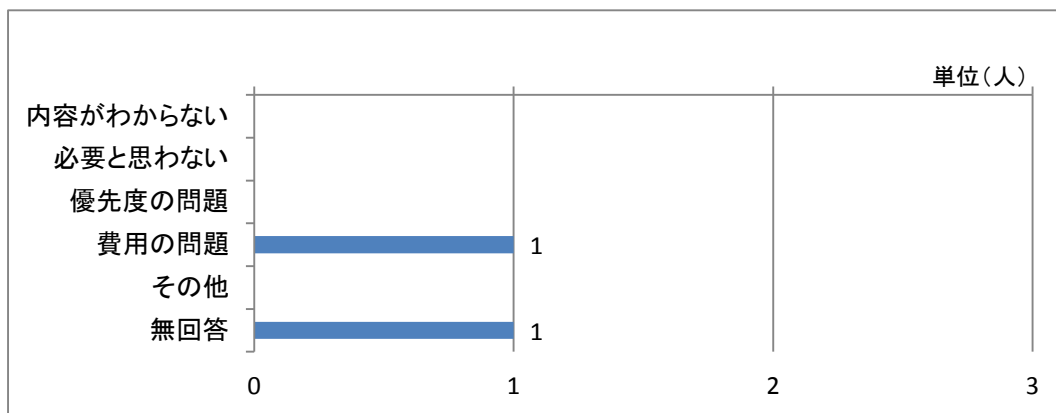


図 4. 2. 20 (8) 危機管理対応の強化

(9) 下水道の持つポテンシャルの活用

下水道の持つポテンシャルの活用が「重要でない」と回答したモニターのうち、重要でない理由は「費用の問題」が1人、「その他」が1人であった。

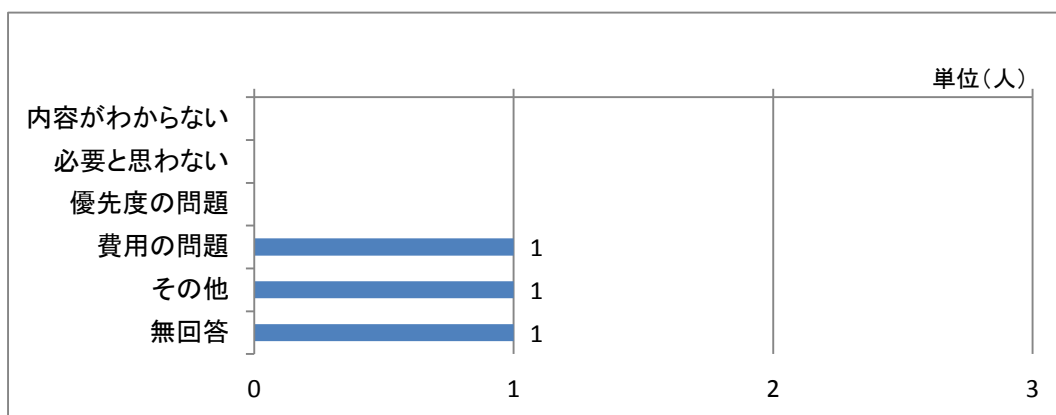


図 4. 2. 20 (9) 危機管理対応の強化

(10) ビルピット臭気対策の推進

ビルピット臭気対策の推進が「重要でない」と回答したモニターのうち、重要でない理由は「その他」が1人であった。

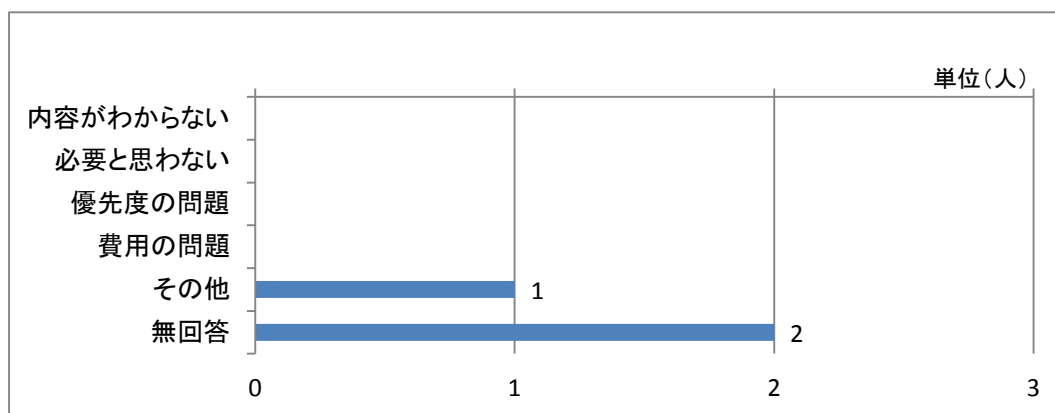


図 4. 2. 20(10) ビルピット臭気対策の推進

『主な理由』

◆「その他」

- ・ビルピットの臭気対策について、嫌な経験をしたことないので、ピンとこない。(多摩地区女性、50歳代)

(11) 技術開発の推進

技術開発の推進が「重要でない」と回答したモニターのうち、重要でない理由は「必要と思わない」が1人、「優先度の問題」が1人であった。

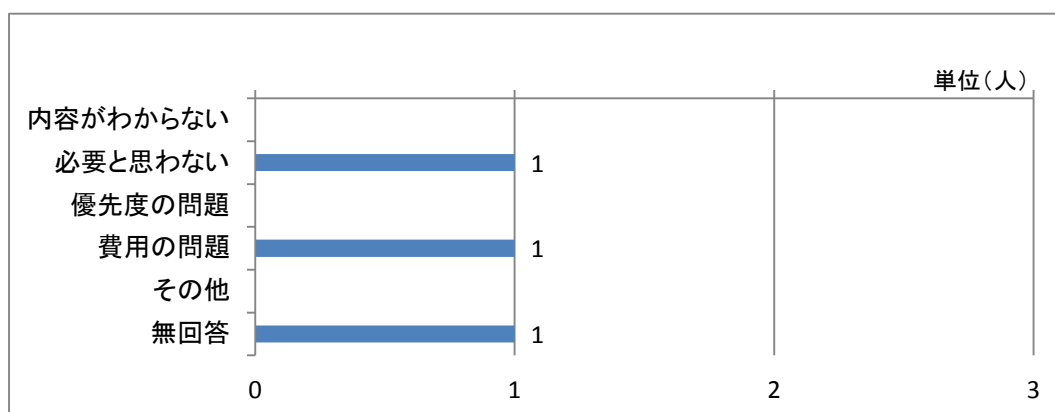


図 4. 2. 20(11) ビルピット臭気対策の推進

『主な理由』

◆「必要と思わない」

- ・どのような技術が将来にわたって必要で、どのような目標をもって進めているのかわからない。必要性がわからない。(多摩地区男性、30歳代)

(12) 東京下水道の国際展開

東京下水道の国際展開が「重要でない」と回答したモニターのうち、重要でない理由は「必要と思わない」が2人、「優先度の問題」が2人、「費用の問題」が1人、「その他」が4人であった。

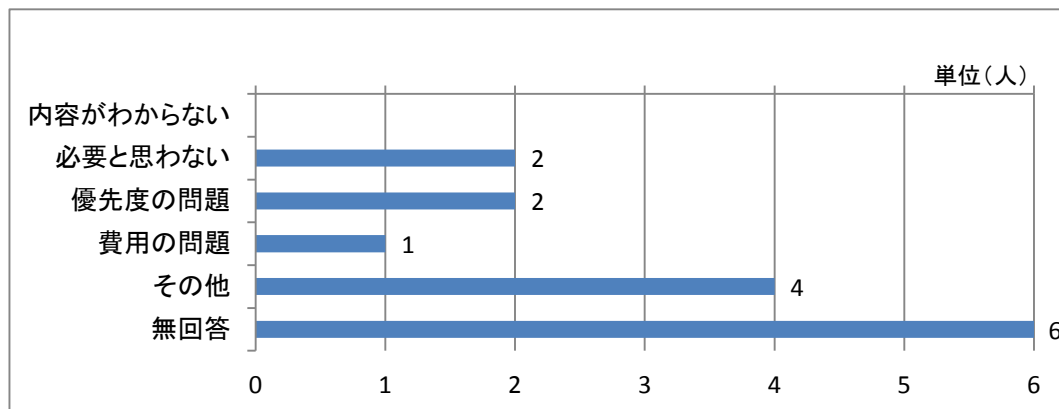


図 4. 2. 20(12) 東京下水道の国際展開

『主な理由』

◆「必要と思わない」

- ・他の都市の上下水道を知ることはいいことかもしれませんが、そんなに必要ないのでは？（多摩地区女性、40歳代）
- ・東京下水道の国際展開の必要性を感じないため。まずは東京都内の下水道整備を充実させることを優先させてほしい。そのあとには東京近隣の県の下水道整備をしてほしいため。（多摩地区女性、50歳代）

◆「優先度の問題」

- ・国内の諸施策を優先すべき。重要な内容ではあるが優先順位の問題。（多摩地区男性、40歳代）

◆「その他」

- ・新幹線技術を安易に中国に流出させてインドネシア計画では日本が敗れたように、国や地方自治体の国際感覚は安直に国際協力という美名に流されがちである。長年培ってきた公共インフラ技術を安直に海外に流出させるべきでない。（23区男性、60歳代）
- ・国内での課題（下水道管の老朽化など）が多い中、海外まで目を向けているのは大変そうだなと率直に思いました。（多摩地区男性、40歳代）
- ・「重要でない」という要素はあまりないと思うが、優先順位はいろいろだと思う。強いて言えば国際展開はやや低いと感じる。（多摩地区男性、50歳代）

- ・東京の下水道事業はかなりハイレベルで国際的にはどぶしかないような地域にこそ貢献するには、もっと低価格で最低でもここは守れるというもので無いと適応できないと思ったから。企業的感觉は流行のように言われていますが、人の生活を守る仕事は企業的感觉ではないと思うし、この仕事は現状維持ではなく、未来投資である事から、財政支出は機能だけで無く、環境を含めた設備としての投資が必要だが、認められていないのが残念なため。（多摩地区男性、60歳代）

（13）東京下水道の「応援団」の獲得

東京下水道の「応援団」の獲得が「重要でない」と回答したモニターのうち、重要でない理由は「内容がわからない」が2人、「必要と思わない」が2人、「優先度の問題」が1人、「費用の問題」が1人、「その他」が2人であった。

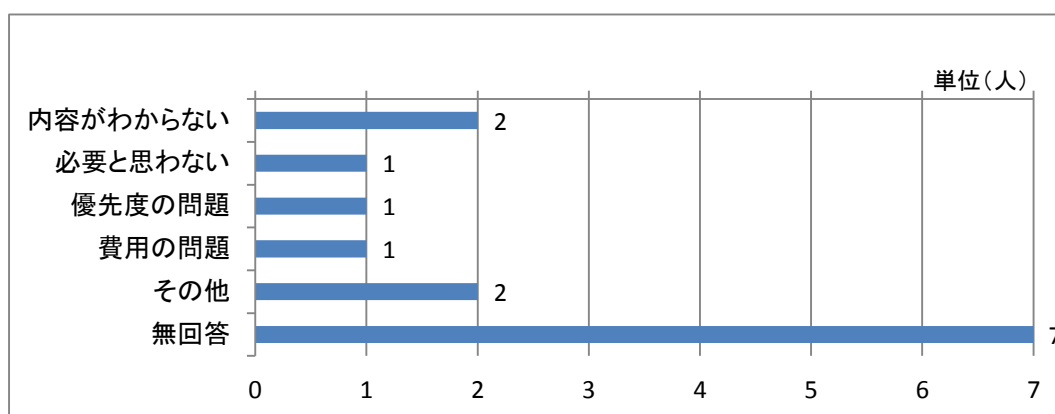


図 4.2.20(13) 東京下水道の「応援団」の獲得

『主な理由』

◆「内容がわからない」

- ・応援団というのが意味不明です。そういうあいまいなものより、具体的なものが必要。（多摩地区女性、50歳代）
- ・応援団の中身が良くわからないから。（多摩地区女性、30歳代）

◆「優先度の問題」

- ・取り組みとして必要であるとは感じますが、他の項目と比較したときに優先度は低いと感じたためです。（多摩地区男性、30歳以上）

(14) 事業運営体制

事業運営体制が「重要でない」と回答したモニターのうち、重要でない理由は「必要と思わない」が1人、「費用の問題」が1人、「その他」が1人であった。

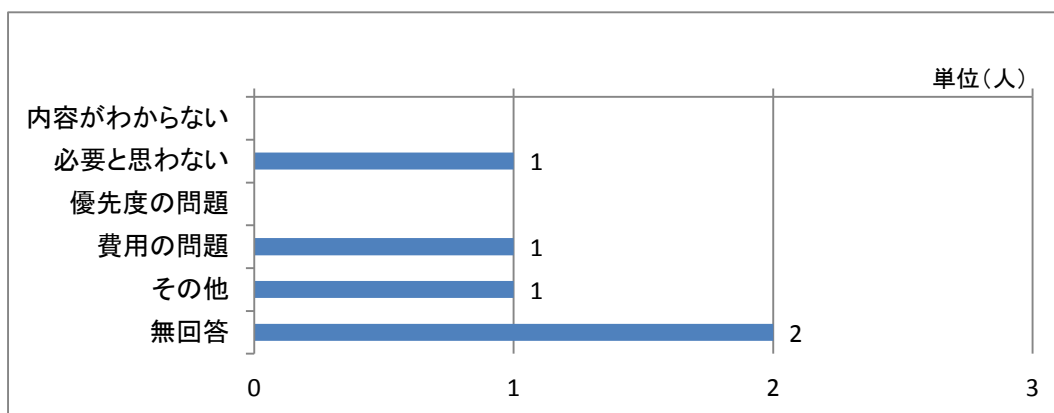


図 4. 2. 20(14) 事業運営体制

『主な理由』

◆「必要と思わない」

・特に現状と変える必要があるのかが判りませんでした。(23区男性、40歳代)

◆「その他」

・章立てる事でもない。(本業の派生的なこと) 事業運営体制等、本計画まではダークであったかとの印象をうける。(多摩地区男性、60歳代)

(15) 人材育成と技術継承

人材育成と技術継承が「重要でない」と回答したモニターのうち、重要でない理由は「費用の問題」が1人であった。

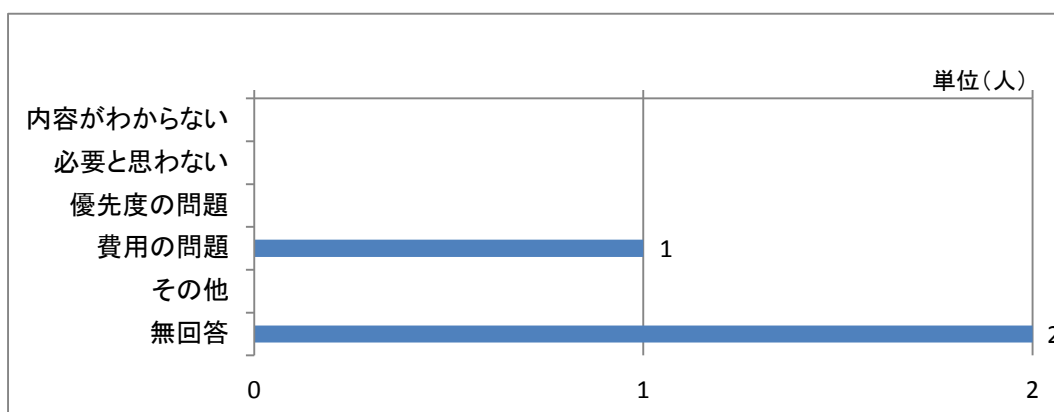


図 4. 2. 20(15) 人材育成と技術継承

(16) 企業努力

企業努力が「重要でない」と回答したモニターのうち、重要でない理由は「費用の問題」が1人、「その他」が1人であった。

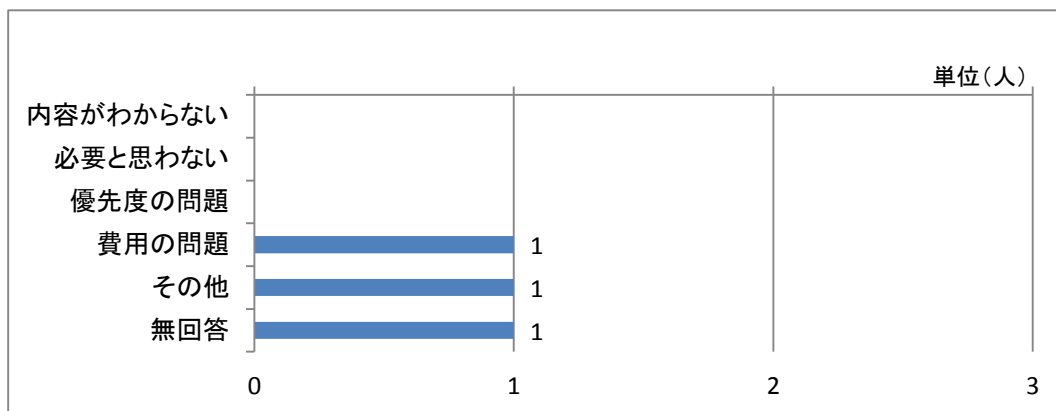


図 4.2.20(16) 企業努力

(17) 財政収支

財政収支が「重要でない」と回答したモニターのうち、重要でない理由は「必要と思わない」1人、「費用の問題」が2人、「その他」が1人であった。

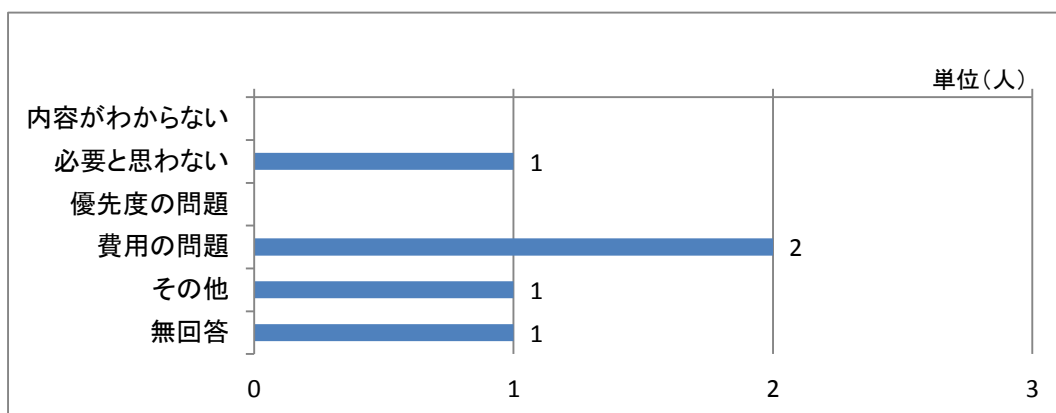


図 4.2.20(17) 企業努力

『主な理由』

◆「費用の問題」

- ・ 少子高齢化が進む現状を鑑みると、現在のサービスをさらに向上させるためには、下水道料金の値上げも致し方ないではありませんか。(23区男性、50歳代)
- ・ 震災などない、と考えると膨大なコストがかかるし、無駄だ。震災震災と騒ぎすぎ。(多摩地区男性、50歳代)

4.2.21. 東京都下水道局各施策の取組みについての期待度（全体）

問5 『東京都下水道事業 経営計画2016』をお読みになり、「取組みの概要」に示した主な施策について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。（単一回答）

「期待できる（とても期待できる、まあまあ期待できる）」と回答したモニターは「2. 浸水対策」が86.7%で最も多く、次に「3. 震災対策」が83.7%、「5. 合流式下水道の改善」が81.8%であった。また、期待度が低かったのは「13. 東京下水道の「応援団」の獲得」で59.0%であった。

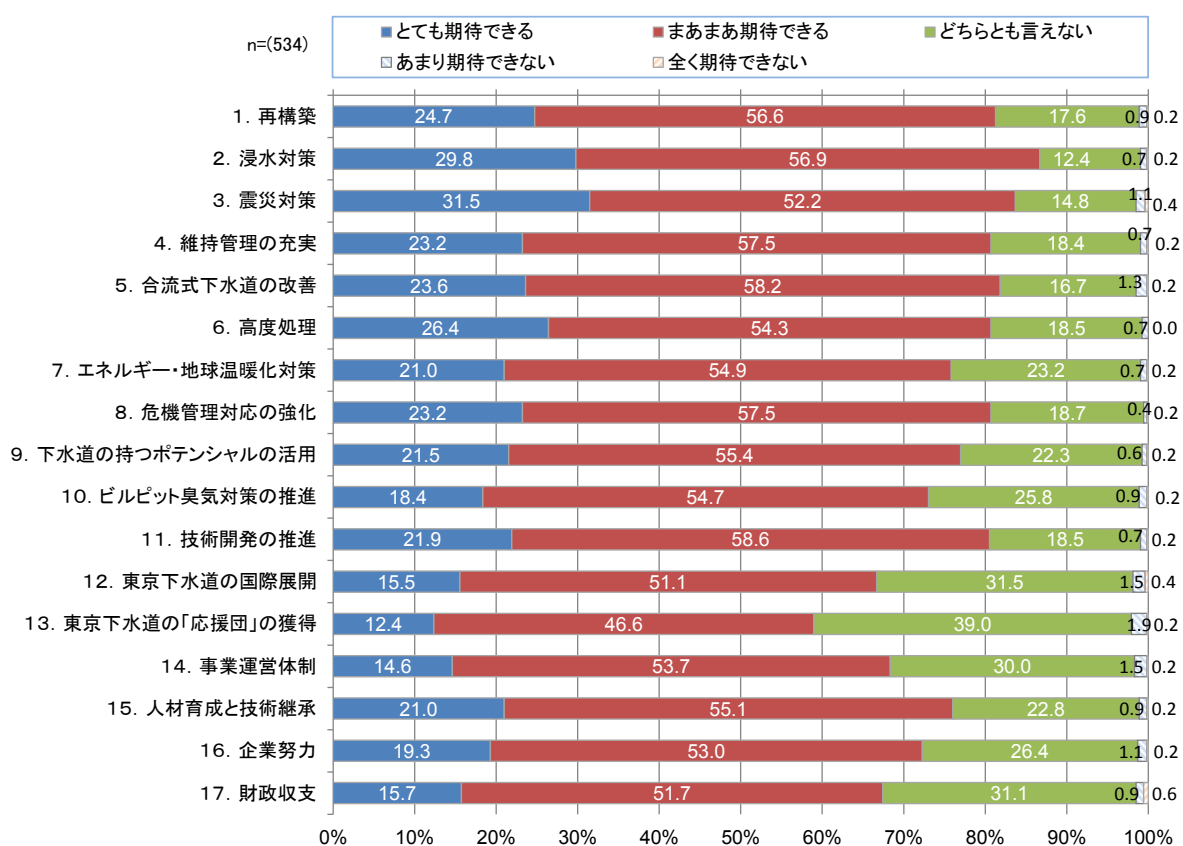


図 4.2.21 各施策の取組みについての期待度（全体）

4.2.22. 各施策の期待度（１．再構築）

- 「期待できる」との回答が81.3%で、「期待できない」との回答が1.1%であった。
- 性別でみると、「期待できる」との回答は、男性が80.9%、女性が81.7%となり、女性の方が0.8ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「期待できる」との回答は、20歳代が94.4%で最も多く、次に50歳代が83.3%、最も少なかったのは30歳代で78.3%であった。
- 地域別にみると、「期待できる」との回答は、23区が82.6%、多摩地区が79.1%となり、23区の方が3.5ポイント高くなった。

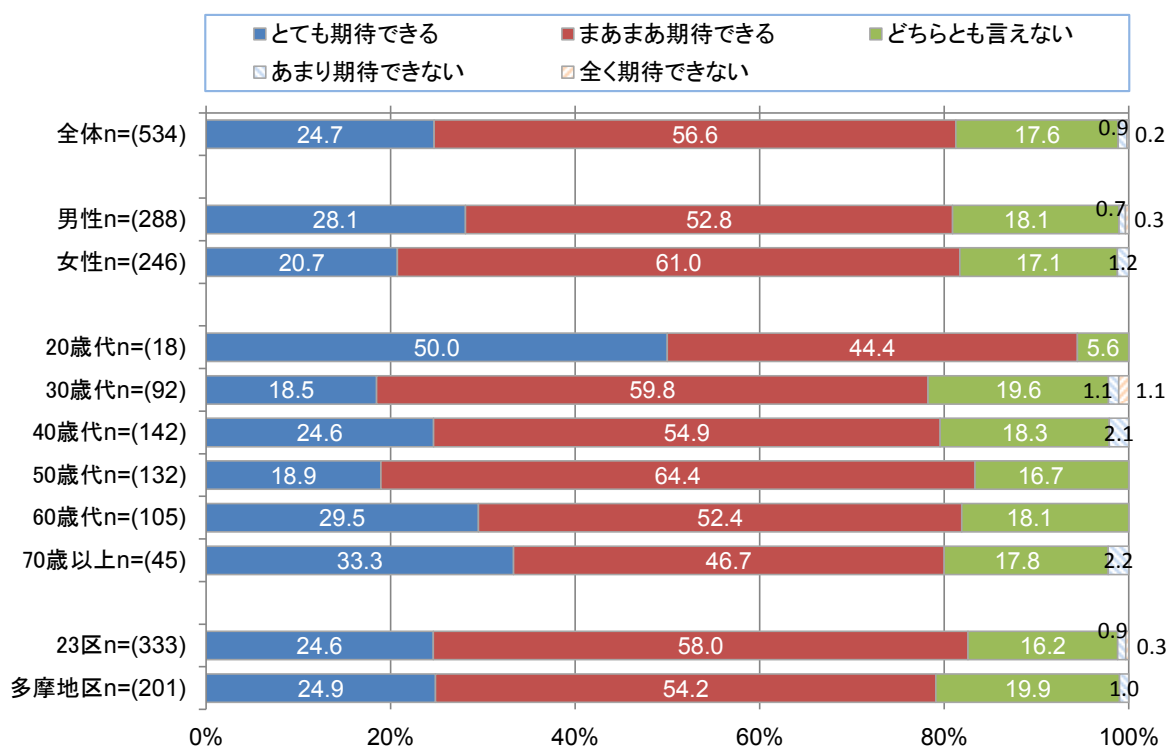


図 4. 2. 22 各施策の期待度（再構築）

4.2.23. 各施策の期待度（２． 浸水対策）

- 「期待できる」との回答が86.7%で、「期待できない」との回答が0.9%であった。
- 性別でみると、「期待できる」との回答は、男性が84.7%、女性が89.1%となり、女性の方が4.4ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「期待できる」との回答は、20歳代の全てが「期待できる」と回答し、次に70歳以上が91.2%、最も少なかったのは40歳代で80.9%であった。
- 地域別にみると、「期待できる」との回答は、23区が87.1%、多摩地区が86.1%となり、23区の方が1.0ポイント高くなった。

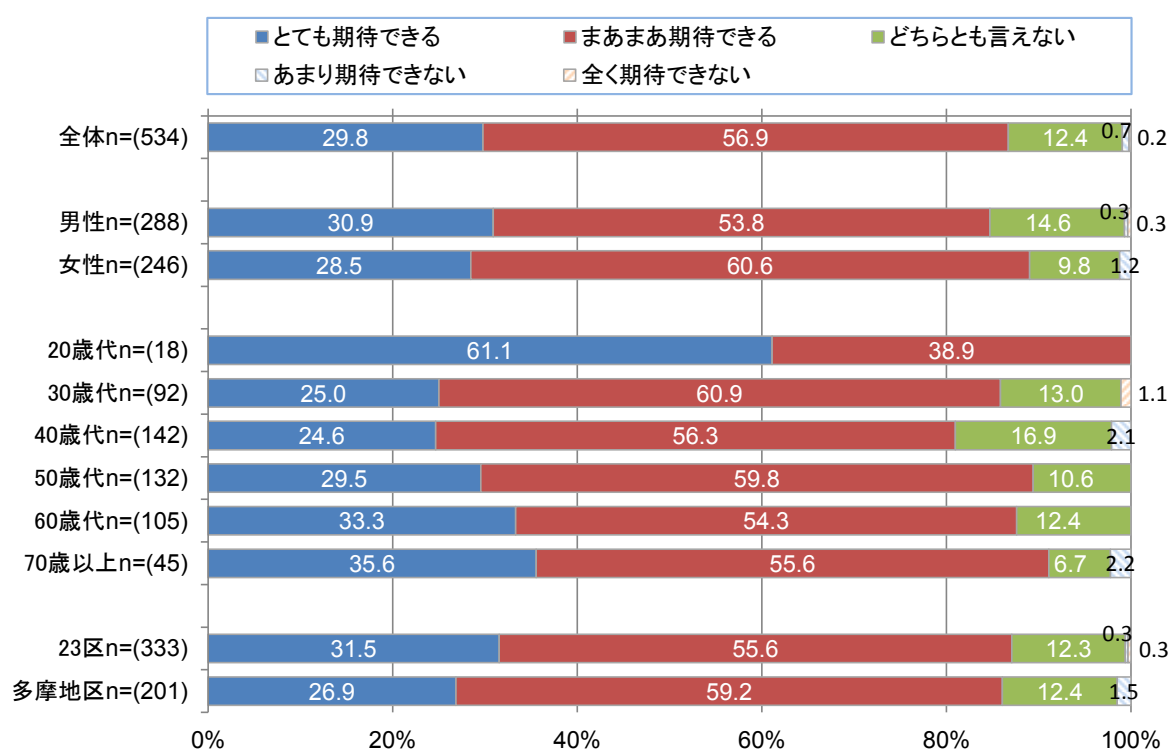


図 4. 2. 23 各施策の期待度（浸水対策）

4.2.24. 各施策の期待度（３．震災対策）

- 「期待できる」との回答が83.7%で、「期待できない」との回答が1.5%であった。
- 性別でみると、「期待できる」との回答は、男性が81.6%、女性が86.2%となり、女性の方が4.6ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「期待できる」との回答は、20歳代の全てが「期待できる」と回答し、次に60歳代が87.6%、最も少なかったのは30歳代で78.3%であった。
- 地域別にみると、「期待できる」との回答は、23区が83.2%、多摩地区が84.5%となり、多摩地区の方が1.3ポイント高くなった。

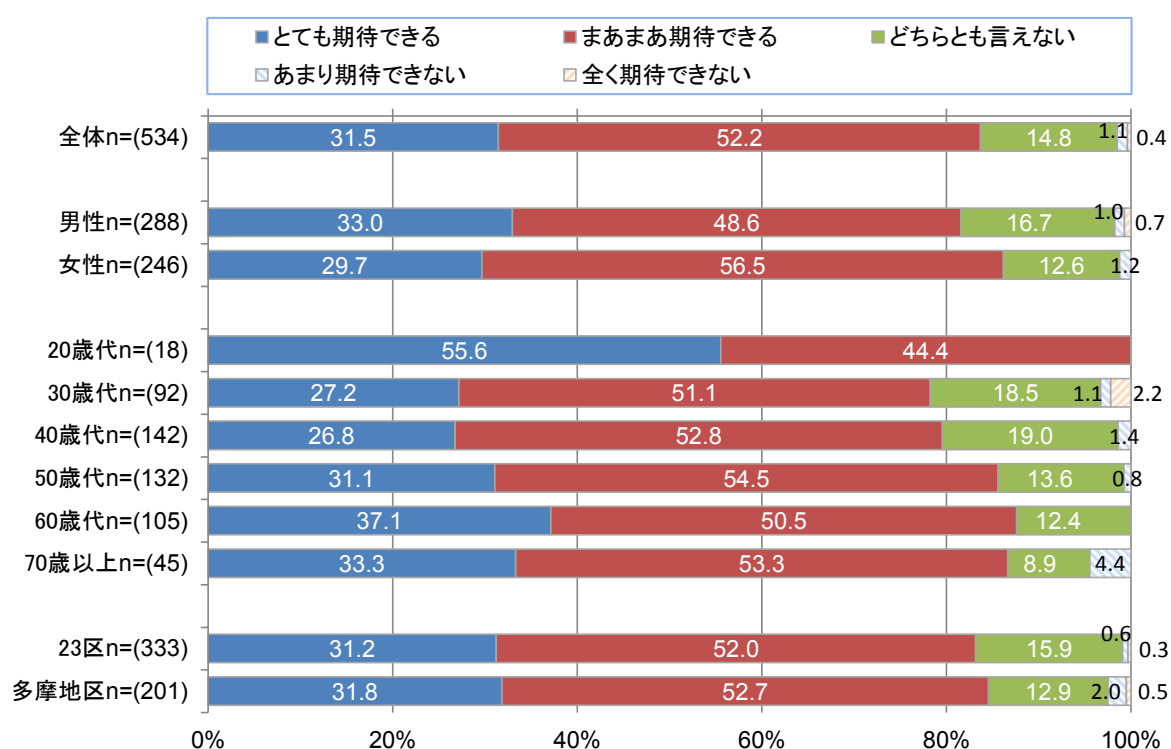


図 4.2.24 各施策の期待度（震災対策）

4.2.25. 各施策の期待度（４．維持管理の充実）

- 「期待できる」との回答が80.7%で、「期待できない」との回答が0.9%であった。
- 性別でみると、「期待できる」との回答は、男性が80.6%、女性が80.9%となり、女性の方が0.3ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「期待できる」との回答は、20歳代が94.5%で最も多く、次に60歳代が87.6%、最も少なかったのは30歳代で75.0%であった。
- 地域別にみると、「期待できる」との回答は、23区が80.8%、多摩地区が80.6%となり、23区の方が0.2ポイント高くなった。

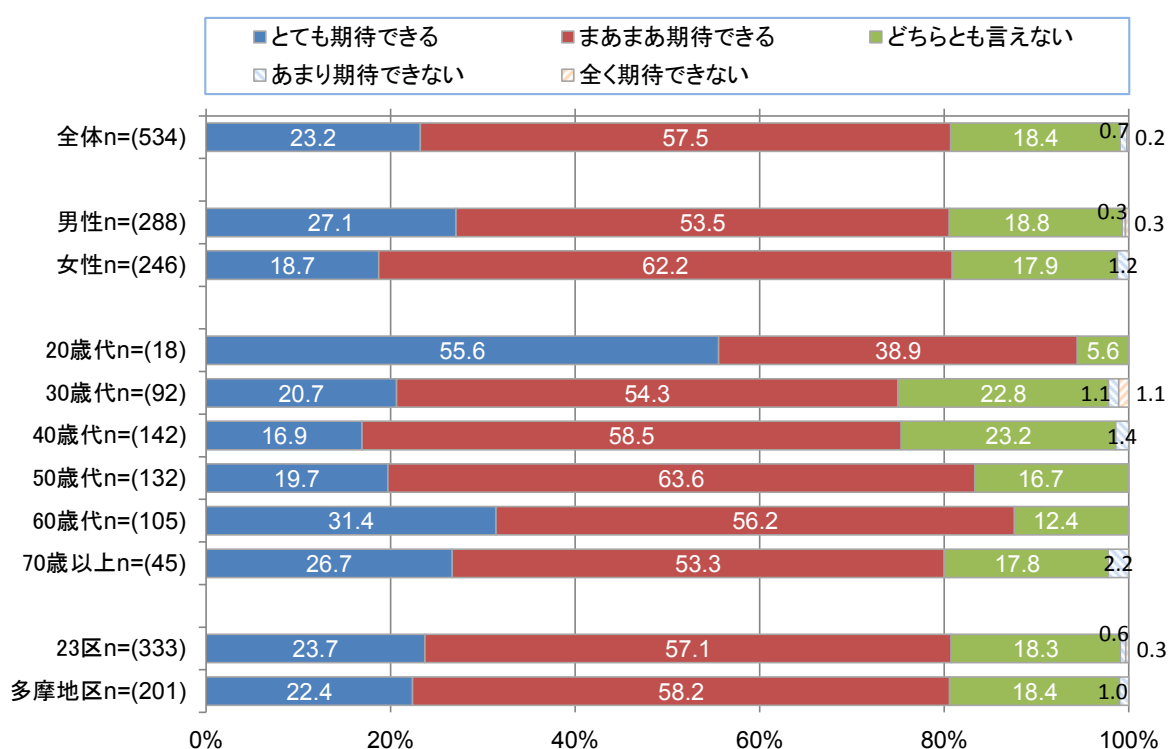


図 4. 2. 25 各施策の期待度（維持管理の充実）

4.2.26. 各施策の期待度（５．合流式下水道の改善）

- 「期待できる」との回答が81.8%で、「期待できない」との回答が1.5%であった。
- 性別でみると、「期待できる」との回答は、男性が77.7%、女性が86.6%となり、女性の方が8.9ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「期待できる」との回答は、20歳代が88.8%で最も多く、次に60歳代が85.7%、最も少なかったのは40歳代で79.5%であった。
- 地域別にみると、「期待できる」との回答は、23区が79.9%、多摩地区が85.1%となり、多摩地区の方が5.2ポイント高くなった。

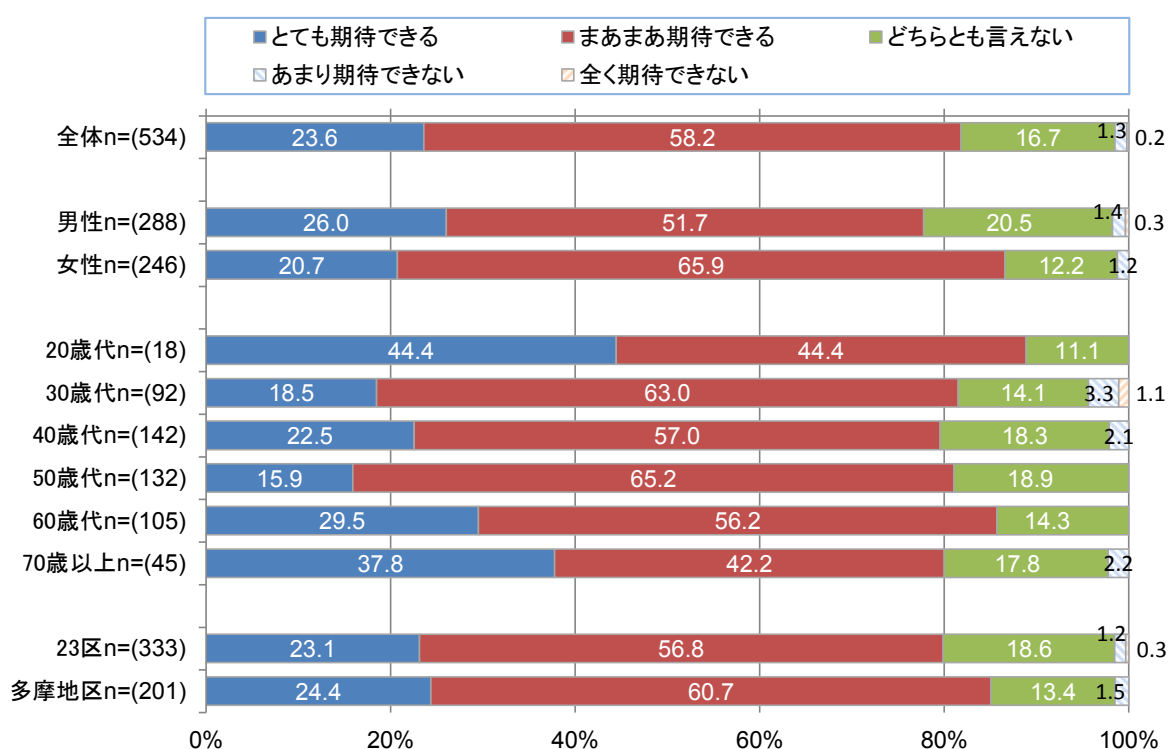


図 4.2.26 各施策の期待度（合流式下水道の改善）

4.2.27. 各施策の期待度（6. 高度処理）

- 「期待できる」との回答が80.7%で、「期待できない」との回答が0.7%であった。
- 性別でみると、「期待できる」との回答は、男性が79.2%、女性が82.5%となり、女性の方が3.3ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「期待できる」との回答は、20歳代の全てが「期待できる」と回答し、次に60歳代が88.9%、最も少なかったのは40歳代で75.4%であった。
- 地域別にみると、「期待できる」との回答は、23区が80.5%、多摩地区が81.1%となり、多摩地区の方が0.6ポイント高くなった。

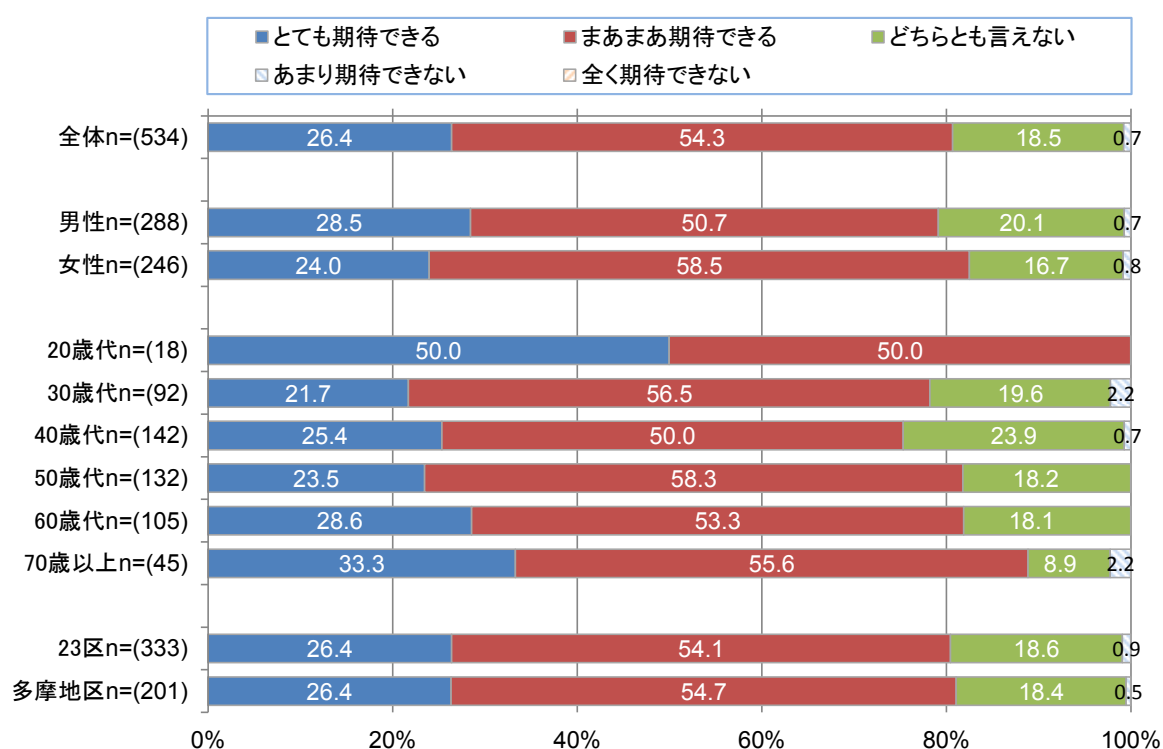


図 4. 2. 27 各施策の期待度（高度処理）

4.2.28. 各施策の期待度（7. エネルギー・地球温暖化対策）

- 「期待できる」との回答が75.9%で、「期待できない」との回答が0.7%であった。
- 性別でみると、「期待できる」との回答は、男性が72.5%、女性が79.7%となり、女性の方が7.2ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「期待できる」との回答は、20歳代が83.4%で最も多く、次に70歳以上が82.2%、最も少なかったのは40歳代で71.1%であった。
- 地域別にみると、「期待できる」との回答は、23区が74.8%、多摩地区が77.6%となり、多摩地区の方が2.8ポイント高くなった。

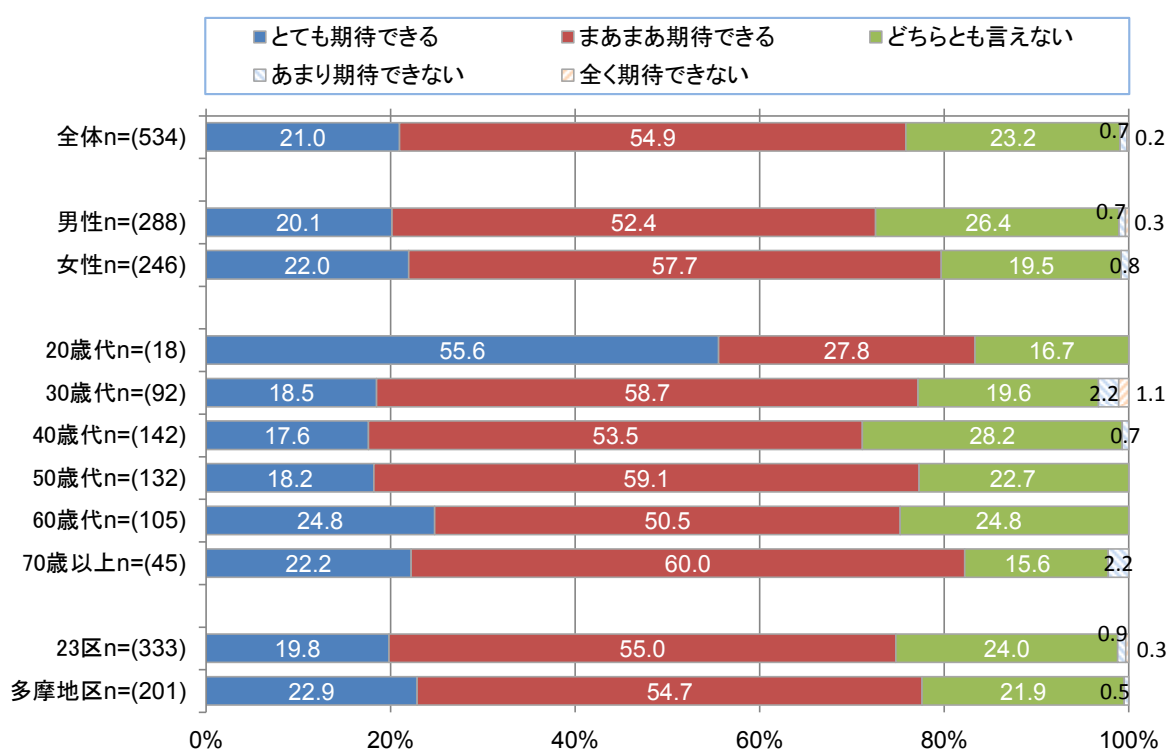


図 4. 2. 28 各施策の期待度（エネルギー・地球温暖化対策）

4.2.29. 各施策の期待度（8. 危機管理対応の強化）

- 「期待できる」との回答が80.7%で、「期待できない」との回答が0.6%であった。
- 性別でみると、「期待できる」との回答は、男性が80.5%、女性が80.9%となり、女性の方が0.3ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「期待できる」との回答は、20歳代と70歳以上が88.9%で最も多く、次に60歳代が84.7%、最も少なかったのは40歳代で75.3%であった。
- 地域別にみると、「期待できる」との回答は、23区が80.2%、多摩地区が81.6%となり、多摩地区の方が1.4ポイント高くなった。

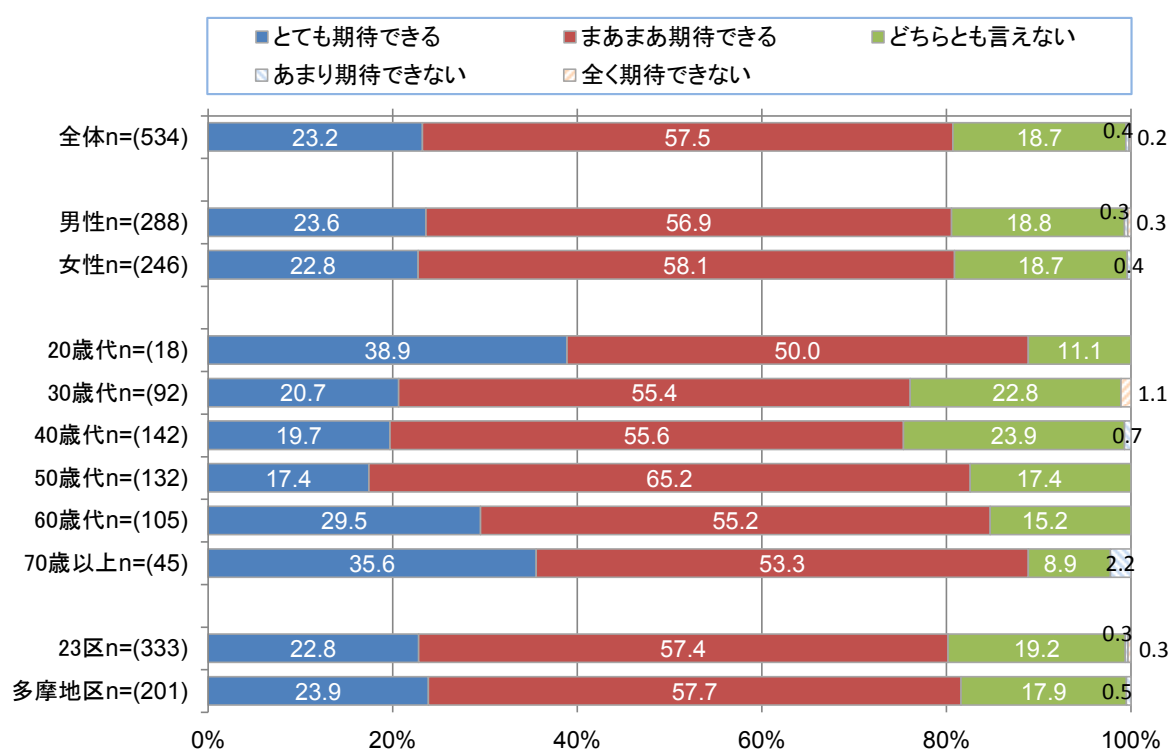


図 4.2.29 各施策の期待度（危機管理対応の強化）

4.2.30. 各施策の期待度（9. 下水道の持つポテンシャルの活用）

- 「期待できる」との回答が76.9%で、「期待できない」との回答が0.8%であった。
- 性別でみると、「期待できる」との回答は、男性が75.7%、女性が78.4%となり、女性の方が2.7ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「期待できる」との回答は、20歳代が88.9%で最も多く、次に70歳以上が84.4%、最も少なかったのは40歳代で73.2%であった。
- 地域別にみると、「期待できる」との回答は、23区が76.9%、多摩地区が77.1%となり、多摩地区の方が0.2ポイント高くなった。

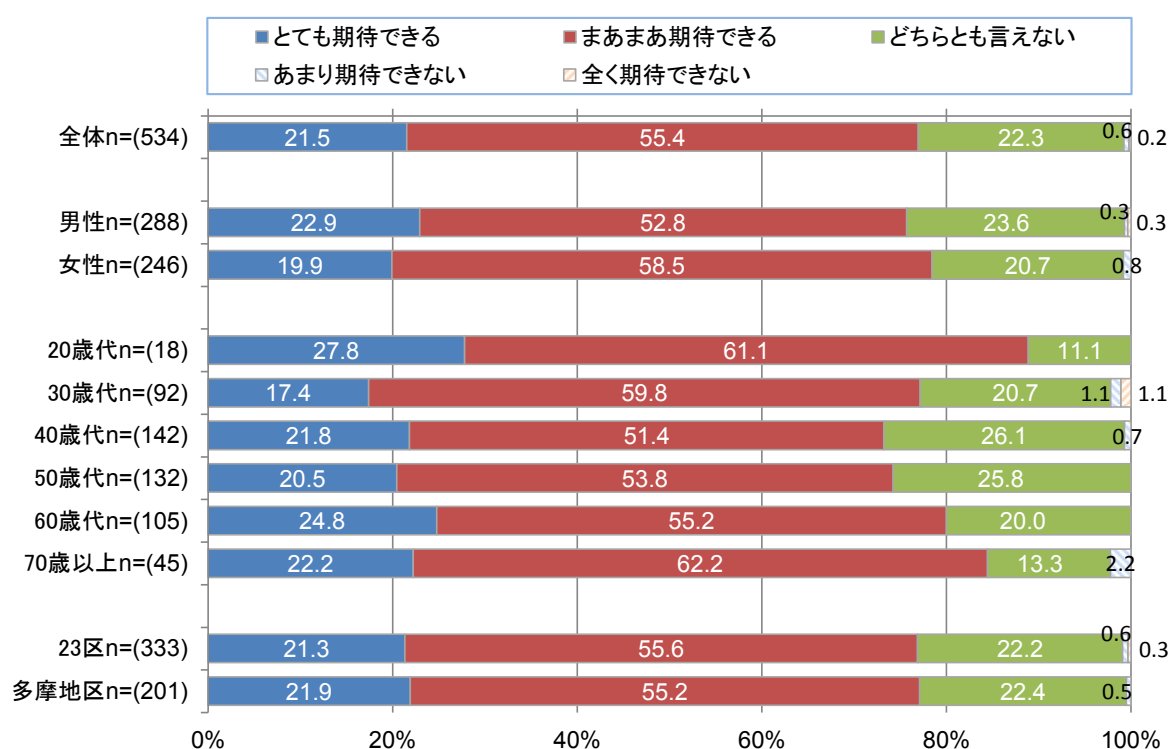


図 4. 2. 30 各施策の期待度（下水道の持つポテンシャルの活用）

4.2.31. 各施策の期待度（１０．ビルピット臭気対策の推進）

- 「期待できる」との回答が73.1%で、「期待できない」との回答が1.1%であった。
- 性別でみると、「期待できる」との回答は、男性が69.4%、女性が77.2%となり、女性の方が7.8ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「期待できる」との回答は、20歳代が83.3%で最も多く、次に60歳代が75.3%、最も少なかったのは40歳代で69.7%であった。
- 地域別にみると、「期待できる」との回答は、23区が73.3%、多摩地区が72.6%となり、23区の方が0.7ポイント高くなった。

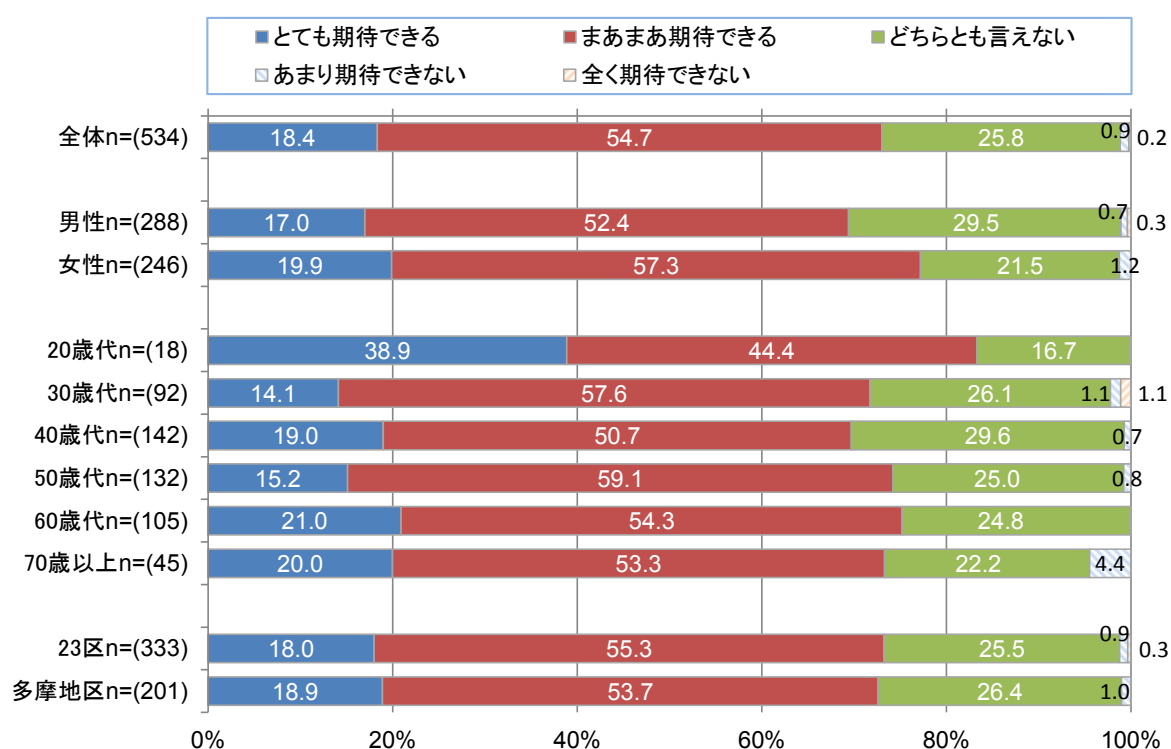


図 4. 2. 31 各施策の期待度（ビルピット臭気対策の推進）

4.2.32. 各施策の期待度（１１．技術開発の推進）

- 「期待できる」との回答が80.5%で、「期待できない」との回答が0.9%であった。
- 性別でみると、「期待できる」との回答は、男性が79.2%、女性が82.1%となり、女性の方が2.9ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「期待できる」との回答は、70歳以上が93.3%で最も多く、次に60歳代が86.6%、最も少なかったのは30歳代で73.9%であった。
- 地域別にみると、「期待できる」との回答は、23区が80.8%、多摩地区が80.1%となり、23区の方が0.7ポイント高くなった。

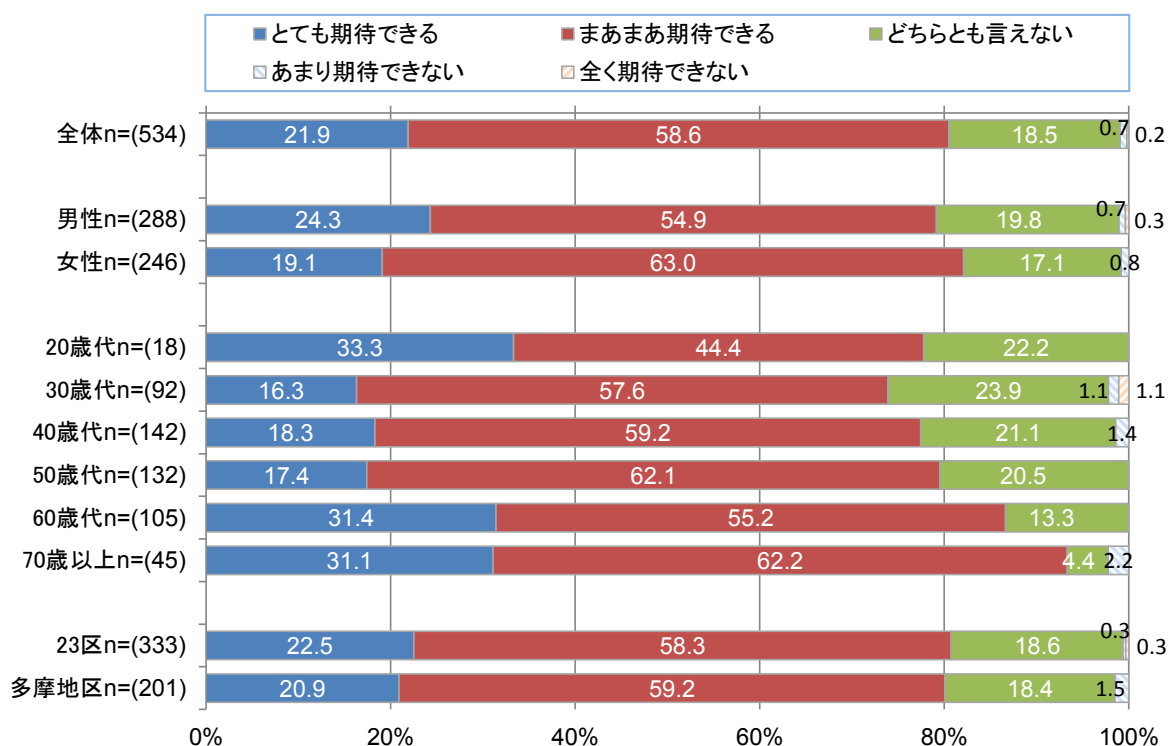


図 4. 2. 32 各施策の期待度（技術開発の推進）

4.2.33. 各施策の期待度（１２．東京下水道の国際展開）

- 「期待できる」との回答が66.6%で、「期待できない」との回答が1.9%であった。
- 性別でみると、「期待できる」との回答は、男性が63.2%、女性が70.7%となり、女性の方が7.5ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「期待できる」との回答は、20歳代が72.2%で最も多く、次に30歳代が70.6%、最も少なかったのは40歳代で64.8%であった。
- 地域別にみると、「期待できる」との回答は、23区が64.5%、多摩地区が70.1%となり、多摩地区の方が5.6ポイント高くなった。

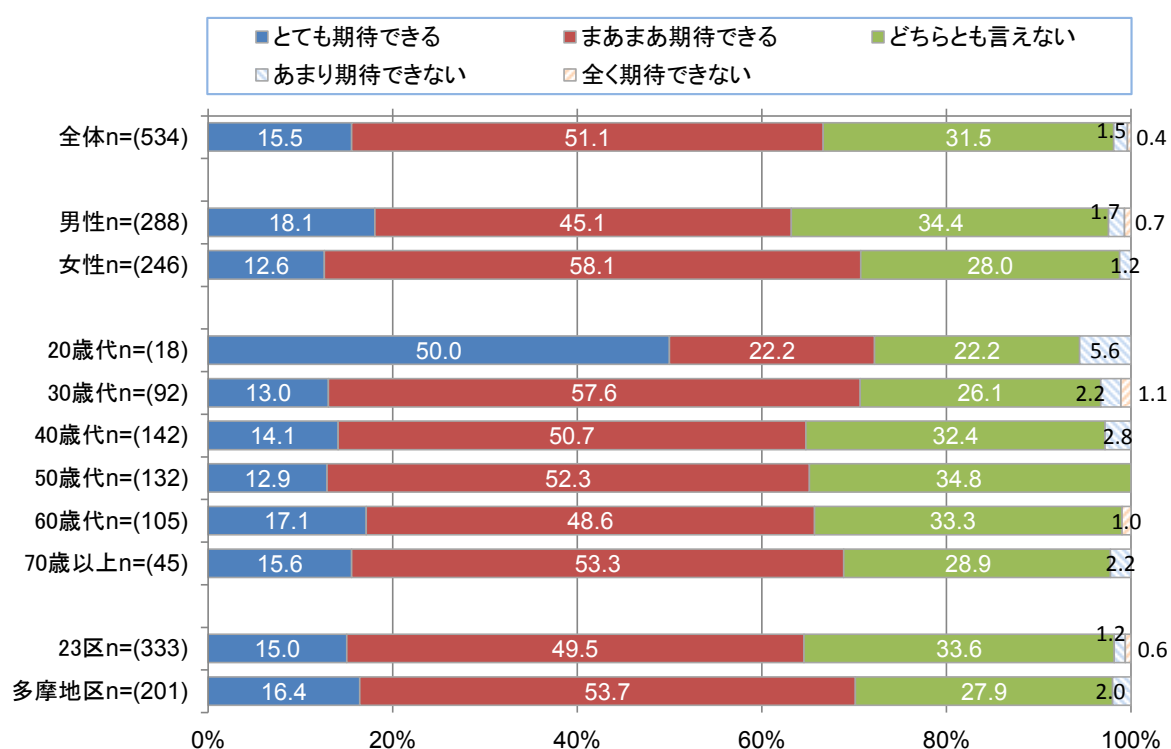


図 4.2.33 各施策の期待度（東京下水道の国際展開）

4.2.34. 各施策の期待度（13. 東京下水道の「応援団」の獲得）

- 「期待できる」との回答が59.0%で、「期待できない」との回答が2.1%であった。
- 性別でみると、「期待できる」との回答は、男性が55.6%、女性が63.0%となり、女性の方が7.4ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「期待できる」との回答は、30歳代が62.0%で最も多く、次に60歳代と70歳以上が60.0%、最も少なかったのは20歳代で55.6%であった。
- 地域別にみると、「期待できる」との回答は、23区が60.3%、多摩地区が56.7%となり、23区の方が3.6ポイント高くなった。

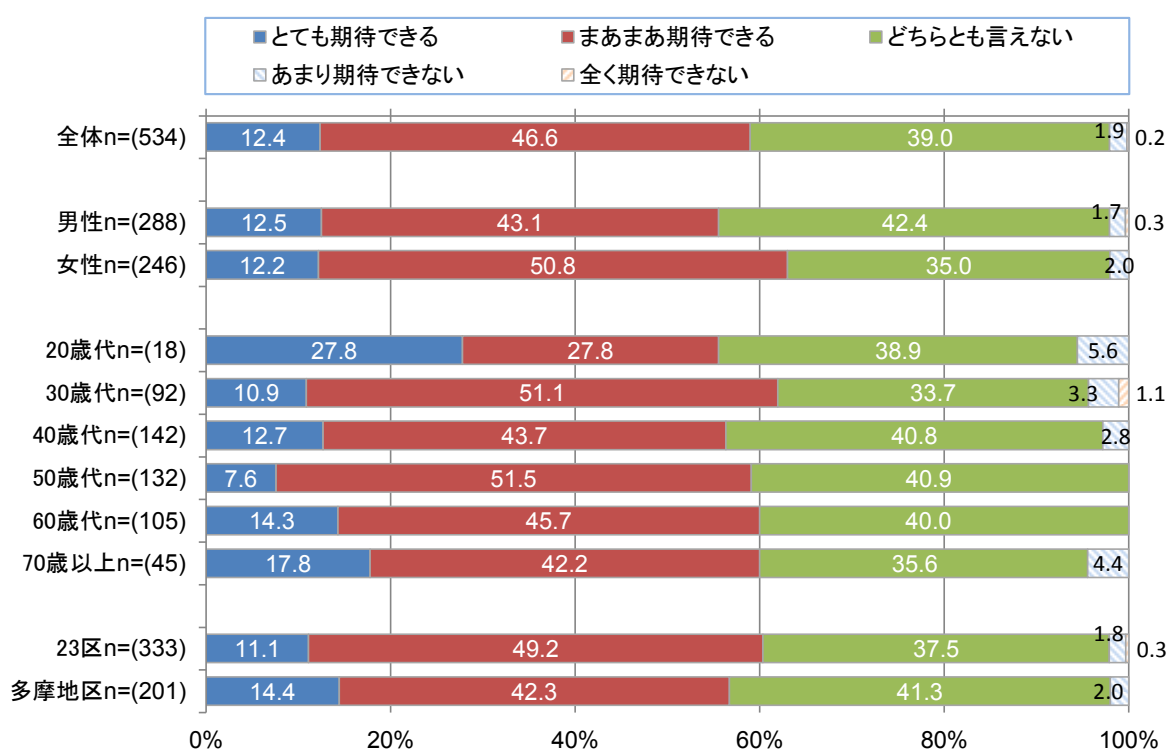


図 4. 2. 34 各施策の期待度（東京下水道の「応援団」の獲得）

4.2.35. 各施策の期待度（１４．事業運営体制）

- 「期待できる」との回答が68.3%で、「期待できない」との回答が1.7%であった。
- 性別でみると、「期待できる」との回答は、男性が67.0%、女性が69.9%となり、女性の方が2.9ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「期待できる」との回答は、70歳以上が77.8%で最も多く、次に20歳代が72.2%、最も少なかったのは50歳代で64.4%であった。
- 地域別にみると、「期待できる」との回答は、23区が70.9%、多摩地区が64.2%となり、23区の方が6.7ポイント高くなった。

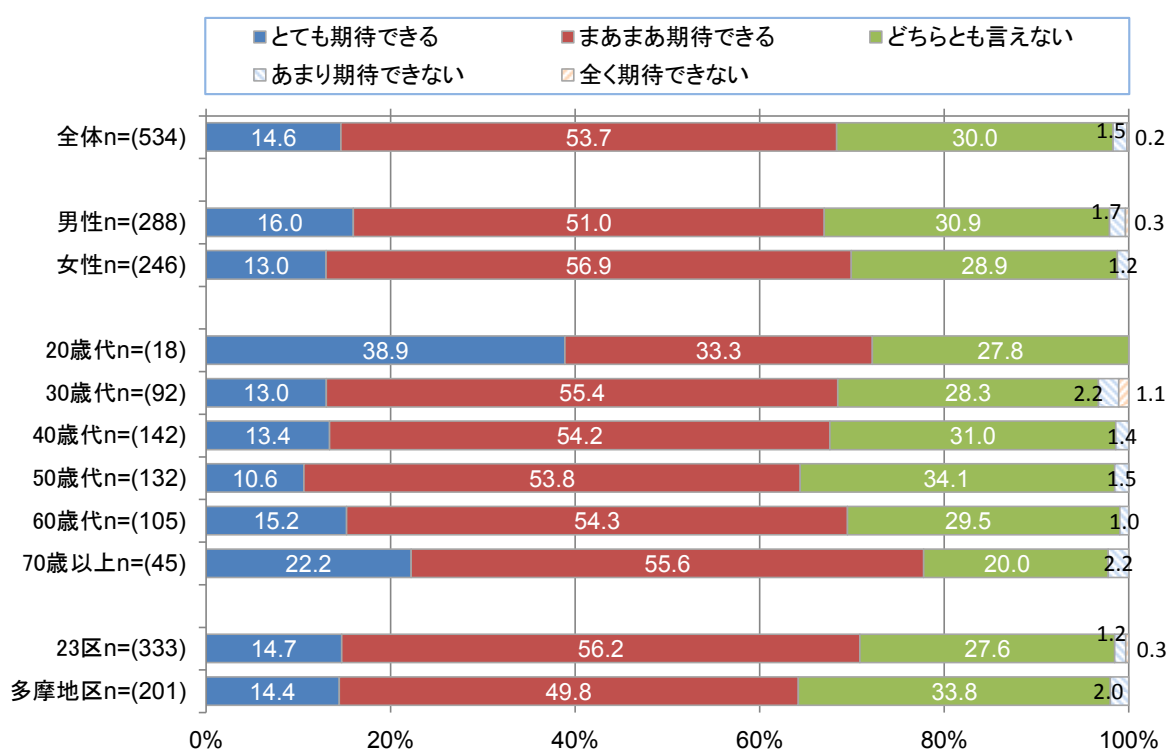


図 4. 2. 35 各施策の期待度（事業運営体制）

4.2.36. 各施策の期待度（１５．人材育成と技術継承）

- 「期待できる」との回答が76.1%で、「期待できない」との回答が1.1%であった。
- 性別でみると、「期待できる」との回答は、男性が74.3%、女性が78.0%となり、女性の方が3.7ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「期待できる」との回答は、20歳代が88.9%で最も多く、次に70歳以上が86.6%、最も少なかったのは50歳代で72.0%であった。
- 地域別にみると、「期待できる」との回答は、23区が75.1%、多摩地区が77.6%となり、多摩地区の方が2.5ポイント高くなった。

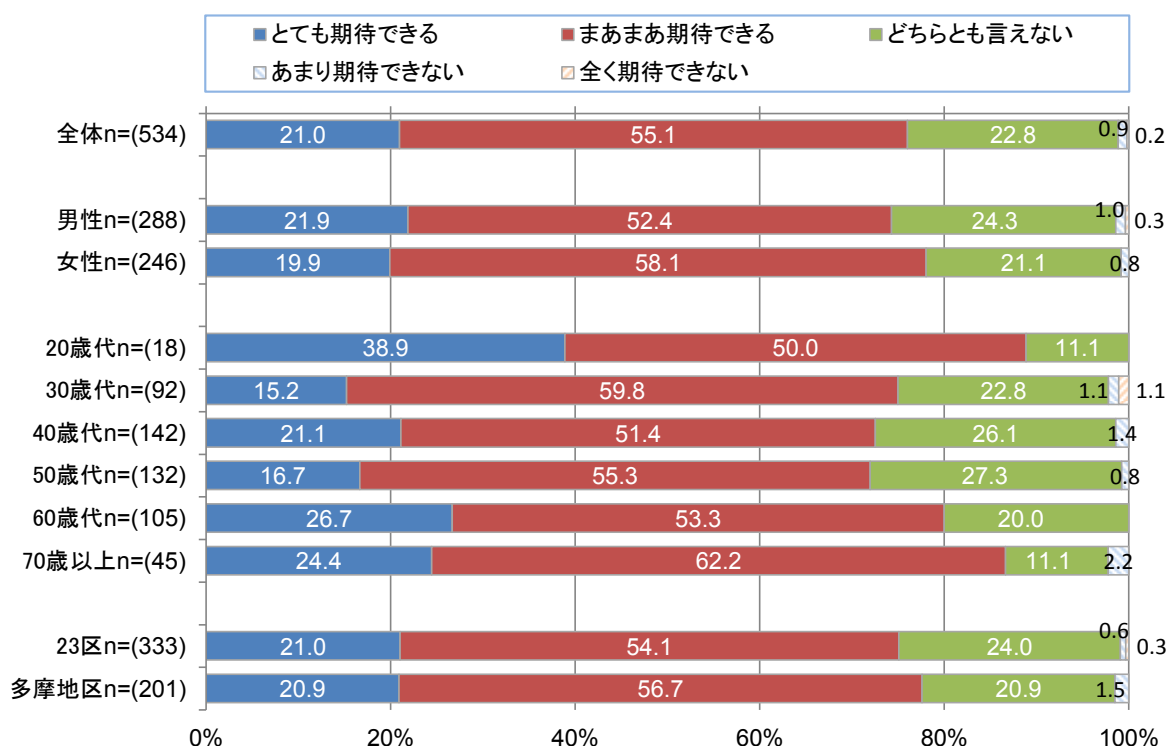


図 4.2.36 各施策の期待度（人材育成と技術継承）

4.2.37. 各施策の期待度（１６． 企業努力）

- 「期待できる」との回答が72.3%で、「期待できない」との回答が1.3%であった。
- 性別でみると、「期待できる」との回答は、男性が70.5%、女性が74.4%となり、女性の方が3.9ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「期待できる」との回答は、60歳代が80.0%で最も多く、次に70歳以上が77.8%、最も少なかったのは40歳代で66.9%であった。
- 地域別にみると、「期待できる」との回答は、23区が72.4%、多摩地区が72.1%となり、23区の方が0.3ポイント高くなった。

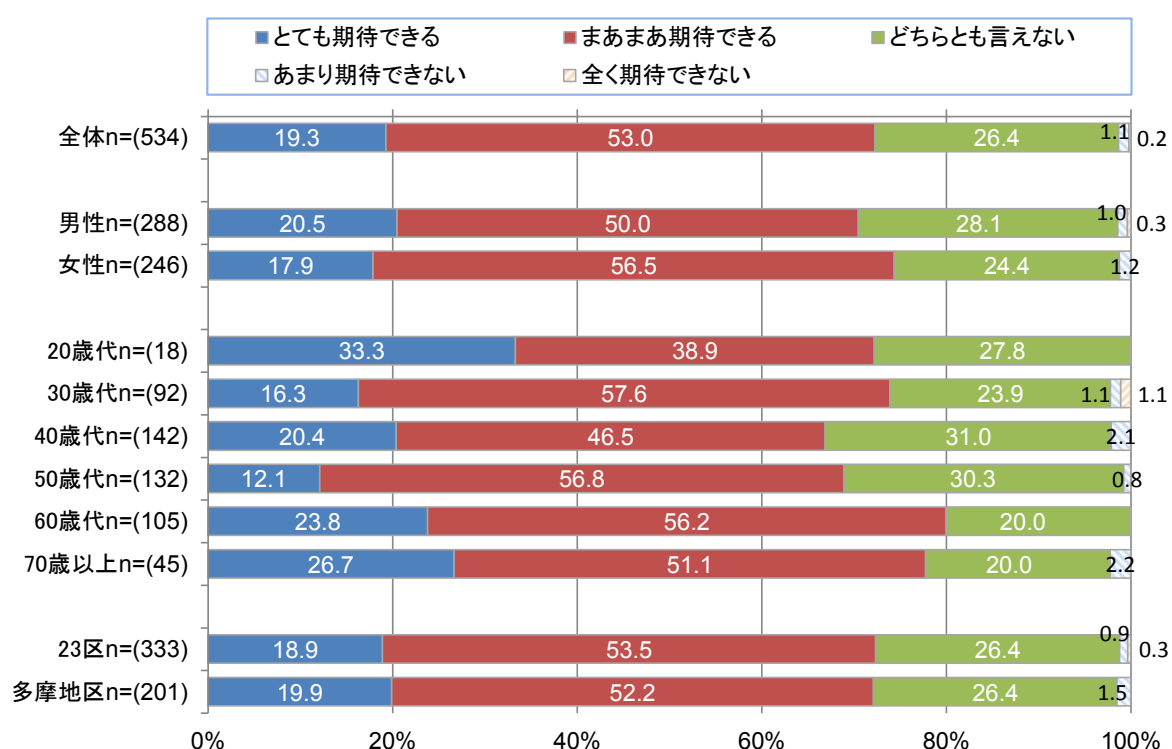


図 4. 2. 37 各施策の期待度（企業努力）

4.2.38. 各施策の期待度（１７．財政収支）

- 「期待できる」との回答が67.4%で、「期待できない」との回答が1.5%であった。
- 性別でみると、「期待できる」との回答は、男性が66.0%、女性が69.1%となり、女性の方が3.1ポイント高くなった。
- 年代別にみると、「期待できる」との回答は、70歳以上が75.6%で最も多く、次に20歳代が72.2%、最も少なかったのは50歳代で63.6%であった。
- 地域別にみると、「期待できる」との回答は、23区が66.7%、多摩地区が68.7%となり、多摩地区の方が2.0ポイント高くなった。

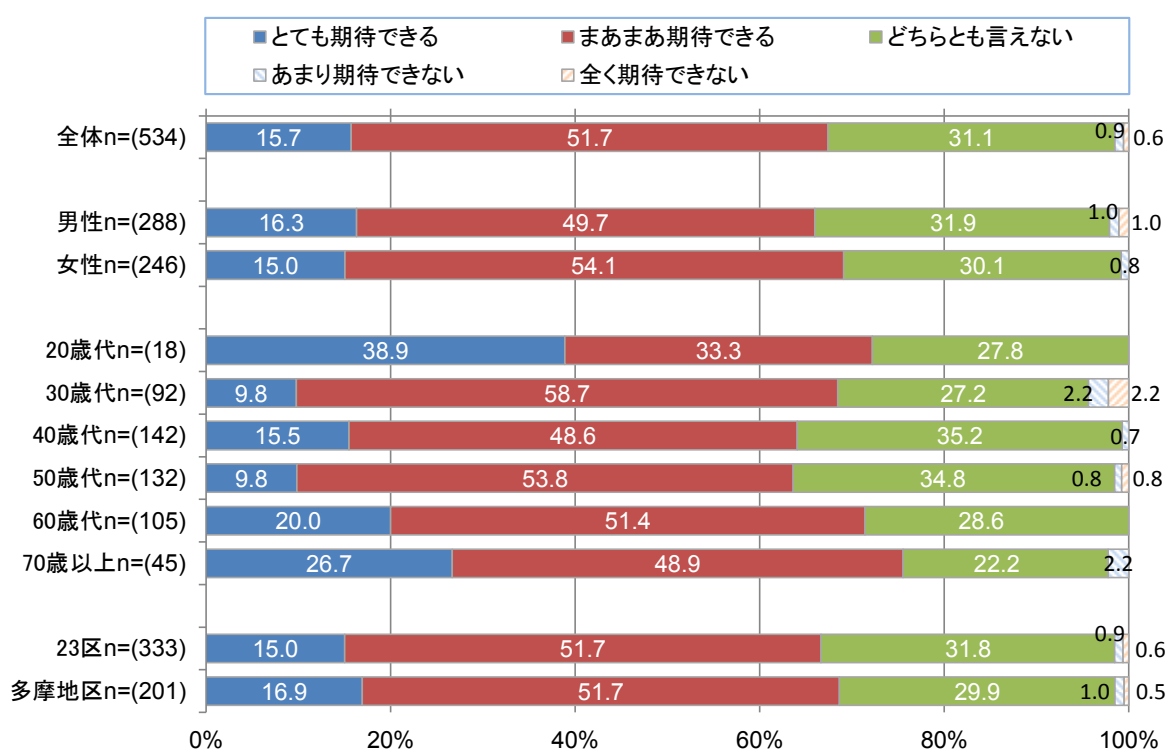


図 4. 2. 38 各施策の期待度（財政収支）

4.2.39. 期待している施策と理由（自由回答）

問6 問5の中で、最も期待されている施策名と理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

期待している施策は、「3. 震災対策」が19.2%で最も多く、次に「2. 浸水対策」が17.2%、「1. 再構築」が12.5%であった。

また、最も少なかったのは「14. 事業運営体制」で0.3%であった。

なお、施策に関係のない回答については、集計結果から除外した。

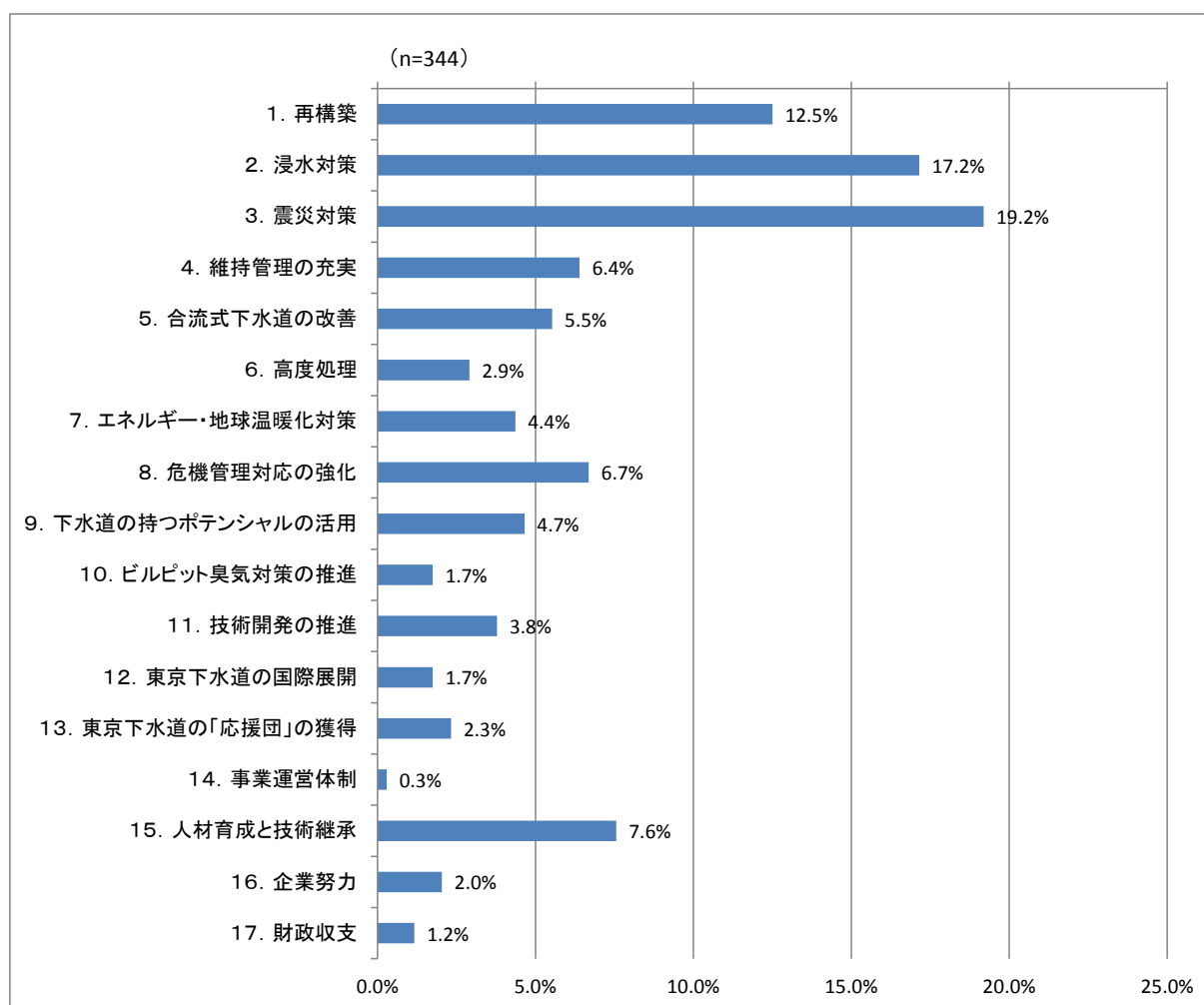


図 4.2.39 期待している施策（自由回答）

1. 「再構築」

- ◆ 法定耐用年数を超えた下水道管の延長が約 1800km に達することに驚いた。また、今後 20 年間で約 8900km に増加するという。待ったなしの状態では計画的な作業を期待したい。
(23 区男性、50 歳代)
- ◆ 下水道管の再構築により、震災対策による安心で快適な下水道運用に貢献する。(多摩地区男性、50 歳代)
- ◆ 老朽化は深刻な問題だと認識しています。計画的に再構築して安定した下水道機能を維持することが私たちの生活を安定したものにするにも直結しているからです。(多摩地区女性、30 歳代)
- ◆ 再構築でゲリラ豪雨での被害がすくなくなるのを期待。(23 区男性、60 歳代)
- ◆ インフラの劣化は平常時でも影響が出るものなので。(23 区女性、30 歳代)

2. 「浸水対策」

- ◆ ゲリラ豪雨に対すること。(23 区男性、60 歳代)
- ◆ 雨水対策に期待しています。(23 区女性、40 歳代)
- ◆ 現在多くの地点にて地下工事を行っており、重点的に取り組んでいると思われるため。
(23 区男性、40 歳代)
- ◆ 危機管理とそれとリンクする浸水対策。(多摩地区女性、50 歳代)
- ◆ 耐震性の強化と浸水対策は緊急を要する施策であり、財政を考えても、最重要であると思います。持っているポテンシャルを使い、重要施策を実施する科てにすべきと考えます。
(23 区男性、70 歳以上)

3. 「震災対策」

- ◆ 震災対策が大切だと思う。最近災害が多く発生しているのを見聞きしているので。(多摩地区女性、50 歳代)
- ◆ 一番備えが大切だから。(多摩地区男性、70 歳以上)
- ◆ 首都直下地震が起きた場合に、下水道が使用できるかどうかは、被災後の生活に大きな影響を及ぼすことであると思っています。経営計画では、下水道管、水再生センター、ポンプ所など施設の耐震化や自己発電の確保、通信手段の確保などを計画的に進めていることがわかり安心しました。今後もこの計画通りに進めていただきたいと思います。
(23 区男性、60 歳代)
- ◆ 震災対策災害に強い設備の導入をお願いします。(多摩地区男性、30 歳代)
- ◆ 水道事業の取り組みの中で、やはり震災に対しての強さを期待します。ライフラインの寸断から一日も早く復旧する迅速さです。(23 区男性、60 歳代)

4. 「維持管理の充実」

- ◆ 子供、孫の世代まで安全、安心に使える下水道であってほしいから。(23区女性、40歳代)
- ◆ 未来のことを考えると、やっておくほうがよさそうなので。(23区男性、50歳代)
- ◆ 年々 自然災害が国内でも多発しているようで かつ 老朽化問題もあるとのことで しっかり維持管理・災害時にも俊敏な対応ができるよう期待したい。(多摩地区女性、50歳代)
- ◆ どの事業でも同じだが、事業規模が大きくなると緊急時の対応が後手になることがある。下水道においては心配ないと思うが想定外があってはならない。(23区男性、60歳代)
- ◆ インフラ老朽化に伴う費用負担がますます増えています。しかし、限られた予算でこれらに対応するには、「選択と集中」思想を取り入れることが不可欠ではないかと思います。このためのいろいろな取り組みに期待しています。(23区男性、30歳代)

5. 「合流式下水道の改善」

- ◆ 合流式は川を汚す元凶であるので 早期に改善すべき。下水道は昭和40年代に構築されたものが多いので 再構築の技術革新が求められる。(23区男性、60歳代)
- ◆ インフラの更新が必要です。(多摩地区女性、30歳代)
- ◆ 合流式下水道の改善により自宅の近くで親しみのある多摩川の水質の改善が期待される。(多摩地区男性、70歳以上)
- ◆ 【葛西海浜公園】海水浴体験のボランティア登録のために訪ねましたが役員は全員高齢者 水質改善を本気で取り組んで湘南のようにするという空気すら感じず ということは改善の期待値はかなりあるのだと思う。(多摩地区男性、50歳代)
- ◆ 水質改善された野川でホテルを見たいから。(23区男性、50歳代)

6. 「高度処理」

- ◆ 今でも素晴らしい結果を出していると思うが更に上を目指してもらいた。(23区男性、50歳代)
- ◆ よりきれいな処理水にして河川に戻すことはとても大切なことと思います。(23区男性、60歳代)
- ◆ 環境問題・水資源の活用にもつながっていくから。(多摩地区男性、60歳代)
- ◆ 高度処理は、世界的に見ても、日本は、すぐれているため。(23区女性、50歳代)
- ◆ 海水浴ができるようになるといいな。(23区男性、30歳代)

7. 「エネルギー・地球温暖化対策」

- ◆ 広大な土地や排熱を利用する事ができるから。日本はエネルギーの削減や再利用に対しての取り組みが遅れているので、お手本になる国が沢山ある。スグにも結果が出せるようなプランが立てられると思います。(23区女性、50歳代)
- ◆ なぜなら、私はこの問題が最も大切だと考えているからです。毎年起こる災害すべて、地球温暖化が原因です。一刻も早く対策を講じなければなりません。(23地区女性、50歳代)
- ◆ 各企業毎に様々な温暖化対策を構築していると思うしやらなければならない課題ですので、必ずやり遂げてもらうように期待したい。(23区女性、40歳代)
- ◆ 理由は、地球温暖化は問題になっているから。(23区女性、50歳代)
- ◆ 相当な電力を使用しているとのことなので、環境によい方法で下水の処理ができるようになれば、電力使用そして温暖化を食い止めることになるなと思うのは、意義があると思うので。(多摩区女性、30歳代)

8. 「危機管理対応の強化」

- ◆ 近い将来、大きな地震が来るだろう、と言われていいますので、早急に対処できる体制づくりを読み、期待感が増しました。日本の首都ですので、各自治体の参考になるような施策にプライドを感じました。(23区女性、50歳代)
- ◆ 災害時の備えは完璧に。(23区男性、50歳代)
- ◆ 今後の諸事に対する危機管理が重要であるから。(23区男性、70歳以上)
- ◆ 下水道管の耐震化:震災等の危機管理は、特に強化しておくべきなので。(多摩地区男性、50歳代)
- ◆ 地震で一番困ることなので。(23区女性、40歳代)

9. 「下水道の持つポテンシャルの活用」

- ◆ 活用しないのはもったいないので、ポテンシャルを活用し、サービスを充実させて頂きたいと思います。(23区男性、50歳代)
- ◆ 技術の発展と代替エネルギーの必要性から下水道のポテンシャルを高め活用することは非常に重要だと感じた。また、東京が美しい都市として世界的に知られているのは、単に目に見えるものだけでなく、異臭のない空間が提供されていて、それを当たり前と思って過ごしていたが、影の努力があったことに驚いた。今後、このような技術・知識を世界に広げ国際貢献していくことは、経営の面だけでなく、経済力のある都市としての責務だと思う。そのためにも「応援団」となる新世代の理解を広めることが大切だと思う。(23区女性、50歳代)
- ◆ 「9、下水道の持つポテンシャルの活用」専門知識もない一市民の立場でおこがましいが、ハードソフト共に充実した施設で誰からも信頼をおかれている下水道であればこそ、本来の目的格以外にも沢山の可能性があるように思う。(多摩地区女性、40歳代)
- ◆ オフィスビルなどの冷暖房などに下水の熱エネルギーを利用するなど、企業にメリットがある施策は、他の協力も得やすいのではないかと思います。(23地区女性、30歳代)

- ◆ 下水局としてのメインの業務は下水に関する敷設、保守、メンテ等直接かかわるものだと思いますが、これからのあり方としては、官民関わらず、付加価値の存在が重要だと考えています。その付加価値を生かすことができる企業こそ、本来の業務でも活躍できる企業だと思います。(多摩地区男性、40歳代)

10. 「ビルピット臭気対策の推進」

- ◆ 府中市内から多摩川に流入する地点での、臭いがとても気になるので、下水処理場の能力アップを期待している。(多摩地区女性、60歳代)
- ◆ ビルピット臭気対策を期待したい、と言うより早急に臭気対策をしてほしい。(多摩地区女性、50歳代)
- ◆ くさい水は勘弁してほしいから。(多摩地区男性、50歳代)
- ◆ 業務上、道路上での作業が多いので、「ビルピット臭気対策の推進」は特に期待しております。(多摩地区男性、40歳代)
- ◆ 匂い対策は重要。(多摩地区男性、40歳代)

11. 「技術開発の推進」

- ◆ 財政・技術開発・人材育成について、リスク・マネジメント（危機管理）意識・体制の強化が最重要課題であると思います。(23区男性、60歳代)
- ◆ 技術開発が行われれば、新しい技術も世界へ向けてアピールできるから。(23区男性、30歳代)
- ◆ 博多で道路陥没がありました。下水道がストップしてしまいましたが、陥没をおこしても配管への影響がないようにはできないものではないでしょうか。(23区男性、60歳代)
- ◆ 海外への技術の売り込み。(23区男性、50歳代)
- ◆ 今後も、多分永久的に必要な水道なので、有識者と共に世界一レベルの技術力をつけてほしいと思っているから。(多摩地区女性、40歳代)

12. 「東京下水道の国際展開」

- ◆ 外国での衛生管理・疾病の予防等に期待するから。(多摩地区男性、50歳代)
- ◆ 世界と協力して下水道をよりよくしていくことが大切だと思ったから。(23区女性、20歳代)
- ◆ 技術の継承という意味でも、ぜひ力を入れてほしい。(多摩地区男性、40歳代)
- ◆ 日本の技術はずば抜けており特に後進国への下水処理技術指導は国際貢献上有益で後進国の衛生環境向上に寄与出来る一方、技術輸出による収入も期待出来るから。(23区女性、60歳代)
- ◆ 国際貢献。(多摩地区女性、60歳代)

13. 「東京下水道の「応援団」の獲得」

- ◆ 都民に理解され都民自身が認知しないといけないので。(23区男性、40歳代)
- ◆ 特に普段から意識していない方々にも、下水道に関する情報が自然と入ってくるようになるといいなと思います。(23区女性、40歳代)
- ◆ 普段事故無く運営されていることや、震災対応、危機管理対策、技術開発、財政面での努力など、この事業をもっと世の中の人に知ってもらえることができればいいのになとおもいました。(23区男性、40歳代)
- ◆ 東京下水道の「応援団」の獲得や下水道の持つポテンシャルの活用といった、直接的ではなく、違った側面から興味を抱かせるか、そこにさまざまなキーがあるように感じます。(多摩地区男性、40歳代)

14. 「事業運営体制」

なし

15. 「人材育成と技術継承」

- ◆ 「人材育成と技術継承」については惜しみなく実施してほしい。いちばん経費と時間がかかるところだと思うが、これが東京の下水道の全ての基本なので。(23区男性、40歳代)
- ◆ 女性の技術者も採用してください。理系女性たくさんいます。(多摩地区女性、40歳代)
- ◆ ハードは買えても、継承は買えない。(多摩地区男性、50歳代)
- ◆ 新人教育を強化してさらなる技術アップを目指して欲しい。(多摩地区女性、40歳代)
- ◆ どの企業も同様だと思うが技術者の育成をしっかりと行い、今後も同様なレベルを確保できるようにしてほしい。(多摩地区女性、40歳代)

16. 「企業努力」

- ◆ 企業努力経費を節減して、老朽設備更新にまわしてほしい。(多摩地区女性、30歳代)
- ◆ 民間同様、公的サービス提供者も企業努力が不可欠だからです。(23区男性、30歳代)
- ◆ 日本の企業は努力しているから(23区女性、30歳代)
- ◆ 企業努力現在都心の土地活用需要は旺盛だと思うので、保有している不動産をさらに活用して、財政収支改善に役立てていただきたい。(23区男性、40歳代)
- ◆ 良い立地の施設について積極的に有効活用を図り、安定収益の確保をし、来る将来の人口減、利用者＝収入減に備えるべきだと思うから。(23区男性、40歳代)

17. 「財政収支」

- ◆ 都の行政全般と同じ支出の削減で値下げ 期待。(多摩地区男性、70歳以上)
- ◆ 都税が本当に必要なものに有効に使われているかどうか、しっかりと精査してほしいから。(23区女性、70歳以上)
- ◆ 今後もサービス水準を維持していただくことが重要と考えます。(23区男性、50歳代)
- ◆ 財政がとても大事だとおもいます。お金がなくては。(23区男性、70歳以上)

4.3. 『東京都下水道事業 経営計画2016』に対する感想・意見

問7 よろしければ、『東京都下水道事業 経営計画2016』に対する率直な感想やご意見などをお聞かせください。(自由回答)

感想・意見については、「その他」を除くと、「計画に期待、計画を達成してほしい・頑張ってほしい・取り組んでほしい・進めてほしい・お願いしたい」が22.1%で最も多く、次に「わかりやすかった、理解できた、確認できた、知ることができた、安心した」が17.8%、「文字が多い、わかりづらい、読むのが大変」が12.8%であった。
また、最も少なかったのは「オリンピックについて」で2.3%であった。

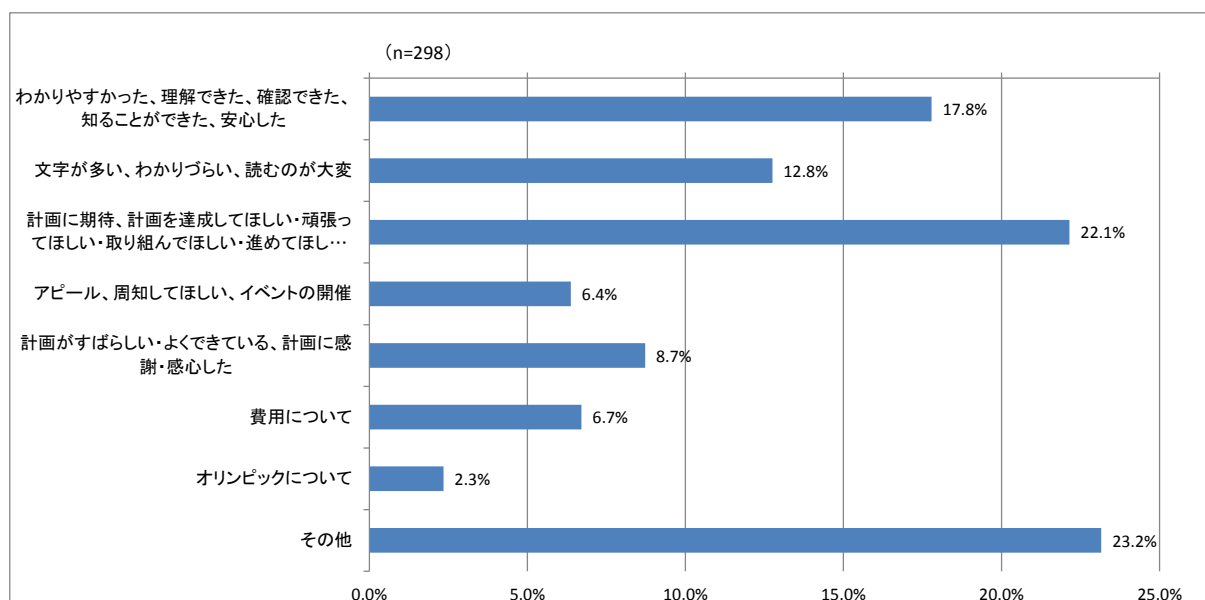


図4.3 『経営計画2016』に対する感想・意見（自由回答）

1. 「わかりやすかった、理解できた、確認できた、知ることができた、安心した」

- ◆ 丁寧にわかりやすく理解しました。(多摩地区女性、30歳代)
- ◆ 最初、良く理解できないのではないかと思ったが、表や色、写真が効果的に使われていてわかりやすかった。(23区男性、50歳代)
- ◆ 詰め込みすぎという印象を受けたが、カラーや写真・図も効果的に入れてそれなりにわかりやすいと思う。(23区男性、50歳代)
- ◆ 東京下水道魂を随所に垣間見られ、よくまとまっていると思いました。(多摩地区男性、30歳代)
- ◆ 水道モニターに携わり、下水道事業は色々な取り組みがあることに初めて知りました。下水道管が今後20年間で法定耐用年数を超えたものが約8900Kmに達することを知り、驚きとともに、地震が相次いで起こっているのを、不安になりました。下水道管について知る良いきっかけとなりました。(23区女性、30歳代)

2. 「文字が多い、わかりづらい、読むのが大変」

- ◆ カラフルで見栄えはいいけれども、文字が多すぎる。(23区男性、30歳代)
- ◆ 説明が一般市民には難解です。噛み砕いた表現など内容が理解されるようさらに工夫が必要と思われます。(多摩地区男性、70歳以上)
- ◆ 読むのがしんどかった。十分読めていないかもしれません。もう少し小刻みでモニターさせて頂きたい。(多摩地区男性、60歳代)
- ◆ 文面が難しいとおもいます。漫画とかにするといいのでは？(23区女性、40歳代)
- ◆ この計画書は一般の方に見てもらう目的のものなのではないでしょうか？だとしたら、もう少しわかりやすい表現の方がいいと思います。「主な事業指標と目標」については具体的だし、わかりやすかったです。(23区女性、40歳代)

3. 「計画に期待、計画を達成してほしい・頑張してほしい・取り組んでほしい・進めてほしい・お願いしたい」

- ◆ 計画目標は必ずトレンドから云って達成できるが、早期の達成を望む。(23区男性、60歳代)
- ◆ 災害時対策や緊急時対策に努力をお願いしたい。(23区男性、60歳代)
- ◆ 地道に確実に事業を進めてほしいと感じた。(多摩地区女性、50歳代)
- ◆ 天候不順によるゲリラ豪雨対策をさらに進めてください。(23区男性、50歳代)
- ◆ 縫合的に良く考えられていると思う。是非実行してほしい。(多摩地区男性、70歳以上)

4. 「アピール、周知してほしい、イベントの開催」

- ◆ もっとインフラを利用したイベントの開催があると良いではないでしょうか？(23区男性、50歳代)
- ◆ モニターをしていなければ目にすることはなかったですが、多くの人にこのような計画を知ってもらうことも重要だと思いました。(多摩地区女性、30歳代)
- ◆ この間、東京水道館を初めて知って、見に行ったがもっとアピールすべきだと思います。(23区男性、40歳代)
- ◆ 下水道に対して国民の理解を得なければなりません。そのためにはPRが必要です。下水道の施設の一部を開放するとか、イベント開催や施設見学の機会を増やす等が有効だと思います。(23区女性、50歳代)
- ◆ オリンピックもあることですし、世界中の人々に世界一の下水道を見せてほしいと思います。(23区男性、60歳代)

5. 「計画がすばらしい・よくまとまっている」

- ◆ 東京都下水道事業 経営計画2016の作成は大変良い事だと思います。やりたい事はたくさんあると思いますので、優先順位をつけて、実施していく方法が良いと思います。(23区男性、50歳代)
- ◆ プロジェクトが多岐にわたっていますが、それぞれの項目が具体的に取上げてあり、一般市民にも分かりやすく説明されていますので、好感がもてました。期待も大きく、他の自治体よりも危機感が少ないように思います。日本の首都、東京の住民で本当に良かった、とおもいました。(23区女性、50歳代)
- ◆ 再構築、浸水対策、震災対策を初め、沢山の課題があるのに改めて驚きました。関係者のご手配に感心しています。(23区男性、70歳以上)
- ◆ 簡略に良く纏まっていると思います。補助資料として、将来のカレンダーもあると、更に分かり易いと思います。(23区男性、50歳代)
- ◆ いつも感じるのですが、表に出ない形で沢山の重要な施策がなされていて、どの計画も素晴らしいものだと感じております。今後とも私たちの暮らしを支えてくださることをお願いいたします。とともに感謝いたします。(23区男性、30歳代)

6. 「コスト、費用について」

- ◆ 東京は資金が潤沢だからとよく言われますが、それは良いことであって萎縮することではないと思いますので、コスト意識は十分持っていただきながらも100年と言わず1000年の計に耐えられる良い施設を作り維持してもらいたいと思います。(23区男性、40歳代)
- ◆ 優先順位をつけて、緊急なもの絶対必要なものからというのが、欠けてる気がします。全部一律じゃなく、優先順位が事業には必要だと思う。あと、五輪は目標にしないほしい、たかがイベント。あと、計画は立派だけど、机上の計画にならないほしいなあ。と思う。財政とのバランスも大事です。最高を求めるのではなく、必要十分と費用との兼ね合いは重要です。(多摩地区女性、50歳代)
- ◆ 公務員的な考えが随所に見受けられる。例えば経費の使い方、利用者に負担を掛けているのでは？民間活用を！！(23区男性、70歳以上)
- ◆ コストパフォーマンスを常に考える組織が必要。コストセーブと効率を評価する体制が必要。要員数の削減も検討すべし。(23区男性、60歳代)
- ◆ お金もかかることなのでいろいろ大変だが、必要なことなのでしかたがない。(23区男性、50歳代)

7. 「オリンピックについて」

- ◆ 下水道事業のような長期的視野で取り組まなければならない。2020年オリンピック成功へ向けての下水道事業の取り組みは、お祭り騒ぎに悪乗りした印象を与える。(23区男性、60歳代)
- ◆ 五輪に向けたすみやかな事業展開。(多摩地区男性、60歳代)
- ◆ 2020年のオリンピックは、日本のインフラの素晴らしさを世界に発信する大きな機会です。来日する観光客も実際にインフラを利用することで、日本を再評価することと思います。海外から帰国する度に私も実感しています。今後も下水道事業の展開に期待しています。(23区女性、40歳代)
- ◆ 東京五輪に向けて最善を尽くして下さい。(多摩地区男性、50歳代)
- ◆ 工事が現在進められている下水道は、東京オリンピックが終わっても使える物にするべきだと思った。(23区女性、20歳代)

8. 「その他」

- ◆ 耐震対策としてマンションにマンホールトイレを設置する場合の基準を明確にしたい。すでにマンホールトイレに関するガイドラインが出されていることは承知していますが、分譲マンションに設置される場合、水源を確保せずに設置している場合がほとんどです。長期の被災後の生活を考えた場合、適度の水流で流しておかなければ、汚物や紙類が固まったり下水道管を詰まらせることがあるのではないのでしょうか。マンションにマンホールトイレを設置する際の基準を改めて明確にして、分譲マンション管理組合、マンション管理会社、マンホールトイレ設置業者等に周知していただきたいと思います。(23区男性、60歳代)

- ◆ 目先はオリンピックまでの目標が控えているが、その後継続的に維持していくための施策は一部撤退戦的な部分もあるはず。「正しい縮小の仕方」は常に念頭に置いておいたほうがいい。(23区男性、40歳代)
- ◆ アンケートの作り方が、答える側は非常に大変です。今回のアンケートを答えるが非常に大変で、率直な意見を答える事ができませんでした。(多摩地区男性、30歳代)
- ◆ 色々課題が有るようですけど 少ない予算で成果をあげるならもっと絞り込みが必要。(23区男性、50歳代)
- ◆ 下水道の色々な事業計画、経営計画、都内だけでなく、都下もどうぞ目を配って頂ける様、期待しております。(多摩地区女性、50歳代)